市場取締員ノ指揮ニ従ハサル者ニ対シテハ市場ノ出入若ハ殿舗ノ使用ヲ禁止スルコトアルヘシ

又ハ商品ノ搬入搬出若ハ運搬ヲ禁止スルコトアルヘシ

市場取締員ニハ一定ノ徽章ヲ佩用セシムヘシ

第五十六條　市場ニ於ケル業務ニ関シ使用人ノ行為ハ使用主ニ於テ一切其ノ責ニ任スルモノトス

備考　卸売人カ仲買人ニ対シ奨励金ノ交付ヲ為スヲ認メムトスル市場ニ在リテハ第三十一條ノ次ニ其ノ奨励金ノ率及之カ交付ノ日及交付ノ方法ヲ明記スルヲ要ス

○第一ノ二　開設者自ラ卸売ノ業務ヲ為サムトスルトキハ業務規程例中左ノ通リ変更規定スルコト

一、第九條ノ「開設者」ヲ「本市場」ニ改ム

一、第十條ノ「開設者ノ定ムル所ニ依ル」ヲ「別ニ之ヲ定ム」ニ改ム

一、第十一條ヲ削除

一、第十三條ヲ左ノ通リ改ム

賃貸ノ呼値ニ符合ヲ用ヒムトスル場合ニ於テハ簿冊之ヲ掲示ス

一、第十六條ノ「卸売人」トアルヲ「本市場」ニ改ム

一、第十七條ノ但書ヲ左ノ通リ改メ且ツ第二項ヲ規定ス

但シ仲買人ハ毎月十五日及末日ニ其ノ期間内ニ引渡ヲ受ケタル物品ノ代金ヲ支拂フヨトヲ得

前項但書ノ期間経過後五日以内ニ支拂ヲ猶予スルコトヲ得

（第二項ハ必要ナキ市場ニ於テハ規定ノ必要ナシ）

一、第十八條ノ「開設者」トアルヲ「本市場」ト改ム

一、第三章卸売人ヲ削除ス

一、第二十一條乃至第二十六條ハ削除

一、第二十七條ノ「卸売人」ヲ「本市場」ニ「通知スヘシ」ヲ「通知ス」ニ改

ム

一、第三十一條ノ「卸売人ハ開設者ノ許可ヲ受ケ自己ノ」ヲ「本市場ノ」ニ改ム

一、第三十一條乃至第三十四條削除ス

一、第三十五條ノ「卸売人」ヲ「本市場」ニ「通知スヘシ」ヲ「通知ス」ニ改ム

一、第三十六條乃至第三十八條ヲ削除ス

一、第三十九條ノ「開設者」ヲ「本市場」ニ改ム

一、第四十五條ノ「開設者」ヲ「本市場」ニ改ム

一、第四十六條ノ「開設者」ヲ「本市場」ニ改ム

一、第四十八條及第四十九條中ニ「開設者」トアルヲ「本市場」ニ改ム

一、第五十條ノ「開設者」ヲ「本市場」ニ改メ「卸売人」ヲ削除ス

一、第五十二條ノ「卸売人」ヲ削除ス

一、第五十二條及第五十三條ノ「開設者」ヲ「本市場」ニ改ム

一、（イ）第五十四條第一項本文ノ「開設者」ヲ「本市場」ニ改メ「卸売人ニ対シテハ其ノ業務ヲ停止シ若ハ一回以下ノ過怠金ヲ課シ」ヲ削除ス

（ロ）第一項第二號ヲ左ノ通リ改ム

二、賃貸取引ニ関シ不正ノ行為アリタルトキ

（ハ）第一項第三號ヲ削除ス

（備考）市場カ仲買人ニ対シ奨励金ノ交付ヲ為サムトスルトキハ市場

交付ノ方法ヲ明記スルヲ要ス

第二　市場開設許可申請（形式）

一、申請書

二、開設ヲ必要トスル理由

三、業務規程（別ニ例ヲ示ス）

四、事業ノ計畫（別ニ記明ヲ附ス）

五、事業用品目ニ付其ノ地方ニ於ケル販売及消費ノ状況

六、開設者ノ住所氏名及生年月日（法人ニ在リテハ其ノ定款及役員ノ住所氏名）

七、其ノ他必要ナル事項

（市場ノ組織方法ニ於テ縣ノ方針ニ合致セサルトキハ其ノ理由又ハ食品卸売市場ニ関シ縣ノ方針トレテ原則ヲ定メルモノニシテ例外ニ依ルヘキ特別ノ事由ヲ有スルモノナルトキハ其ノ理由等）

八、添付書類（昭和四年五月二十三日商第四七三號通牒）

1. 市場ノ設定地位置図及地区ヲ明記シタル書類及略図

2. 3. 開設者カ法人ナルトキハ市場開設ニ関スル決議録謄本

3. 市場ニ供用スヘキ敷地又ハ建物ヲ開設者ノ所有ニ属セサルモノナルトキハ其ノ所有者トノ契約書

外ニ市町村長副申ニ添付スヘキ調書昭和四年五月二十三日商第四七三號参照

第四項準用

第三　事業計畫

一、自ラ卸売ノ業務ヲ為サムトスルトキハ其ノ旨

二、1. 市場ノ位置及用地ノ面積

市場ノ位置　所番地ヲ明記スルコト尚市場附近ノ見取図（附近ニ第

五　開設ヲ必要トスル理由ノ記載ニ当リテハ市場ノ位置等ヲ明記スルコトノ外特ニ人家稠密ノ有無

一、申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ開設者又ハ其ノ代理人之ニ署名スルモノトス

二、1. 用地ノ面積　市場敷地及附属設備並ニ事務所各別ニ記載スヘシ尚ホ用地ハ自己ノモノナリヤ他人ノモノナリヤヲ明記シ賃貸ノモノナルトキハ其ノ承諾書ヲ添付スルコトヲ明記スルコト

2. 用地ノ面積ニ関シテハ市場ノ位置ヲ明記シ且ツ市場ノ敷地ニ属スル部分ト然ラサル部分トヲ区別シ前者ニ属スル部分ニ付テハ其ノ面積ヲ記載スルコト

三、建物ノ概要

（建物、設備ノ配置及坪数ヲ記入シタル図面ヲ添付スルコト）

1. 建物ノ種類構造　設計書ヲ以テ之ヲ示シ構造ニ関シテハ採光換気ノ方法ヲ記載シ且ツ参照ヲ要スル箇所ニ付テハ側面図ヲ添付スルコト

2. 設備ノ構造、種類　場内及附属設備ノ概略ニ関シテハ第五條第一項第三號乃至第八號ニ示シタル事項ヲ為スモノナリヤ知ルニ足ル様明記スルコト

3. 汚物ノ処理方法　汚物ハ如何ナル方法順序ニヨリ処理スルカ明記スルコト

四、

1. 市場開設ニ要スル費用及其ノ財源ニ関スル計畫

金額用途　建物設備並ニ運輸表金其ノ他ヲ各別ニ詳細明記スルコト

2. 財源　費用財源ノ出所ヲ明記スルコト

3. 9. 償却　償却方法ヲ明記スルコト

五、事務開始期日

六、添付書類

1. 第四條第二項第一號及第三號ニ該当スル場合ニハ其ノ品目毎ニ数量金額ヲ明記スルコト

2. 第四條第二項第二號及第三號ヲ明記スルコト

（第二號　市場ノ收支概算
第三號　工事ノ著手及竣工ノ豫定期日）
一　各項ハ食品卸賣市場規則ノ條項ヲ示ス

以上

●食品卸賣市場ニ關スル件

商第二六號內務部長通牒（昭和六年十一月十二日）

市町村長宛

食品卸賣市場ニ關スル申請書ニ對スル副申事項ニ關シテハ昭和四年五月二十三日商第四七三號通牒ニ基キ適當御副申相成ヘキ筈ニ有之候處規則第二條ニ基ク市場開設ノ許可申請書ニ對スル副申ノ場合ニハ更ニ左記事項ヲモ加ヘテ調書ヲ作製添附セラレ候樣致度

記

一、出願經濟地域內ニ於テ食品卸賣市場規則公布前ヨリ他ニ市場類似行爲ヲ爲シ居ル者ノ有無

●倉庫業法施行ニ關スル件

商第一四〇五號經濟部長通牒（昭和十年十二月七日）

市町村長宛

倉庫營業許可申請ニ關シテハ左記御了知ノ上可然取扱相成度

記

一、倉庫營業許可申請書ハ市町村經由ノコト
一、倉庫業法施行規則第一條第一號ノ履歷書ニハ同則第十五條第一號及第三號ニ掲ケル者ニ該當セザル旨ノ市町村長ノ證明書ヲ添附スルコト
一、新ニ倉庫營業ヲ開始スル爲倉庫業法第一條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ同法施行規則第一條乃至第四條ノ規定ニ準ジテ作成シタル書類ヲ具シ成ルベク商工大臣ニ許可ノ內倘ヲ爲サシムルコト

第七章　産業組合、負債整理組合

●産業組合法施行細則

靜岡縣令第三十九號（大正十二年五月十八日）

沿革　大正二五年縣令第七六號、昭和七年一〇月第六一號、九年一二月第五一號改正

大正七年一月靜岡縣令第十號產業組合法施行細則左ノ通改正ス

產業組合法施行細則

第一條　產業組合又ハ產業組合聯合會設立許可申請書ニ添附スヘキ定款ニハ產業組合法第九條ニ依リ設立者之ニ署名捺印スル外理事監事及設立者各自ノ住所竝職業ヲ記載スヘシ

第二條　產業組合又ハ產業組合聯合會ノ設立許可申請書ニハ左ニ掲ケル書類ヲ添附スヘシ、合併ニ因リ設立スル場合亦同シ

一　定款二通（產業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル信用組合及聯合會ニ在リテハ四通）
二　設立ヲ必要トスル理由、事業經營方法ノ概要竝損益概算ヲ記載シタル事業計畫書
三　設立當時ノ理事監事タルヘキ者ノ資產經歷ノ概要
四　設立者各自ノ出資引受口數ヲ記載シタル書面
五　區域內ノ組合員タル資格ヲ有スル者ノ數、設立後組合員シルヘキ者ノ見込人員及出資口數ノ調書

產業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ノ設立許可ヲ申請スル者ハ定款三通ノ外產業組合法施行規則第一條ノ四第一項各號竝前項第三號第四號ニ掲ケル書類及產業組合法施行規則第一條ノ五ノ事由ヲ證スル書類各二通ヲ提出スヘシ

第二條ノ二　產業組合法施行規則第十九條ノ二ノ規定ニ依ル組合又ハ聯合會ノ設立許可ヲ申請スル場合ニハ產業組合法施行規則第一條ノ四第一項第一號及產業組合法施行細則第二條第一項第三號ニ掲ケル書類ノ外左ノ書類各二通ヲ添附スヘシ

一　製絲ヲ爲シ又ハ製絲工場ヲ有スル組合又ハ聯合會ニ在リテハ左ノ事項ヲ記載シタル書類
　イ　事業計畫書
　ロ　設備要領書
　ハ　製絲業以外ノ事業ヲ兼營スル場合ニ於テハ其ノ兼營事業ノ大要ヲ記載シタル書類
　ニ　組合員數（聯合會ニ在リテハ所屬組合數）及其ノ出資口數
　ホ　區域內ニ於ケル養蠶戶數及上繭產額竝ニ組合員（聯合會ニ在リテハ所屬組合ノ組合員）中養蠶者數及其ノ上繭產額
　ヘ　繰絲機百五十釜未滿ノ設備ヲ爲サントスルモノニ在リテハ百五十釜以上ト爲シ得サル特別ノ事由
二　醫療設備ヲ有スル組合又ハ聯合會ニ在リテハ左ノ事項ヲ記載シタル書類
　イ　區域內ニ於ケル總戶數組合員數（聯合會ニ在リテハ所屬組合數）及出資口數
　ロ　醫療設備ノ概要敷地ノ面積建物ノ種別階數及面積配置及附近略圖、患者ヲ收容スルモノニ在リテハ其ノ收容定員、其ノ他參考トナルヘキ事項

訂（靜岡令二二八號）

　ハ　醫師ノ數、經歷、診療ノ分擔科名及診療ニ從事スル條件
　ニ　調劑員、看護員、其ノ他ノ診療介助者ノ男女別數及介助ノ內容別
　ホ　醫療事業ニ關スル起業費ノ收支概算竝ニ事業ノ收支概算
　ヘ　診療ニ關スル規程
　ト　區域內ニ於ケル診療科別開業醫師數
三　區域カ郡又ハ市ノ區域ヲ超ユル組合ニ在リテハ左ノ事項ヲ記載シタル書類
　イ　郡又ハ市ノ區域ヲ超ユル區域ヲ必要トスル事由
　ロ　組合員數及其ノ分布狀態竝ニ出資口數
　ハ　事業計畫及事業執行ノ方法
　ニ　區域內ニ於テ同種事業ヲ營ム組合アラハ其ノ區域及事業トノ關係

第三條　左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ設立許可申請書ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

一　產業組合ノ區域カ町村ノ區域ヲ超ユルトキ
二　出資一口ノ金額カ組合ニ在リテハ五十圓聯合會ニ在リテハ五百圓ヲ超ユルトキ
三　一組合員ノ有スヘキ出資口數三十口、一所屬組合又ハ聯合會ノ有スヘキ出資口數百口ヲ超ユルトキ
四　事業年度カ曆年ニ依ラサルトキ又ハ之ヲ六箇月トナサムトスルトキ
五　總代會ヲ設ケムトスルトキ

六　拂込ミタル出資額ニ對スル剩餘金ノ配當率年六歩ヲ超ユルトキ
七　主タル事務所ヲ區域外ニ設置シ又ハ從タル事務所ヲ設置セムトスルトキ
八　聯合會ノ理事及監事カ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ理事及監事ニ非サルトキ

前項ノ規定ハ定款變更若ハ合併認可申請ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三條ノ二　産業組合法施行規則第一條ノ九第二號但書ニ依ル許可申請書ニハ理由書、家屋ノ圖面及設計書ヲ添附スヘシ

第四條　産業組合又ハ産業組合聯合會ノ定款變更認可申請書ニハ變更セムトスル定款ノ抄本ヲ添附スヘシ但シ多數ノ條項ヲ變更セムトスル場合ニ在リテハ別ニ變更セムトスル定款ヲ添附スヘシ

前項ニ依リ添附スヘキ定款ノ抄本ハ組合ニ在リテハ一通産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル信用組合及聯合會ニ在リテハ三通ヲ添附スヘシ

第五條　定款變更認可申請書ニ添付スヘキ定款ノ抄本ハ變更條文ト原條文トヲ對照シテ記載スヘシ

第六條　産業組合又ハ産業組合聯合會ノ定款變更、合併若ハ解散ノ認可申請書ニハ總會又ハ總代會ノ決議錄ノ謄本又ハ抄本總組合員ノ同意ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ同意アリタルコトヲ證スル書面各二通ヲ添附スヘシ但シ産業組合法第九條第一號、第二號、第三號ノ二、第五號及第十二號ノ事項ヲ除ク定款變更認可申請書ニハ一通ノ添付ヲ以テ足ル

政府又ハ縣ノ融通スル資金ヲ借入レタル組合又ハ聯合會ノ解散認可申請書ニハ其ノ資金別償還殘額竝今後ノ償還計畫ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第六條ノ二　産業組合法施行規則第十九條ノ二第二項ニ依ル定款變更又ハ同條第三項ニ依ル合併認可申請書ニハ第二條ノ二第一號及第二號ニ揭クル書類ノ外最近ニ於ケル財産目錄、貸借對照表及事業報告書各二通ヲ添附スヘシ

第六條ノ三　部落其ノ他之ニ準スル區域ヲ其ノ區域トスル産業組合カ他ノ産業組合ニ加入ノ認可申請書ニハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面及加入ヲ必要トスル理由書ヲ添附スヘシ

第六條ノ四　産業組合カ法人ノ加入ヲ承諾シタルトキハ其ノ法人ノ定款又ハ規約、設立年月日、組合員數、出資口數及保證額ヲ遲滯ナク知事ニ報告スヘシ

前項ノ法人カ脫退シタルトキハ其ノ法人ニ對スル債權債務ノ詳細ヲ具シ遲滯ナク知事ニ報告スヘシ

第六條ノ五　存立時期滿了ニ因リ解散シタル産業組合又ハ産業組合聯合會ノ繼續認可申請書ニハ繼續ノ同意ヲ證スル書面ノ外理由書、事業經營方法ノ概要、組合財産ノ現況竝精算事務進捗ノ狀況ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

前項ノ同意ヲ證スル書面ハ二通ヲ提出スルコトヲ要ス

第七條　産業組合又ハ産業組合聯合會ハ事務所ノ見易キ場所ニ其ノ名稱ヲ表示スヘキ標札ヲ揭クヘシ

第八條　産業組合又ハ産業組合聯合會カ設立許可後一箇月ヲ經過スルモ仍出資第一回ノ拂込ヲ完了セサルトキハ理事ハ其ノ事由ヲ知事ニ報告スヘシ

訂（靜岡令二二八號）

第九條　産業組合又ハ産業組合聯合會ノ商法第二十六條ニ依リ作成スヘキ開業當日現在ノ財産目錄及貸借對照表ハ第一號甲及乙樣式ニ依ルヘシ

第十條　産業組合又ハ産業組合聯合會ハ事業開始ニ際シ豫メ總會又ハ總代會ヲ開キ法令及定款ノ範圍内ニ於テ左ノ事項ヲ議定スヘシ

一　其ノ事業年度内ニ於ケル借入額ノ最高限度
二　其ノ事業年度内ニ於ケル一組合員又ハ一所屬組合若ハ一所屬聯合會ニ對スル貸付額又ハ手形ノ割引金額ノ最高限度
三　餘裕金預入先
四　（創除）
五　利用料歩合金又ハ手數料ノ率
六　諸規程ノ制定
七　其ノ他總會又ハ總代會ノ決議ヲ要スル事項

第十條ノ二　産業組合又ハ産業組合聯合會カ事業ノ執行其ノ他ニ關スル規程ヲ設ケ若ハ改廢シタルトキハ遲滯ナク知事ニ報告スヘシ

第十一條　産業組合又ハ産業組合聯合會カ目的タル事業ノ全部又ハ一部ヲ開始セス若ハ休止セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ屆出ツヘシ事業ヲ開始セムトスルトキ亦同シ

第十一條ノ二　産業組合又ハ産業組合聯合會カ定款ニ定メタル時期ニ通常總會又ハ通常總代會ヲ開會スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ屆出ツヘシ

臨時總會又ハ臨時總代會ヲ開會セムトスルトキハ其ノ事由、日時場所及會議ノ目的タル事項ヲ知事ニ屆出ツヘシ

訂（靜岡令二二八號）

第十二條　産業組合及産業組合聯合會ノ登記事項ニ關スル屆出又ハ組合原簿聯合會原簿ノ提出若ハ其ノ記載事項ノ變更ノ屆出ハ所轄市役所、町村役場ヲ經由セス直接當廳ニ屆出若ハ提出スヘシ

第十二條ノ二　産業組合法第十六條ノ四ニ依ル屆書ニハ總會又ハ總代會ノ決議錄ノ謄本又ハ抄本ヲ添付スヘシ

第十三條　産業組合又ハ産業組合聯合會カ知事ニ屆出ツヘキ組合又ハ聯合會ノ登記事項組合又ハ聯合會ノ解散ニ關スル書類及組合又ハ聯合會原簿ハ各二通ヲ提出スヘシ

第十三條ノ二　從タル事務所ノ所在地ノ登記所カ主タル事務所ノ所在地ノ登記所ト異ナル場合ニ於テハ第六條、第六條ノ五第二項及第十三條ニ揭ケタル書面ヲ其ノ登記所數ニ應シ增加提出スヘシ

第十四條　産業組合又ハ産業組合聯合會ハ業務執行ニ付少クトモ左ニ揭クル帳簿ヲ備ヘ事業ヲ整理スヘシ

各種組合及聯合會ニ共通ノモノ

一　日記帳
二　元帳
三　組合員名簿
四　持分ニ關スル帳簿
五　預金ニ關スル帳簿
六　借入金ニ關スル帳簿
七　所有物件ニ關スル帳簿
八　消耗品ニ關スル帳簿

信用事業ヲ行フモノ
九　貸付ニ關スル帳簿
十　貯金ニ關スル帳簿
十一　手形割引ニ關スル帳簿（産業組合法第一條第四項ノ事業ヲ行フモノ）
十二　支拂準備ニ關スル帳簿（産業組合法第一條第四項ノ事業ヲ行フモノ）
十三　所屬組合又ハ所屬聯合會ノ債務保證ニ關スル帳簿（信用事業ヲ行フ聯合會）
販賣事業ヲ行フモノ
十四　販賣品受拂ニ關スル帳簿
十五　販賣先トノ取引ニ關スル帳簿
十六　代金精算ニ關スル帳簿
購買事業ヲ行フモノ
十七　購買品受拂ニ關スル帳簿
十八　仕入先トノ取引ニ關スル帳簿
十九　代金精算ニ關スル帳簿
二十　生産ニ關スル事業ヲ行フモノ
利用事業ヲ行フモノ
二十一　設備ニ關スル帳簿
二十二　利用料精算ニ關スル帳簿

第十五條　産業組合及産業組合聯合會ノ書類ハ左ノ類別ニ從ヒ之ヲ編綴整理スヘシ

一　定款及諸規程
二　産業組合法第三十條ノ書類
三　總會又ハ總代會ニ關スル書類
四　役員會ニ關スル書類
五　役員又ハ職員ノ進退ニ關スル書類
六　組合員ノ加入脫退及持分讓渡ニ關スル書類
七　監査ニ關スル書類
八　事務引繼ニ關スル書類
九　官廳ニ對スル關係書類
十　證憑書類
十一　送金送荷ニ關スル書類
十二　雜書類

前項ノ外事業ノ狀況ニ依リ適宜類別ヲ設ケ整理スルコトヲ妨ケス

第十六條　産業組合法施行規則第十條ニ依リ差出スヘキ書類ハ左ノ樣式ニ依リ之ヲ作成シ總會又ハ總代會ノ承認セル決議錄ヲ添附スヘシ

一　財産目錄　第一號甲樣式
二　貸借對照表　第一號乙樣式
三　事業報告書　第一號丙樣式其ノ一、其ノ二、其ノ三、其ノ四、其ノ五、其ノ六
四　剩餘金處分書　第一號丁樣式

第十七條　産業組合法施行規則第十條及第十二條ニ規定スル書類ハ總會又ハ總代會ノ承認又ハ決議ヲ經タル後一週間以內ニ之ヲ差出スヘシ

總會又ハ總代會ニ於テ産業組合法第三十一條ノ規定ニ依ル承認ヲ得ルコト能ハサリシトキハ遲滯ナク決議錄ノ謄本ヲ添ヘ知事ニ屆出ツヘシ

訂（靜岡令二二八號）

第十八條　産業組合法施行規則第十條ニ依リ差出スヘキ書類ハ組合ニ在リテハ一通、聯合會及産業組合法施行規則第十九條ノ二ノ規定ニ依ル組合ニ在リテハ二通、産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル信用組合及其ノ信用組合ニ關スル事業ヲ行フ信用組合聯合會ニ在リテハ三通トス

第十八條ノ二　事務ヲ掌理スル理事更迭シタルトキハ後任者就任ノ日ヨリ二週間內ニ引繼目錄ヲ作製シテ帳簿、書類、金錢及物品ノ引繼ヲ爲スヘシ

前項ノ引繼ヲ爲ス場合ハ監事之ニ立會スヘシ

前任者自ラ引繼ヲ爲スコト能ハサルトキハ他ノ理事及監事立會シテ引繼ヲ爲スヘシ

理事更迭後二週間ヲ經過スルモ仍第一項及第三項ノ引繼ヲナスコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ屆出ツヘシ

第十八條ノ三　産業組合及産業組合聯合會ノ監事ハ産業組合又ハ産業組合聯合會ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ監査ノ結果ヲ記載シタル監査書ヲ作成シ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ

前項ノ監査書ハ每事業年度始ヨリ六ケ月ヲ經過シタル時每ニ其ノ狀況ヲ附錄第二號樣式ニ依リ翌月末日迄ニ作成スルコトヲ要ス

第十八條ノ四　産業組合及産業組合聯合會ハ前條ノ監査書作成ノ日ヨリ一週間內ニ其ノ謄本ヲ知事ニ提出スヘシ

第十九條　産業組合法第八十條第一項但書ノ場合ニ在リテハ其ノ認可申請書ニ理由書及理事又ハ監事タルヘキ者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第二十條　産業組合又ハ産業組合聯合會ハ每月末試算表ヲ作成スヘシ

第二十一條　産業組合又ハ産業組合聯合會ハ每年三月、六月、九月、十二月ノ各月末現在ノ試算表竝左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ翌月十日迄ニ知事ニ提出スヘシ

一　組合員數、內産業組合法第十條ノ二第一項但書ニ規定セル法人別數（聯合會ニ在リテハ所屬組合又ハ所屬聯合會數）
二　販賣シタル物品ノ價額
三　購買シタル物品ノ價額
四　利用料
五　農業倉庫ニ於テ販賣シタル物品ノ價額

前項第二號乃至第五號ノ金額ハ事業年度ニ拘ラス每年一月一日ヨリ計算スルモノトス

第二十二條　産業組合又ハ産業組合聯合會カ訴訟ノ當事者トナリタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク知事ニ屆出ツヘシ其ノ訴訟ノ判決ヲ受ケ若ハ和解シタル場合亦同シ

第二十三條　産業組合又ハ産業組合聯合會ノ理事及清算人ハ其ノ組合又ハ聯合會ノ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ知事ニ報告スヘシ

第二十三條ノ二　總會又ハ總代會ニ於テ産業組合法第七十一條又ハ第七十三條ノ規定ニ依ル承認ヲ得タルトキハ遲滯ナク決議錄ノ謄本ヲ添ヘ知事ニ屆出ツヘシ

前項ノ承認ヲ得ルコト能ハサリシトキ亦同シ

第二十四條　（削除）

第二十五條　産業組合又ハ産業組合聯合會カ提出スル定款及原簿ハ强制

訂（靜岡令二二八號）

ナル美濃判用紙ヲ用フヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

様式

第一號

第一　産業組合

甲　財産目錄（信用組合ノ例其ノ他ノ組合モ之ニ準ズ）

資産

拂込未濟出資金	口數	何圓
系統機關出資金	種類及口數	何圓
貸出金總額		何圓
内譯 貸付金	件數	何圓
内譯 當座貸越金	件數	何圓
内譯 割引手形	枚數	何圓
預金	種類及各金額	何圓
有價證券	種類及各金額	何圓
土地	地目及各面積	何圓
建物	所在棟數及坪數	何圓
什器	種類及各點數	何圓
何々		何圓
現金		何圓
合計		何圓

負債

系統機關未拂込出資金	種類及口數	何圓
貯金總額		何圓
内譯 組合員貯金	組合員數	何圓
内譯 豫約者貯金	豫約者數	何圓
内譯 法第一條第三項ノ規定ニ依ル組合員外貯金	人員 團體數	何圓
内譯 法第一條第四項ノ規定ニ依ル組合員外貯金	人員	何圓
借入金總額		何圓
内譯 借入金	件數	何圓
内譯 當座借越金	件數	何圓
内譯 再割引手形	枚數	何圓
未拂利息	件數	何圓
貯金利息支拂備金	件數	何圓
未經過利息	件數	何圓
未經過割引料	件數	何圓
何々		何圓
合計		何圓
差引		何圓

（注意）

土地又ハ建物ニ付事業用ノモノト然ラザルモノトアル場合ニ於テハ之ヲ區別シタル内譯ヲ記載スルコト

訂〔靜岡令二二八號〕

乙　貸借對照表（信用組合ノ例其ノ他ノ組合モ之ニ準ズ）

貸方 種目	金額	借方 種目	金額
拂込未濟出資金	圓	出資金	圓
系統機關出資金		準備金	
貸出金總額		特別積立金	
内譯 定期貸付金		系統機關未拂込出資金	
内譯 年賦貸付金		貯金總額	
内譯 當座貸越金		内譯 据置貯金	
内譯 割引手形		内譯 定期貯金	
預金		内譯 當座貯金	
有價證券		内譯 特別當座貯金	
土地		内譯 通知貯金	
建物		内譯 何々	
什器		借入金總額	
何々		内譯 借入金	
		内譯 當座借越金	
		内譯 再割引手形	
（損失金）		未拂利息	
現金		貯金利息支拂備金	
合計		未經過利息	
		未經過割引料	
		何々	
		剰餘金	
		合計	

訂〔靜岡令二二八號〕

丙　事業報告書

其ノ一　各種組合ニ通ズル事項

一、組合員數及出資口數

出資一口ノ金額　圓　保證金總額　圓

職業別	前年度末現在		本年度加入及脫退			本年度末現在		
	組合員數	出資口數	加入員數	脫退員數	組合員數	出資口數		
農業	人	口	人	人	人	口		
林業								
工業								
商業								
水産業								
其ノ他								
小計								
法人								
合計								

（注意）

一　豫約者ヨリ加入シタル者ノ職業別數ヲ附記スルコト

二　保證責任組合ノ保證金額ガ出資一口ニ付均一ナラザルトキハ其ノ概略ヲ附記スルコト

二、組合員タル法人數及出資口數

訂（靜岡令二二八號）

法人別	前年度末現在			本年度末現在			備考
	法人數	出資口數	組合員數	法人數	出資口數	組合員數	
農事實行組合		口	人		口	人	
養蠶實行組合							
産業組合							
其ノ他ノ法人							
計							

（注意）

一　組合員數欄ニハ法人ヲ構成スル組合員ノ數ヲ記載スルコト

二　備考欄ニハ法人ヲ構成スル組合員ニシテ本産業組合ニ未ダ加入セザル者ノ數ヲ記載シ尚其ノ他ノ法人ニ付テハ其ノ法人名ヲ記載スルコト

三、出資拂込

年度別	各自拂込	剰餘金ヨリ拂込	合計
前年度末現在	圓	圓	圓
本年度拂込			
本年度拂戻			
本年度末現在			

（注意）

訂（靜岡令二二八號）

一　剰餘金ヨリノ拂込欄ノ本年度拂込ハ前年度剰餘金處分ニ依リ配當セラレタル剰餘金ヲ記載スルコト

二　本年度拂戻ハ本年度脱退者ノ拂込濟出資額ヲ記載スルコト

四、準備金及各種積立金

區別	前年度末現在	本年度末積立	本年度處分	本年度末現在
準備金	圓	圓	圓	圓
特別積立金				
何々積立金				
計				

（備考）準備金及各種積立金ノ積立或ハ處分狀況

積立金種別	積立 方法	積立 金額	處分 方法	處分 金額
準備金	剰餘金ヨリ積立	圓	脱退者ニ對スル拂戻（人口）	圓
	加入金（加入人口）		損失補塡	
	增口金（增口人口）		其ノ他	
	過怠金（件）			
	拂戻ヲ爲サヽル持分ヨリノ組入		小計	
特別積立金	剰餘金ヨリ積立		脱退者ニ對スル拂戻（人口）	
			損失補塡	

訂（靜岡令二二八號）

			其ノ他	
			小計	
			脱退者ニ對スル拂戻	
			損失補塡	
			其ノ他	
			小計	
計				

五、借入金

（一）借入金（當座借越金及手形ノ再割引ヲ除ク）及其ノ償還

借入先	前年度末現在	本年度借入	本年度償還	本年度末現在
産業組合中央金庫	圓	圓	圓	圓
信用組合聯合會				
何銀行				
何々				
計				

（二）當座借越金及其ノ償還

借越先	前年度末現在	本年度借越	本年度償還	本年度末現在

訂（靜岡令二二八號）

	産業組合中央金庫	信用組合聯合會	何銀行	何々	計
	圓				

(三)　手形ノ再割引及其ノ決済

再割引先	産業組合中央金庫	信用組合聯合會	何銀行	何々	計
前年度末現在	圓				
本年度再割引					
本年度決済					
本年度末現在					

(四)　年度内借入金利率並ニ再割引歩合

區別	借入金利率 最高	借入金利率 普通	借入金利率 最低	再割引歩合
	割			割

訂(靜岡令二二八號)

(注意)

一　利率又ハ歩合ハ年利ヲ以テ記載スルコト

二　普通ハ借入金又ハ手形ノ再割引ノ主要ナルモノノ利率又ハ歩合ニ依ルコト

六、餘裕金

(一)　年度末現在餘裕金運用狀況

種目	預金	預入先	金額	備考
預金	産業組合中央金庫		圓	
	信用組合聯合會			
	銀行	計		
		其ノ他		

有價	種類	枚數	券面總額	利率	單價	價額	備考
國債證券		枚	圓		圓	圓	
小計							
地方債證券							
小計							
計							

訂(靜岡令二二八號)

證券							
産業債券			其ノ他			合計	
			小計				

現金			餘裕金總額
金額		備考	
圓			

（注意）
一　有價證券ハ銘柄別ニ記載スルコト
二　預金證書若ハ有價證券ヲ擔保ニ供シ又ハ産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金トシテ管理スルモノ、其ノ他現物ヲ組合ニ保管セサルモノニ付テハ備考欄ニ其ノ金額及理由ヲ記載スルコト

（二）預金運用狀況

預入先	前年度末現在	本年度預入	本年度引出	本年度末現在
	圓	圓	圓	圓

訂（靜岡令二二八號）

計			

（三）預金利率

區別	利率
最高	割
普通	
最低	

（注意）
一　利率ハ年利ヲ以テ記載スルコト
二　普通ハ預金ノ主要ナルモノノ利率ニ依ルコト

七、損益計算

利益			損失		
種目	金額		種目	金額	
貸付金利息	圓		貯金利息	圓	
割引料			借入金利息		
販賣歩合金			諸給料		
假渡金利息			旅費		

訂（靜岡令二二八號）

購買益金		通信費	
利用料		消耗品費	
預金利息		會議費	
有價證券利息		運賃	
何々		何々	
雜收入		何々銷却	
小計		小計	
（繰越金）		（繰越損失金）	
合計		合計	
差引剩餘金			

（注意）

農業倉庫業ニ伴フ利益及損失ヲモ含メテ記載スルコト但シ農業倉庫業ニ伴フ特殊ノ勘定科目ハ之ヲ明記スルコト

八、總會又ハ總代會ノ決議ノ要領

總會又ハ總代會ノ種類、開會ノ時期、施行規則第十二條ノ借入額貸付額ノ最高限度、餘裕金預入先其ノ他一切ノ決議ノ要領ヲ記載スルコト

九、事業ノ狀況

貸付、貯金、手形ノ割引、販賣、購買、設備ノ利用、農業倉庫資金ノ需用等ノ狀況ヲ記載スルコト

十、處務ノ要件

月日	摘要

訂（靜岡令二二八號）

（注意）

官廳ヘノ申請報告屆出、官廳ノ檢査、命令、登記其ノ他處務ニ關スル重要ナル事項ヲ記載スルコト

其ノ二　信用組合ニ關スル事項

一　貸出金

（一）貸付金（當座貸越金及割引手形ヲ除ク）及其ノ償還

區別	前年度末現在		本年度貸付		本年度償還		本年度末現在		備考
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	
無擔保	件	圓	件	圓	件	圓	件	圓	
有擔保									
計									
內法人ノ分									

（注意）

一　物上擔保貸付ニ非サル貸付ハ無擔保貸付中ニ算入スルコト

二　脫退者ニ對スル貸付金ニシテ未タ償還ヲ受ケサルモノヲ包含スル場合ニハ其ノ件數及其ノ金額ヲ無擔保、有擔保別ニ備考欄ニ記載スルコト

訂（靜岡令二二八號）

三　貸付金ニシテ銷却シタルモノハ各其ノ件數及金額ヲ無擔保、有擔保別ニ備考欄ニ記載シ本年度償還欄ニハ包含セシメサルコト

(二)　常座貸越金及其ノ償還

區別	前年度末現在		本年度貸越		本年度償還		備考
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	
無擔保	件	圓	件	圓	件	圓	
有擔保							
計							
內法人ノ分							

(注意)

本表ノ記載ニ付テハ其ノ二ノ(一)ノ注意ニ準スルコト

(三)　年度內擔保別貸付金

種類	件數	金額	備考
土地	件	圓	
建物			
土地建物			
有價證券			
其ノ他			
計			

(注意)

一　本表ニハ年度內ニ於ケル累計ヲ記載スルコト

二　常座貸越金ハ本表ニ包含スルコト

三　土地ト建物トヲ併セ擔保トスル場合ハ土地建物欄ニ記載シ其ノ他二種以上ヲ併セ擔保トスル場合ニ於テハ其ノ主ナルモノニ包含セシメ備考欄ニ各物ノ種類ヲ記載スルコト

(四)　年度內用途別貸付金

區別	件數	金額
經濟用		
產業用	件	圓
計		

(注意)

一　本表ニハ年度內ニ於ケル累計ヲ記載スルコト

二　常座貸越金ハ本表ニ包含スルコト

(五)　年度末現在職業者別貸付金

農		林業		工業		商業		水產業		其ノ他		合計	
人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓

(注意)

常座貸越金ハ本表ニ包含シ法人ニ對スル貸付金及常座貸越金ハ除クコト

(六)　年度末現在金額別貸付金

訂(昭和十二年八號)

區別	百圓未滿		百圓以上五百圓未滿		五百圓以上千圓未滿		千圓以上二千圓未滿		二千圓以上三千圓未滿		三千圓以上五千圓未滿		五千圓以上一萬圓未滿		一萬圓以上		一人當平均貸付金額
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	
組合員	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	圓
內法人ノ分																	

（注意）

當座貸越金ハ本表ニ包含スルコト

（七）年度末現在期間別貸付金

區別	定期償還貸付金				年賦償還貸付金											
	一年以內ノモノ		一年ヲ越ユルモノ		五年以內ノモノ		十年以內ノモノ		十五年以內ノモノ		十五年ヲ越ユルモノ					
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額				
組合員	件	圓	件	圓	件	圓	件	圓	件	圓	件	圓				
內法人ノ分																

（八）手形ノ割引及其ノ決濟

區別	前年度末現在		本年度割引		本年度決濟		本年度末現在	
	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額
約束手形 無擔保	枚	圓	枚	圓	枚	圓	枚	圓
約束手形 有擔保								
爲替手形 無擔保								
爲替手形 有擔保								
計								

訂〔靜岡令二二八號〕

備考

（注意）

本表ノ記載ニ付テハ其ノ二ノ一ノ（一）注意ニ準スルコト

二　貯金

（一）貯金ノ受入及其ノ拂戻

區別	前年度末現在		本年度受入		本年度拂戻		本年度末現在	
	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數	金額	人員又ハ團體數	金額
組合員ノ貯金		圓		圓		圓		圓
內法人ノ分								
豫約者ノ貯金								
法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金 組合員ト同一ノ家ニアル者								
法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金 其ノ他								
法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金 計								
法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金								
合計								

備考

（注意）

組合員ノ貯金中脫退者ノ貯金ニシテ未タ拂戻ヲナササルモノヲ包含スル場合ニハ其ノ人員及金額ヲ備考ニ記載スルコト

（二）年度末現在職業者別貯金

訂〔靜岡令二二八號〕

區別	農業 人員	農業 金額	林業 人員	林業 金額	工業 人員	工業 金額	商業 人員	商業 金額	水産業 人員	水産業 金額	其ノ他 人員	其ノ他 金額	合計 人員	合計 金額
組合員ノ貯金	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓
法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金中組合員ト同一ノ家ニ在ル者ノ貯金														
法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金														
計														

（注意）

一　組合員ト同一ノ家ニ在ル者ノ貯金ニ付テハ其ノ組合員ノ職業該當欄ニ記載スルコト

二　法人ノ貯金ハ之ヲ除クコト

（三）　年度末現在金額別貯金

區別	三千圓以上 人員	三千圓以上 金額	二千圓以上三千圓未滿 人員	二千圓以上三千圓未滿 金額	千圓以上二千圓未滿 人員	千圓以上二千圓未滿 金額	五百圓以上千圓未滿 人員	五百圓以上千圓未滿 金額	百圓以上五百圓未滿 人員	百圓以上五百圓未滿 金額	百圓未滿 人員	百圓未滿 金額	合計 人員	合計 金額	一人當平均貯金額
組合員ノ貯金	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	圓
法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金中組合員ト同一ノ家ニ在ル者ノ貯金															
法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金															
計															

（注意）

法人ノ貯金ハ之ヲ除クコト

（四）　貸付及貯金利率竝ニ割引歩合

訂〔靜岡令二二八號〕

區別	貸付金	貯金 組合員ノ貯金	貯金 法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金	貯金 法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金	定期貯金	割引
最高	割	割	割	割	割	割
普通						
最低						

（注意）

一　定期貯金ヲ除ク他ノ貯金ノ各欄ニハ總テ定期貯金ヲ含メテ算出スルコト

二　利率ハ年利ニ換算シテ記載スルコト

三　普通ハ貸付金貯金又ハ手形割引ノ件數最モ多キモノノ利率又ハ歩合ニ依ルコト

（五）　拂戻準備金

區別	額面高 枚數	額面高 金額	金額	備考
金錢供託又ハ郵便貯金	枚	圓	圓	
産業組合中央金庫貯金				
聯合會貯金				
供託又ハ 國債證券				
供託又ハ 地方債證券				
供託又ハ 産業債券				
供託又ハ 何々				

訂〔靜岡令二二八號〕

保管	計
合計	

（注意）

一　證券ノ金額欄ニハ其ノ見積額ノ合計ヲ記載スルコト

二　備考欄ニハ證券ノ單價其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ記載スルコト

其ノ三　販賣組合ニ關スル事項

（一）受入又ハ販賣シタル物ノ數量及價額

種目	前年度末現在 數量	前年度末現在 價額 圓	本年度受入 數量	本年度受入 價額 圓	本年度販賣 數量	本年度販賣 價額 圓	本年度末現在 數量	本年度末現在 價額 圓
受託								
小計								
內法人ノ分								
買取								
小計								
內法人ノ分								
合計								
內法人ノ分								

訂〔靜岡令二二八號〕

（注意）

一　數量ノ單位ハ穀物ニ付テハ石、繭ニ付テハ貫、肥料ニ付テハ瓩ヲ以テ記載スルコト

二　本年度受入及本年度末現在ノ價額ハ受託販賣ノ場合ニ於テハ記入ヲ要セス

三　本表ニハ販賣組合ニ於テ取扱ヒタル販賣高ノミヲ記載シ農業倉庫ノ事業トシテ取扱ヘル販賣高ハ之ヲ除クコト

（二）販賣シタル物ノ販賣先別數量及金額

種目	販賣組合聯合會經由 數量	販賣組合聯合會經由 金額 圓	其ノ他ノ產業組合及聯合會 數量	其ノ他ノ產業組合及聯合會 金額 圓	其ノ他 數量	其ノ他 金額 圓	計 數量	計 金額 圓	備考
計									

（注意）

數量ノ單位記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號及第三號ニ準スルコト

（三）販賣代金ノ假渡

種目	件數	數量	金額	利率（年利）
	件		圓	割
計				

（注意）

一　本表ニハ年度内ニ於ケル累計ヲ記載スルコト

二　數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號ニ準スルコト

（四）加工物細別

加工後ノ物		加工前ノ物		備考
種目	數量	種目	數量	

（注意）

一　加工前ノモノノ數量ニハ未タ加工ヲ了ラサルモノノ數量ヲ包含セシメサルコト

二　數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號ニ準スルコト

（五）加工用設備

訂（靜岡令二二八號）

種目	數量	見積價額	備考
		圓	
計			

（注意）

一　設備ニシテ他ノ事業ト兼用ノモノハ其ノ旨備考欄ニ記載スルコト

二　特種ノ設備ニ付テハ加工ニ關スル方法ノ概略ヲ備考欄ニ記載スルコト

其ノ四　購買組合ニ關スル事項

一　購買物仕入先別數量及金額

種目	購買組合聯合會		販賣組合又ハ同聯合會		其ノ他		計		備考
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
（產業用）		圓		圓		圓		圓	
小計									
（經濟用）									
小計									

種目	(産業用)	小計	内法人ノ分	小計	(産業経済兼用)	内法人ノ分
合計						
其ノ他						
小計						
(産業経済兼用)						

(注意)

一　本表ハ賒買物ノ主ナルモノニ付簡目別ニ記載シ殘餘ノモノハ其ノ他ノ項ニ一括シテ總金額ヲ記載スルコト

二　肥料ニ付テハ硫酸安土尼亞、大豆粕、過燐酸石灰、石灰窒素、硫酸加里、魚肥、配合肥料、其ノ他ノ種目ニ分チ記載スルコト

三　數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號ニ準スルコト

二　買入又ハ賣却シタル物ノ數量及價額

種目	(産業用)	小計	(經濟用)	前年度末現在 數量	前年度末現在 價額	本年度買入 數量	本年度買入 價額	本年度賣却 數量	本年度賣却 價額	本年度末現在 數量	本年度末現在 價額	備考
小計					圓		圓		圓		圓	

(注意)

一　本年度買入又ハ本年度賣却欄ニハ本年度内ニ於テ買入又ハ賣却シタル物ノ全部ノ數量及價額ヲ記載スルコト

二　數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號ニ準スルコト

三　肥料ノ内譯記載ニ付テハ其ノ四ノ一ノ注意第二號ニ準スルコト

四　取扱物品ニシテ減耗シタルモノハ各其ノ數量及價額ヲ備考欄ニ記載シ本年度賣却欄ニハ包含セシメサルコト

三　生産物細別

種目	(産業用)	小計	(經濟用)	本年度生産數量	備考

訂(昭和十二年省令二二八號)

小計	
（産業經濟兩用）	
小計	
合計	

（注意）
數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號ニ準スルコト

四　加工物細別

加工後ノ物		加工前ノ物		
種目	數量	種目	數量	備考

（注意）
一　加工前ノモノノ數量ニハ未タ加工ヲ了ラサルモノノ數量ヲ包含セシメサルコト
二　數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號ニ準スルコト

五　加工及生産用設備

種目	數量	見積價額	備考
（加工用）		圓	
小計			
（生産用）			
小計			
（加工及生産兩用）			
小計			
合計			

（注意）
一　設備ニシテ他ノ事業ト兼用ノモノハ其ノ旨備考欄ニ記載スルコト
二　數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號ニ準スルコト
三　特殊ノ設備ニ付テハ加工及生産ニ關スル方法ノ概略ヲ備考欄ニ記載スルコト

其ノ五　利用組合ニ關スル事項

一　組合員ノ設備利用

設備種目	數量又ハ員數	設備ノ見積價額	利用程度	利用料	備考
		圓		圓	
（産業用）小計					
内法人ノ分					
（經濟用）小計					
内法人ノ分					
（産業及經濟兩用）小計					
内法人ノ分					
合計					
内法人ノ分					

（注意）

一　設備ニシテ他ノ事業ト兼用ノモノハ其ノ旨備考欄ニ記載スルコト

二　特殊ノ設備ニ付テハ設備利用ノ方法ノ概略ヲ備考欄ニ記載スルコト

訂〔靜岡令二二八號〕

三　産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ組合ニ在リテハ本表ノ利用程度及利用料欄ニハ組合員ノ利用ノ分ニ付テハ別ニ本表ニ準シ其ノ利用程度及利用料ノ表ヲ作成スルコト

其ノ六　農業倉庫

農業倉庫ノ事業報告書ハ大正七年八月農商務省告示第二百五十二號ニ依リ別ニ之ヲ作成スルコト

丁　剰餘金處分案

一金	何	圓
一金	何	圓
差引		
一金	何	圓
此ノ處分		
一金	何	圓（剰餘金ノ何分ノ一）
一金	何	圓
一金	何	圓（何ニ對シテ何ノ割）
一金	何	圓（拂込濟出資額ニ對シ年何分ノ割）
内	何	圓
一金	何	圓　本年度總益金
一金	何	圓　本年度總損金
		本年度剰餘金
		準備金
		特別積立金
		特別配當金
		出資拂込ニ充ツ何々
		翌年度繰越金

訂〔靜岡令二二八號〕

第二　産業組合聯合會

産業組合聯合會ヨリ差出スヘキ書類ノ樣式ニハ産業組合ヨリ差出スヘキ書類ノ樣式ヲ準用ス但シ丙事業報告書樣式其ノ一第一號中職業別欄ニハ組合又ハ聯合會ノ種類、組合員數ノ欄ニハ組合又ハ聯合會ノ數ヲ記載スルコト

信用組合聯合會ニ在リテハ前項ノ規定ニ依ルモノノ外左ニ依ルコト

一　丙事業報告書樣式其ノ二ノ一ノ(六)年度末現在金額別貸付金、一ノ(七)年度末現在期間別貸付金及其ノ二ノ二ノ(三)年度末現在金額別貯金ノ各表ハ作成スルヲ要セサルコト

二　丙事業報告書様式其ノ二ノ三年度内貸付金及貯金ノ利率並ニ割引歩合ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

(一)　産業組合法第七十六條ノ二第一項ノ規定ニ依リ爲シタル債務保證

保證先	前年度末現在			本年度保證			本年度解除			本年度末現在		
	聯組合會又ハ	金額		聯組合會又ハ	金額		聯組合會又ハ	金額		聯組合會又ハ	金額	
		圓			圓			圓			圓	
計												

(二)　産業組合中央金庫法第二條第三項ノ規定ニ依リ爲シタル代理業務

甲　貸付金

種類	前年度末現在			本年度貸付			本年度償還			本年度末現在		
	聯組合會又ハ	金額		聯組合會又ハ	金額		聯組合會又ハ	金額		聯組合會又ハ	金額	
		圓			圓			圓			圓	
計												

乙　手形ノ割引

種類	前年度末現在			本年度割引			本年度決済			本年度末現在		
	聯組合會又ハ	金額		聯組合會又ハ	金額		聯組合會又ハ	金額		聯組合會又ハ	金額	
		圓			圓			圓			圓	

訂〔靜岡令二二八號〕

丙　貯金

種類	前年度末現在			本年度受入			本年度拂戻			本年度末現在		
	聯組合會又ハ	金額		聯組合會又ハ	金額		聯組合會又ハ	金額		聯組合會又ハ	金額	
		圓			圓			圓			圓	
計												

訂〔靜岡令二二八號〕

附錄様式

總會(總代會)決議錄

一　開會ノ日時

開會ノ場所

二　總組合員(總總代員)　數　名

三　出席組合員(出席總代員)　數　名　(内議決權ヲ委任シタル者　名)

四　議事ノ要領

何々

議題

何々

五　決議ノ要領

何々

各議題毎ニ贊否ノ數

各議題ニ對スル主ナル贊否ノ意見

右　時　分議事ヲ終了シ議長閉會ヲ宣ス

年　月　日

様式

第二號　　監査書

一、昭和何年度前(後)期自昭和何年何月至昭和何年何月業務ノ狀況

二、昭和何年度前(後)期末財産ノ狀況

右監査ノ結果ニ基キ重要ト認ムル事項ヲ左ニ抄錄シ監査書ヲ作成ス

昭和何年何月何日ヨリ何日迄何日間監査

昭和何年何月何日作成

甲　總　況　（總況ニハ業務及財産ノ狀況ニ付重要ト認ムル事項ヲ左記項目ニ準シ記載シ且意見ヲ附スルコト）

一　役　職　員

イ　事務組織竝處理狀況

ロ　職員身元保證方法

ハ　役職員ノ組合トノ取引狀況

二　現　金

イ　現金出納及保管方法

ロ　日記帳ト現金トノ照査

ハ　常時保管現金ノ多寡

三　所　有　物

イ　管理方法

ロ　現品ト帳簿トノ照査

ハ　取得價額ト證憑書トノ照査

ニ　減價銷却狀況

四　出　資　金

イ　出資拂込延滯者ニ對スル處理狀況

ロ　中央金庫聯合會ノ出資拂込證憑書ト帳簿トノ照査

五　預　ケ　金

イ　證書又ハ通帳ノ保管狀況

ロ　證書又ハ通帳ト帳簿トノ照査

ハ　預入狀態

六　借　入　金

イ　借入金ノ運用方法及償還計畫

ロ　證書控ト帳簿トノ照査

ハ　借入先ト借入條件

ニ　借入金償還ニ付帳簿ト通帳又ハ證憑書トノ照査

七　假受拂金

イ　假受金假拂金ノ內容

ロ　證憑書ト帳簿トノ照査

（組合住所）

（組合名）

議長(組合長理事)　何　某

組合員(總代)　何　某

組合員(總代)　何　某

監事　何　某㊞

監事　何　某㊞

監事　何　某㊞

訂(靜岡令二二八號)

訂(靜岡令二二八號)

ハ　回収ノ計畫及確保方法

八　損　益

イ　利息、配當金等ノ算出及徴收又ハ支拂方法

ロ　損費ノ内容

ハ　未收、未拂ノ處理方法

九　貸付金

イ　貸付ノ内容及整理狀況

ロ　證書、手形及擔保品ト帳簿トノ照査

ハ　貸付最高限度超過ノ有無

ニ　信用程度表ノ内容及參酌狀況

ホ　期限經過貸付金整理狀況

ヘ　利息收入狀況

十　貯　金

イ　定期貯金證控ト拂戻シタル證書及帳簿トノ照査

ロ　貯金拂戻準備ノ狀況

十一　販賣事業

イ　販賣先及販賣方法

ロ　帳簿ト證憑書トノ照査

ハ　現品ト帳簿トノ照査

ニ　代金ノ回收狀況

ホ　代金ノ精算狀況

十二　購買事業

イ　仕入先及仕入方法

訂（靜岡令二二八號）

ロ　帳簿ト證憑書トノ照査

ハ　現品ト帳簿トノ照査

ニ　掛賣金回收狀況

ホ　掛買金支拂狀況

十三　利用事業

イ　組合員利用狀況

ロ　利用料收入狀況

乙　試算表

一　昭和何年度前（後）期末現在（合計殘高）試算表

二　科目別計數調査表

科目名	試算表金額		過不足高	意見
	臺帳又ハ證憑書類集計額			

備考

資産負債ニ屬スル科目ハ各關係帳簿ニ基キ損益科目中各種經費ハ證憑書類ニ經費以外ノモノハ關係帳簿ニ據リ集計シ爲シ試算表當該科目ノ殘高ト照合シ其ノ過不足ヲ示スコト

丙　調査表

一　所有物調

名稱	摘要	取得年月日	價額	帳簿價額	時價	備考

訂（靜岡令二二八號）

注意

イ　本表ハ土地、建物、機械、什器及有價證券ニ分チ各其ノ小計ヲ記載スルコト

ロ　摘要欄ニハ土地ニ付テハ位置地目面積ヲ、建物ニ付テハ位置構造建坪ヲ、機械什器ニ付テハ大サ員數ヲ、有價證券ニ付テハ額面銘柄枚數等ヲ詳記スルコト

ハ　取得價額中ニハ取得後ノ改築費增築費及主ナル修繕費等ヲ含マシムルコト

ニ　備考欄ニハ質權抵當權ノ設定、使用貸借、賃貸借、供託等ノ關係擔保流込ノモノニ付テハ其ノ旨ヲ記載スルコト

二　貯金調

（本表ハ貯金調査ノ結果金額又ハ月日不一致ノモノノミヲ記載スルコト）

氏名	證書又ハ通帳	帳簿	證書控			
	金額	月日	金額	月日	備考	

注意

イ　拂戻シタル定期貯金ノ證書ト帳簿ト證書控トノ照査ニ於テ不一致ノモノヲ記載スルコト

ロ　組合員ヨリ證書又ハ通帳ヲ引上ケ帳簿、證書控ト照査シ不一致ノモノヲ記載スルコト

ハ　備考欄ニハ不一致ノ原因判明セルモノハ其ノ原因其ノ他ヲ記載スルコト

ニ　意見ヲ附スルコト

三　注意ヲ要スル債權調

氏名	職業	種別	債權額	延滯利息	期限	擔保品又ハ擔保證人名	擔保品評價額	備考

訂（靜岡令二二八號）

注意

イ　本表ニハ大口債權（一世帶ノ者ニ對スル債權合計額カ貸付最高限度決議額ノ八割ニ達シタルモノ）及回收不能見込ノモノ又ハ回收困難（回收上特ニ手數費用若ハ年月ヲ要シ又ハ法令定款總會ノ決議ニ違背セルモノ）ト認ムルモノニ付記載スルコト

ロ　備考欄ニハ大口債權回收不能回收困難ノ別保證人ノ辨償能力ノ有無及債務者ニシテ組合ニ貯金ヲ有スル場合ハ其ノ種類並金額ヲ記載スルコト

ハ　種別欄ニハ證書貸付、手形貸付、當座貸越、割引手形、販賣又ハ購買掛賣金未收利用料等ノ種別ヲ記載スルコト

ニ　一世帶毎ニ債權額及延滯利息ヲ小計スルコト

四　販賣品調

（本表ハ帳簿ノ殘高ト現品トノ調査ノ結果不一致ノモノノミヲ記載スルモノトス）

品名	帳簿數量	現品數量	過剩		現品	不足	
			數量	價額	數量	價額	備考

注意

イ　品目毎ニ且單價ノ異ル毎ニ記載スルコト

ロ　備考欄ニハ破損、減減其ノ他ノ事項ヲ記載スルコト

五　購買品調

購買品調ハ販賣品調ニ準シ記載スルコト

六　新舊役職員及其ノ關係者ニ對スル債權調

債務者氏名	役職名	役職員トノ続柄	種別	債権額	延滞利息	期限	擔保品又ハ保證人名	擔保品評價額	備考
小計									
合計									

注意

イ　新舊役職員トハ現任理事監事及事務員竝退職後五年ヲ經過セサル前記ノ者ヲ指稱シ其ノ關係先トハ其ノ家族、使用人及主ナル親族等ヲ指稱ス

ロ　注意ヲ要スル債權ノ注意(ハ)(ニ)ヲ準用ス

ハ　備考欄ニハ保證人ノ辨償能力ノ有無及債務者ニシテ組合ニ貯金ヲ有スル場合ハ其ノ種類竝金額ヲ記載スルコト

●産業組合法改正ニ關スル件

農第四四〇九號内務部長通牒（昭和七年十一月四日）

市町村長宛

今次産業組合法ヲ一部改正サレタルハ産業組合ノ振起擴充ヲ期セムトス

訂（靜岡令二二八號）

ルモノニ有之殊ニ時局ニ鑑ミ農山漁村ノ經濟更生ノ爲ニ産業組合ヲシテ其ノ機能ヲ充分發揮セシムルヲ最モ緊要ト認メ産業組合活動上其ノ信用竝其ノ基礎ヲ擴大セシムルト共ニ産業組合運動ニ依ル利益ヲ洽ク普及均霑セシメムトスルモノニ有之組織變更其ノ他ニ關シ産業組合ノ現有勢力ヲ減殺スルカ如キ結果ヲ招來セサル樣其ノ筋ヨリ通牒ノ次第モ有之候條特ニ左記事項ニ留意候樣貴部内産業組合及産業組合聯合會ニ傳達相成度

記

一、農村ニ於ケル産業組合及産業組合聯合會ノ組織變更ニ付テハ五ケ年間ノ暫定期間ニ不拘速ニ實現スルコト

二、組織變更ニ關聯シ出資一口ノ金額ヲ減少シ或ハ組合員ヲ脫退セシムルカ如キ結果ヲ招來セサル樣スルコト

三、組合員ノ脫退ニ伴ヒ産業組合ノ準備金其ノ他各種積立金ヲ減少セサル爲可成出資金以外ニ持分ヲ持タサル樣定款中持分ニ關スル規定ヲ改ムルコト

四、農事實行組合及養蠶實行組合ノ組合員ニシテ未タ産業組合ニ加入セサル者ハ假令其等ノ組合カ産業組合ニ加入スルトスルモ倘極力單獨加入セシムルコト

五、單獨加入ヲ奬勵スルモ出資能力ナキ爲等ニ依リ加入困難ナル場合ニ付テハ農事實行組合養蠶實行組合等ヲ通シテ産業組合ノ事業ヲ利用セシムルコト

六、農事實行組合ノ區域ト區域ヲ同シクスル養蠶組合副業組合等アル場合ハ可成兼ネ農事實行組合ト合併セシメタル上加入セシムルコト

七、農事實行組合及養蠶實行組合ヨリ加入ノ申込アリタルトキハ可成之ヲ加入セシメ故ナクシテ之ヲ拒ムカ如キコトヲ爲ササルコト

訂（靜岡令一九九號）

●産業組合及産業組合聯合會帳簿様式

告示第百八十號（大正十二年五月十八日）

産業組合及産業組合聯合會帳簿様式當臨ニ於テ調査セルモノ左ノ通

日記帳

年月日	元帳科目	元帳丁數	摘要	受入	支拂	現金殘高	取扱者印

備考

一　日日起リタル總テノ取引ヲ細大漏サス記載スヘシ

二　元帳丁數欄ニハ元帳ニ轉記シタルトキ此ノ丁數ヲ記入スヘシ但シ丁數ニ代ヘ「レ」印ヲ記入スルモ可ナリ

三　取扱者印欄ニハ記帳上ノ現金殘高ト實際ノ現金在高トヲ突合セ符合シタルトキ取扱者之ニ捺印スヘシ

元帳

何々

年月日	摘要	日記帳丁數	受入	支拂	受又ハ拂	殘高

備考

訂〔静岡令一九七號〕

一　勘定科目ハ欄外ニ記載シ口座ヲ設クヘシ

二　日記帳ノ受入欄ノ金額ヲ元帳ノ受入欄ニ日記帳ノ支拂欄ノ金額ヲ元帳ノ支拂欄ニ轉記スヘシ

三　殘高欄ニハ受入金額及支拂金額ノ差額ヲ記入シ受入多キトキハ受又ハ拂欄ニ受、支拂多キトキハ同欄ニ拂ト記入スヘシ

四　日記帳丁數欄ニハ日記帳ニ於テ當該事項記入ノ丁數ヲ記入スヘシ但シ元帳記入ノ日付ニ依リ日記帳ノ當該記入事項ヲ容易ニ索引シ得ルトキハ本欄ヲ略スルコトヲ得

改〔静岡令一〇七號〕

組合員名簿

住所	職業	加入年月日及氏名

年月日	摘要	出資口數 取得	出資口數 譲渡	出資口數 現在	出資額	出資拂込額 拂込	出資拂込額 譲渡	出資拂込額 現在	出資未拂込額

備考

一　出資口數現在欄ニハ出資口數ニ移動ナキ場合ニ於テモ記入スヘシ

二　持分ヲ拂戻ストキハ持分臺帳及本帳簿ニ依リテ拂戻ノ金額ヲ計算スヘシ

三　保證責任組合ノ場合ニハ職業欄ノ下ニ保證金額欄ヲ作ルヘシ但シ保證金額カ出資口數ニ應シ變動スルトキハ出資未拂込額欄ノ下ニ更ニ保證金額欄ヲ設ケ保證金ノ現在額ヲ分明ナラシムヘシ

四　出資券ヲ用フル組合ニシテ出資券番號ノ照合ヲ要スルトキハ別ニ出資券番號帳ヲ要ス

五　組合員數及出資口數增減表ヲ末尾ニ附綴シ移動アル毎ニ記入シ現在數ヲ分明ナラシムヘシ

（甲）持分臺帳　（年々改算）

財産 科目	財産 金額	標準 科目	標準 金額	標準額一圓ニ對スル持分

(乙)

番號	組合員	出資金及按分額				脫退ノ際ノ持分金				持分合計額	
		標準額		按分額		標準額		按分額			

備考

一　本帳簿ハ持分ノ計算上年々改算スル場合ニ用フヘシ

二　甲樣式ハ帳簿ノ第一枚ニ用ヒ乙樣式ハ第二枚以下ニ用ヒ年度毎ニ更製スヘシ

三　持分ノ標準ノ異ナルニ從ヒ乙樣式ノ財産科目ノ名稱ヲ變更シ又ハ其ノ記載欄ノ增減ヲ爲スヘシ

(甲)持分臺帳　　(年々加算)

年月日	本年度增減財産			標準			標準額一圓ニ對スル持分	
	科目	金額		科目	金額			

(乙)

備考

一　本帳簿ハ持分ノ計算上年々改算スル場合ニ用フヘシ

二　甲樣式ハ帳簿ノ前付數枚ニ用ヒ乙樣式ハ其ノ後ノ頁ニ用フヘシ

三　組合員每ニ口座ヲ設クヘシ

四　持分ノ標準ノ異ナルニ從ヒ乙樣式ノ財産科目ノ名稱ヲ變更シ又ハ其ノ記載欄ノ增減ヲ爲スヘシ

(年々何率利)　(年々何先預)　預金臺帳　(當座)

年月日	摘要	預入	引出	殘高	月數	積數	利息

備考

一　利率カ日歩又ハ半月歩ナルトキハ月數欄ヲ日數又ハ半月數トスヘシ

二　月數欄以下ハ利息計算期ニ於テ記入スヘシ

三　月數欄ニハ當該殘高金額カ次ニ記入ノ時マテニ利子ヲ付セラルヘキ月數ヲ積數欄ニハ殘高ト月數トノ相乘積ヲ利息欄ニハ積數ニ利率ヲ乘シタルモノヲ記入スヘシ

（々何率利）

年月日	摘要	借方	貸方	日数	借方	貸方	利息	備考

改（勅令一〇七號）

備考

一　日数欄以下ハ利息計算切ニ於テ記入スヘシ

二　日数欄ニハ當該高金額カ次ニ記入ノ時々利子ヲ附セラルヘキ日数ヲ、積数欄ニハ殘高ト日数トノ相乗積ヲ、利息欄ニハ積数ニ利率ヲ乘シタルモノヲ記入スヘシ

借入金當座帳（當座借越契約）

年月日	摘要	小切手番號	借方（支拂）（受入）	貸又ハ借	殘高	日数	積数	利息	備考

極度	借越
期限	契約
擔保	
日借越利率	
日賦金拂込歩合	

備考

一　本邦銀行ノ殆ト當座借越契約ヲ爲シタル場合ニ用フヘシ

二　日数欄以下ノ利息計算ノ場合ニ記入スヘシ

三　日数欄ニハ當日ヨリ次ニ記入スヘキ當日ノ前日マテノ日数ヲ記入シ積数欄ニハ殘高ト日数トノ相乗積ヲ殘高ノ借又ハ貸ニ從ヒ積数ノ借方又ハ貸方ニ記入スヘシ

（々何先入借）

年月日	摘要	借入	償還	殘高	日数	積数	利息

借入金臺帳（日歩取引）

本帳簿ハ一件毎ニ口座ヲ設クヘシ

改（勅令一〇七號）

償還方法	利息支拂方法
期限	擔保又ハ保證人
利率	

備考

借入金臺帳（定期又ハ年賦）

年月日	摘要	借入	償還	殘高	日数	積数	利息	備考

利率欄ヲ設ケ其ノ當日記入ノ利息收納ハ引出又ハ預入替ノ當日記入スヘシ

備考

定期預金臺帳（定期）

年月日	證書號數	預ケ入レ又ハ引出	先金	額	期間	期限	利率	利息收納	備考
								年月日	
								金額	
								備考	

四　利息欄ニハ積數合計ト利率トノ相乘積ヲ記入スルモノニシテ借方積數ト預金利率トノ積ヲ借方利息欄ニ貸方積數ト借越利率トノ積ヲ貸方利息欄ニ記入スヘシ

所有物臺帳

年月日	番號	品名	數量	受入	異動	年度末現在	備考

備考

一　本帳簿ハ年度毎ニ作成スヘシ

二　受入欄マテハ物品購入當時ニ、異動欄及年度末現在欄ハ年度末ニ於テ棚卸ヲナシタルトキ、備考欄ニハ事項ノ發生當時ニ各記入スヘシ

三　異動欄ニハ普通減價額ヲ記入スルモ增價額ノ場合ニハ數字ノ肩ニ增ヲ付スヘシ

四　年度初ニ於テ帳簿ヲ改メタルトキハ年度初メ第一日ノ日付ヲ以テ現在品ニ付受入欄マテ記入シ受入價額ハ前年度末現在價額ヲ記入スヘシ

消耗品臺帳

何々

年月日	摘要	受入	拂出	殘高	取扱者印

備考

一　受入、拂出、殘高ノ各欄ニハ物品ノ數量又ハ個數ヲ記入スヘシ

改（靜岡令一〇七號）

二　拂出欄ニハ或ル期間ノ使用量ヲ豫定シ之ヲ一時ニ拂出トシテ記入スルモ可ナリ

三　年度末日殘高ハ評價シテ棚卸表ニ記入スヘシ

貸付金臺帳　（月賦年賦又ハ定期）

證書番號	氏名	用途	利率	年月日	摘要	貸付	償還	殘高	收入利息	備考

期限	擔保又ハ保證人	償還方法	利息受入方法

備考

一　本帳簿ハ借入金證書一通毎ニ口座ヲ設クヘシ

二　欄外證書番號ハ借入金證書ニ記入セル番號ト一致セシムヘシ

三　一人ニシテ二件以上ノ借入ヲナスモノ多數ニ上ル場合ハ別ニ組合員毎ノ貸付金總額表ヲ作リ貸付程度ヲ定ムル參考ニ資スヘシ

四　回數多ク貸付及償還ヲ行フ爲前樣式ニテ利息ノ計算ヲ困難トスル場合ニハ收入利息欄ニ代ヘテ日數、積數、利息欄ヲ設クヘシ

五　擔保貸付多ク本帳簿ヲ以テ整理シ難キ場合ニハ別ニ擔保品整理帳ヲ設クヘシ

貯金臺帳　（當座）

通帳番號	氏名	年月日	摘要	受入	拂戻	殘高	月數	積數	利息

改（靜岡令一〇七號）

備考

一 本帳簿ハ貯金者毎ニ口座ヲ設クルコト

二 欄外ノ通帳番號ハ通帳ヲ用ヒサルトキハ之ヲ一致セシムルコト

三 利率カ日歩又ハ年月歩ナルトキハ月數欄ヲ日數又ハ年月數トスルコト

四 月數欄ニ以下ノ利息計算期ニ於テ記入スルコト

五 月數欄ニハ會計檢査ノ際貯金額カ次ニ記入スル時マデニ利子ヲ付セラルヘキ月數ヲ總數欄ニハ殘高ト月數トノ相乘積ヲ利息欄ニハ總數ニ利率ヲ乘シタルモノヲ記入スルコト

貯金臺帳（定期）

年月日	番號	貯金者	金額	期間	期限	利率	利息 年月日	利息 金額	備考

備考

利息欄ヲ設ケ貯金受入ノ當日記入シ利息支拂欄ニ貯金拂戻又ハ振込ノ當日記入スルコト

割引手形明細帳

年月日	番號	依頼人	丁元數帳	支拂人	丁元數帳	擔保品 品名	擔保品 種類	擔保品 價額	種手形	荒手形	日手形	期日	割引 日數	割引 日歩	割引 金額	金手	抵形	場支 所拂	摘取	要立

備考

一 手形割引ノ依頼アルトキハ未帳簿ノ依頼人及支拂人口座ノ殘高ノ多寡ヲ見テ其ノ割引ノ諾否ヲ決スル參考ト爲スヘシ

二 手形ヲ割引シタルトキハ割引依頼人及手形支拂人ノ兩口座ヲ設ケ（既ニ其ノ者ノ口座ヲ設ケアルトキハ其ノ口座ニ）依頼人口座ノ借方及支拂人口座ノ支拂口ノ借方ニ記入シ期日ニ至リ支拂人ヨリ手形金額ノ支拂アルトキハ同手形ノ割引依頼人ノ依頼口及支

三 手形割引ノ依頼アルトキハ未帳簿ノ依頼人及支拂人口座ノ殘高ノ多寡ヲ見テ其ノ割引ノ諾否ヲ決スル參考ト爲スヘシ

割引手形臺帳

名氏	業態	所住	年月日	番號	摘要	期日	借方	貸方	殘高	年月日	番號	摘要	期日	借方	貸方	殘高
					（依頼口）							（支拂口）				

備考

一 本帳簿ハ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル信用組合ニ限リ用フヘシ

二 手形ヲ割引シタルトキハ割引依頼人及手形支拂人ノ兩口座ヲ設ケ（既ニ其ノ者ノ口座ヲ設ケアルトキハ其ノ口座ニ）依頼人口座ノ借方及支拂人口座ノ支拂口ノ借方ニ記入シ期日ニ至リ支拂人ヨリ手形金額ノ支拂アルトキハ同手形ノ割引依頼人ノ依頼口及支拂人ノ貸方ニ記入スヘシ

備考

本帳簿ハ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル信用組合ニ限リ用フヘシ

支拂準備金臺帳

年月日	産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金額	支拂準備金								備考
		準備金額	有價證券							
			證券種類	證券番號	證券額面	枚數	時價	金庫供託又ハ貯金額		

備考

一　本帳簿ハ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル信用組合ニ限リ用フヘシ

二　産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金額ハ事業年度ニ從ヒ毎六ケ月末日現在ノ貯金總額ヲ計上スヘシ

三　備考欄ニハ有價證券又ハ金錢ノ供託年月日供託先ヲ記載スヘシ

債務保證臺帳

年月日	債權者	債務者	債務保證金額	債務保證期間	備考

備考

一　本帳簿ハ信用事業ヲ行フ聯合會ニ限リ用フヘシ

改（靜岡令一〇七號）

二　備考欄ニハ産業組合法第七十六條ノ二第二項ノ規定ニ依リ其ノ債權ノ取立ヲナシタル場合ニ記載スヘシ

物品受入帳　（買取）

年月日	摘要	數量	價額		支拂額	未拂額	備考
			單價	總額			

氏名

改（靜岡令一〇七號）

備考

一　本帳簿ハ販賣品ヲ受入タル組合員毎ニ口座ヲ設クヘシ

二　年度末ニ於ケル價額總額ノ合計ハ其ノ組合員ニ對スル年度内買取高ヲ示スモノナレハ之ヲ以テ剩餘金配當又ハ持分算定ノ標準ト爲スヘシ

物品販賣帳

年月日	摘要	數量	價額		收入額	未收額	備考
			單價	總額			

販賣先何々

備考

本帳簿ハ販賣先毎ニ口座ヲ設クヘシ

販賣品受拂帳　（買取）

何々

年月日	摘要	受入 数量	受入 價額	販賣 数量	販賣 代價	販賣 附帶費	販賣 差引	殘高 数量	殘高 價額	備考

備考

一　本帳簿ハ品目毎ニ口座ヲ設ケ販賣品ノ受入及販賣アリタル毎ニ記入スヘシ

二　附帶費欄ニハ運賃其ノ他販賣ニ際シ支拂ヒタル經費ヲ記入スヘシ

三　殘高價額欄ニハ買取原價（繰越ニ依ルモノハ繰越價額）ニ依リテ記入スヘシ但シ常時殘高價額ノ記入ヲ略シ棚卸ノ場合ニノミ記入スルモ可ナリ

四　棚卸ヲ爲シタルトキハ殘高ノ數量及價額ノ更正ヲ行ヒ備考欄ニ記入スヘシ

五　加工ヲ爲ス販賣組合ハ簡單ナル場合ニハ備考欄ニ記入スレハ足ルモ之ノミテ整理シ難キ場合ニハ別ニ加工帳ヲ使用スヘシ

六　物品ノ品目極メテ多ク且出入頻繁ニ起ルトキハ傳票ヲ用ヒ取纏メテ記入スヘシ

販賣品受拂帳　（受託）

何々

年月日	摘要	受入	販賣	殘高	販賣價額	備考

（改正昭和一一・一〇・一勅令第七〇二號）

備考

一　本帳簿ハ品目毎ニ口座ヲ設ケ受託販賣品ノ受入及販賣アリタルトキニ記入スヘシ

二　棚卸ヲ爲シタルトキハ殘高ノ更正ヲ爲スヘシ

三　繰越價額及見積價額等ハ備考欄ニテ整理スヘシ

四　加工ヲ爲ス販賣組合ハ簡單ナル場合ニハ備考欄ニ記入スレハ足ルモ之ノミニテ整理シ難キ場合ニハ別ニ加工帳ヲ使用スヘシ

五　組合員ヨリ受託販賣品ノ受拂ヲ明ニスヘキ必要アル場合ニハ本帳簿ニ準シ（販賣價額欄ヲ要セス）別ニ帳簿ヲ設ケ組合員及品目別ニ記入スヘシ

物品代金拂渡帳　（受託）

名氏

年月日	摘要	賣上金	拂渡金 假拂	拂渡金 立替金	前拂未拂又ハ	殘高	控除 控除金	控除 支拂金	備考

備考

一　本帳簿ハ組合員毎ニ口座ヲ設ケ受託販賣品ノ賣却、代金ノ支拂及精算ノ場合ニ記入スヘシ

二　賣上金欄ニハ物品ノ賣却ト同時ニ代金ノ受入ト否トニ拘ハラス賣上高ヲ記入スヘシ

三　拂渡金欄ニハ代金ノ精算以前ニ該組合員ヘ支拂ハレタル代金ヲ、立替金欄ニハ運賃其ノ他賣却ト同時ニ支拂ハレタル立替金ヲ記入ス

（改正昭和一一・一〇・一勅令第七〇二號）

假渡金又ハ立替金ニ相當スルモノナキトキハ夫々其ノ欄ヲ要セス双方共ニナキトキハ上ノ兩欄及前拂又ハ未拂欄ヲ略シ殘高欄ヲ精算欄ノ次ニ入ルヘシ

四　控除金欄ニハ歩合金手數料加工費假渡金利息等精算ニ際シ組合ノ所得トシテ控除スヘキ金額ヲ記入シ同時ニ備考欄ニ其ノ内譯ヲ記入シ支拂金欄ニハ未拂代金中ヨリ該組合員ヘ支拂ヒタル金額ヲ記入スヘシ

五　年度末ニ於テ賣上高ノ合計ハ該組合員ノ一年間ノ賣上總高ヲ示シ前拂又ハ未拂ノ殘高アルトキハ翌年度ニ繰越スヘシ

六　假渡金利息ノ計算カ複雜トナリ本帳簿ニテ計算ニ困難ヲ感スル場合ニハ預金臺帳ニ準シ別ニ組合員別ノ假渡金整理帳ヲ作成スヘシ

物品購買帳

購買先何々

年月日	摘要	數量	單價	總額	支拂額	未拂額	備考

備考

一　本帳簿ハ購買組合ニ於テ購買先毎ニ口座ヲ設ケ物品ノ購入及代金ノ支拂アリタルトキニ記入スヘシ

二　備考欄ニハ未拂金額ニ對スル利息ニ關スル事項等ヲ記入スヘシ

物品賣却帳

氏

年月日	摘要	數量	單價	總額	收入額	未收額	備考

改（靜岡令一〇七號）

名

備考

一　本帳簿ハ組合員毎ニ口座ヲ設ケ購買品ノ賣却及代金ノ收入アリタルトキニ記入スヘシ

二　年度末ニ於ケル價額總額ノ合計ハ其ノ組合員ニ對スル年度内賣却高ヲ示スモノナレハ之ヲ以テ剩餘金配當又ハ持分算定ノ標準ト爲スヘシ

改（靜岡令一〇七號）

購買品受拂帳

何々

年月日	摘要	購買 數量	購買 價額	賣却 數量	賣却 價額	殘高 數量	殘高 價額	備考

備考

一　本帳簿ハ品目毎ニ口座ヲ設ケ購買品ノ購買及賣却アリタルトキニ記入ス

二　附帶費欄ニハ運賃其ノ他購買ニ際シ支拂ヒタル經費ヲ記入スヘシ

三　殘高價額欄ニハ購買原價（繰越ニ依ルモノハ繰越價額）ニ依リテ記入スヘシ但シ常時殘高價額ノ記入ヲ略シ棚卸ノ場合ニノミ記入スルモ可ナリ

四　棚卸ヲ爲シタルトキハ殘高ノ數量及價額ノ更正ヲ行ヒ之ヲ備考欄ニ記入スヘシ

五　極メテ少額ノ取扱品ニ付キ各品目毎ニ口座ヲ設クルハ繁雜ナルヲ以テ一纏トシテ雜品ナル口座ノ下ニ整理シ數量ノ記入ヲ略スルモ可

六　加工ヲ爲ス購買組合ハ簡單ナル場合ニハ備考欄ニ記入スルヲ以テ足ルモノトス

七　物品ノ品目極メテ多ク且出入頻繁ニ起ルトキハ傳票ヲ用ヒ元帳ヘ記入スルヲ以テ足ルモノトス

生産帳

何々	年月日	摘要	經過 品目	數量	價額	生産 數量	賣却 數量	價額	殘高數量	備考

備考

一　本帳簿ハ購買組合ニ於テ生産ヲ爲ス場合ニ用フヘシ

二　本帳簿ハ品目毎ニ口座ヲ設ケ生産アリタルトキニ記入スヘシ

三　棚卸ヲ爲シタルトキハ殘高數量ノ更正ヲ行ヒ之ヲ備考欄ニ記入スヘシ

利用帳　（物品ノ加工）

何々	年月日	摘要	利用 受入	加工	未製品	利用後 成品	返付	殘高	利用料

（改正昭和二年省令一三八號）

備考

一　本帳簿ハ組合員毎ニ口座ヲ設ケ加工ヲ爲ス利用組合ニ於テ物品ノ受入、加工及返付ヲ爲ストキニ記入スヘシ

二　組合員毎ニ物品ノ受拂ヲ明ニスヘキ必要アル場合ニハ本帳簿様式ニ準シ（利用料欄ヲ要セス）組合員及品目別ニ記入スヘシ

利用整理帳　（物品ノ加工）

名氏	年月日	摘要	功程	利用 單價	利用 總額	收入額	未收額	備考

備考

一　本帳簿ハ組合員毎ニ口座ヲ設ケ物品ノ加工及利用料ノ收入ノ場合ニ記入スヘシ

二　年度未ニ於ケル利用料總額ノ合計ハ其ノ組合員ニ對スル年度內利用高ヲ示スモノナレハ之ヲ以テ剩餘金配當又ハ持分算定ノ標準ト爲スヘシ

利用帳　（設備ノ利用）

何々	年月日	摘要	貸付	返付	殘高	償却期間又數ヘ	積數	利用料

（改正昭和二年省令一三八號）

備考

一　本帳簿ハ設備毎ニ口座ヲ設ケ利用ヲ爲サシムル利用組合ニ於テ設備ノ貸付及返付ノトキニ記入スヘシ
二　本帳簿ノ記入方法ハ預金臺帳ニ準スヘシ但シ積數ノ作リ方ニ付テハ當該設備ノ利用ノ功程ヲ示ス樣爲スヘシ
三　組合員毎ニ設備ノ貸付及返付ヲ明ニスヘキ必要アル場合ニハ本帳簿樣式ニ準シ（利用料欄ヲ要セス）組合員及設備別ニ記入スヘシ

利用整理帳　（設備ノ利用）

氏名

年月日	摘要	功程 數量	功程 期間	功程 積數	利用料 單價	利用料 總額	收入額	未收額	備考

備考

一　本帳簿ハ組合員毎ニ口座ヲ設ケ利用及利用料ノ收入ノ場合ニ記入スヘシ
二　功程カ數量、期間（又ハ度數）ノ一方ノミニテ示サルルトキハ其ノ欄ノミヲ用フヘシ
三　共同利用ヲ爲ス組合ニ於テ其ノ功程ヲ直ニ組合員各自ニ分割シ得サルトキハ共同ノ組合員名ヲ以テ口座ヲ設ケ計算期ニ至リ分割スヘシ
四　未收利用料ニ對シ利子ヲ附スル場合ニハ備考欄ニテ整理スヘシ
五　年度末ニ於ケル利用料總額ノ合計ハ其ノ組合員ニ對スル年度内利用高ヲ示スモノナレハ之ヲ以テ剩餘金配當又ハ持分算定ノ標準ト爲スヘシ

訂〔靜岡令二二八號〕

●產業組合高等講習會規程

靜岡縣告示第二百五十一號（大正四年八月二十七日）

產業組合高等講習會規程左ノ通定ム

產業組合高等講習會規程

第一條　產業組合高等講習會ハ產業組合ニ關スル理論竝實務ヲ講習スルヲ以テ目的トス

第二條　講習會ハ縣ニ於テ其ノ必要ヲ認メタルトキ之ヲ開設ス
開設ノ場所、日時、科目、定員及講師ハ開設前之ヲ告示ス

第三條　講習ヲ受クヘキ者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルヲ要ス
一、官公吏
二、公私立學校教員
三、產業組合ノ役員又ハ職員
四、農會ノ役員又ハ職員
五、中學校又ハ之ト同等以上ノ學校卒業者
六、乙種程度以上ノ實業學校卒業者
七、其ノ他必要ト認メタル者

第四條　講習ハ左ノ事項ニ就キ講授ス
經濟及經濟政策　法學通論　簿記
產業組合關係法規　產業組合概論　產業組合經營論
產業組合ノ事務　產業組合ノ登記　產業組合ノ指導及監督
產業組合ト自治　實地演習　其ノ他必要ト認メタル事項

第五條　受講志願者ハ開設十日前ニ履歷書ヲ添ヘ當廳ニ願出ツヘシ

第六條　前條ノ志願者ニ對シ受講ヲ許可シタルトキハ本人ニ通知ス

第七條　講習ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第八條　講師ハ知事之ヲ命シ又ハ囑託ス

訂〔靜岡令二二八號〕

●產業組合定款ニ關スル件

農第三八九五號内務部長通牒（大正十五年十月十六日）　市町村長宛

產業組合定款例竝定款製作上ノ注意左記ノ通御了知相成度

有限責任何々信用販賣購買利用組合定款例　（靜岡縣内務部農務課調査）

第一章　總則

第一條　本組合ハ左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス
一　組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二　組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト
三　加入豫約者、組合員ト同一ノ家ニ在ル者、公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
四　組合員ノ生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
五　組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入シ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生產シテ組合員ニ賣却スルコト
六　組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト

第二條　本組合ハ有限責任何々信用販賣購買利用組合ト稱ス

第三條　本組合ノ組織ハ有限責任トス

第四條　本組合ノ區域ハ靜岡縣何郡何村トス

第五條　本組合ノ事務所ハ之ヲ靜岡縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條　組合員ハ本組合ノ區域内ニ住居シ且獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル
加入豫約者ノ資格亦同シ

第七條　組合員又ハ加入豫約者ハ本組合ト同一ノ目的ヲ有スル他ノ產業組合ニ加入シ又ハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス但シ理事ノ承諾ヲ經タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條　產業組合法ニ基ク公告ハ本組合ノ揭示場ニ何日間以上揭示シ且何新聞ニ揭載スルモノトス

第九條　本組合ノ財產ニ對スル組合員ノ持分ハ其ノ拂込濟出資額ニ應スルモノトス但シ役職員退職給與積立金ニ對シテハ解散當時ノ組合員ニ限リ持分ヲ有シ其ノ權利ハ平等トス
本組合ニ損失アリ其ノ未タ塡補ヲ爲ササル前ニ持分ヲ拂戻ストキハ特別積立金、準備金、出資金ノ順序ニ依リ按分控除シテ持分ヲ算定ス
本組合ニ損失アリタルトキハ之ヲ塡補シタル財產ノ科目ニ對スル前年度末ノ持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス第十七條ノ規定ニ依リ特別積立金ヲ處分シタル場合亦同シ
本組合財產ガ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス

第二章　出資金及積立金

第十條　出資一口ノ金額ハ金何圓トス

第十一條　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金何圓以上トス

第十二條　第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年一月末及七月末迄ニ金何圓以上宛拂込ムモノトス

第十三條　出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ二百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收ス

第十四條　本組合ハ出資總額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十五條　加入金、增口金、過怠金及第九十條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲ササル持分額ハ之ヲ準備金ニ組入ルルモノトス

第十六條　本組合ハ剩餘金ヨリ特別積立金、役職員退職給與積立金ヲ積立ツルコトヲ得
補助金又ハ寄附金ヲ受ケタルトキハ準備金若ハ其ノ他ノ積立金ニ組入ルルコトヲ得

第十七條　準備金及特別積立金ハ損失ノ塡補ニ充ツルモノトス但シ特別積立金ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得
役職員退職給與積立金ハ別ニ定ムル規程ニ依リ退職シタル役職員ニ給與スルモノトス

第十八條　準備金、特別積立金又ハ役職員退職給與積立金ハ產業組合中央金庫、產業組合聯合會若ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券、地方債證券、產業債券、貯蓄債券、勸業債券、日本興業銀行ノ債券、北海道拓殖銀行ノ債券若ハ農工債券ヲ買入ルルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章　機關

訂（靜岡令二二八號）

第十九條　本組合ニ理事何名監事何名ヲ置ク
理事ハ組合長一名、專務理事一名ヲ互選ス

第二十條　組合長ハ事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス組合長事故アルトキハ專務理事之ニ代リ組合長及專務理事共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム
專務理事ハ組合長ヲ補佐シ組合事務ヲ掌理ス

第二十一條　理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス
組合長及專務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ
補缺選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス
理事又ハ監事ヲ增員シタルトキハ其ノ任期ハ現任者ノ任期ニ伴ハシムルモノトス
理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十二條　辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ缺員ヲ生シタルトキハ通常總會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ招集シ補缺選舉ヲ爲スモノトス
總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補缺選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條　理事及監事ハ名譽職トス但シ專務理事ハ之ヲ有給トス
理事及監事ニハ總會ノ決議ニ依リ報酬手當又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得
理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

訂（靜岡令一二九號）

第二十四條　總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス
通常總會ハ每年一回一月之ヲ開ク
臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク
一　理事カ必要ト認メタルトキ
二　監事カ產業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ又ハ同法第三十四條ノ二ニ該當スル場合
三　產業組合法第二十三條ニ依リ組合員ヨリ總會招集ノ請求アリタルトキ

第二十五條　總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス
前項ノ通知書ニハ會議ノ目的タル事項ヲ記シ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十六條　總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス
總會ノ決議ハ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ之ヲ爲スモノトス但シ急遽ヲ要シ且輕微ナルモノハ豫メ通知セサル事項ト雖出席者過半數ノ同意ヲ經テ議題ト爲スコトヲ得
總會ノ決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス
理事若ハ監事ノ選任又ハ解任、定款ノ變更、組合員ノ除名、解散及合併ノ決議ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス但シ合併ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生スヘキ場合ハ總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

第二十七條　總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ專務理

事之ニ代リ組合長及專務理事共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ムルコトヲ得

第二十八條　組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第二十九條　總會ニ於テハ決議錄ヲ作リ開會ノ日時、場所、會議ノ顚末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議錄ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十條　總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十一條　本組合ニ信用評定委員何名ヲ置キ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

信用評定委員ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

第三十二條　信用評定委員ハ總會ノ決議ニ依リ何時ニテモ解任スルコトヲ得

信用評定委員ノ選任ニ關シテハ理事及監事ノ例ニ依ル

第二十一條第三項乃至第五項ノ規定ハ信用評定委員ニ之ヲ準用ス

第三十三條　信用評定委員ハ何月定會ヲ開キ組合員各自ノ信用ヲ評定シ信用程度表ヲ作成ス

信用程度表ハ理事之ヲ保管ス

第三十四條　第二十三條ノ規定ハ信用評定委員ニ之ヲ準用ス

第三十五條　本組合ニ世話係何名ヲ置キ組合員中ヨリ組合長之ヲ囑託ス

世話係ハ理事ノ指揮ヲ承ケ事業執行上ノ補佐ヲ爲スモノトス

第三十六條　本組合ニ事務員若干名ヲ置キ組合長之ヲ任免ス

事務員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第三十七條　本組合ニ技術員何名ヲ置キ組合長之ヲ任免ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物件ノ檢査其ノ他技術ニ從事ス

第三十八條　組合長ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ技能アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得

協議員ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ組合ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第四章　事業ノ執行

第一節　通則

第三十九條　本組合ノ事業年度ハ曆年ニ依ル

第四十條　本組合ニ餘裕金アルトキハ產業組合中央金庫、產業組合聯合會又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ之ヲ預ケ入ルルモノトス

第四十一條　事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第二節　信用

第四十二條　組合員ヨリ貸付ノ請求アリタルトキハ理事ハ信用程度表及貸付金ノ用途ヲ調査シ其ノ金額及貸付方法ヲ定ムルモノトス

第四十三條　理事貸付ヲ爲ス場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ組合員ヲシテ保證人ヲ立テシメ又ハ擔保ヲ供セシムルモノトス

第四十四條　貸付金ノ辨濟期限ハ一箇年內ニ於テ之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ三箇年內ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

土地、倉庫、機械、器具、家屋其ノ他ノ設備ニ要スル固定資金又ハ舊

訂〔靜岡令一二九號〕

債償還資金ニ限リ特別ノ事由アルトキハ十箇年內ノ割賦償還ノ方法ニ依リ貸付スルコトヲ得

第四十五條　貸付金ノ辨償ニ付テノ遲延利息ハ貸付金ノ利率ニ依ル

第四十六條　理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監査シ貸付ノ目的ニ反スルモノアリト認ムルトキハ期限前ト雖辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十七條　貯金ノ取扱ハ一同金何錢以上トス

加入豫約者ノ貯金ハ一人ニ付出資一口ノ金額及加入金額ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

貯金ノ利息ハ特別ノ契約アルモノヲ除クノ外每年五月末及十一月末ノ兩度ニ計算シ翌月之ヲ元本ニ組入ルルモノトス

第四十八條　貸付金及貯金ノ利率ハ左ノ制限內ニ於テ理事之ヲ定ム

一、貸付金ニ付テハ年一割二分以下

二、貯金ニ付テハ年八分以下

第三節　販賣

第四十九條　本組合ニ於テ販賣スル物ノ種類左ノ如シ

一、米、麥、茶、柑橘、梨、繭、魚類、何々

二、調製品、甘藷切干、藁工品、何々

三、其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物

第五十條　本組合ニ於テ爲ス加工左ノ如シ

米麥ノ精白、乾繭殺蛹、製茶、繩ノ仕上、何々

第五十一條　組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ本組合ニ於テ取扱フ物ヲ他ニ販賣スルコトヲ得ス

第五十二條　理事ハ適宜ノ時期ニ於テ各組合員ノ生產物ニ付報告ヲ徵シ又ハ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

訂〔靜岡令一二九號〕

第五十三條　組合カ組合員ヨリ生產物ヲ受取リタルトキハ其ノ品等及數量ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス組合ニ於テ加工ヲ爲シタル場合加工後ノ物ニ付亦同シ

品等査定ノ方法及標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第五十四條　組合員ハ其ノ販賣セムトスル物ニ付代價又ハ販賣ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第五十五條　組合員ハ組合ニ生產物ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ時價ノ十分ノ八以內ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日步參錢以內ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス

第五十六條　組合員ニ配分スヘキ販賣代金ノ計算期ハ每年總會ニ於テ之ヲ定ム

每計算期中ニ販賣シタル物ノ代金ハ現金ヲ受取リタルト否トニ拘ラス每計算期末各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス

假渡ヲ受ケタル組合員ニ付テハ前項ノ場合ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス

第五十七條　販賣代金ノ一計算期間中ニ受取リタル物ニシテ其ノ期間中ニ賣却スルコト能ハサリシ物ニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等ノ物ノ代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第五十八條　本組合ハ組合員ニ拂渡スヘキ代金又ハ取扱ヒタル數量ニ應

第六十三條　本組合ノ設備ハ左ノ如シ
一、農業用地、農業用建築物、特殊農業用具、特殊家畜、何々
二、住宅、宿舎、寄宿舎、浴場、理髪場、何々
三、其ノ他事業ノ決議ヲ以テ設備スルモノ

第六十四條　組合員ハ前條ノ設備ヲ利用スルノ外、定款ノ定ムル所ニ依リ組合ノ事業ヲ利用スルノ權利ヲ有ス

第六十五條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ出資口數ノ減少ヲ請求スルコトヲ得

第六十六條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ脫退ノ豫告ヲ爲スコトヲ得

第六十七條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第六十八條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ相殺ヲ爲スコトヲ得

第六十九條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ出資口數ノ減少ニ因ル出資額ノ減少ニ充ツルコトヲ得

第七十條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ出資口數ノ增加ニ因ル出資額ノ增加ニ充ツルコトヲ得

第七十一條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第七十二條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第七十三條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第七十四條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第七十五條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第七十六條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第七十七條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第七十八條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第七十九條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第八十條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第八十一條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第八十二條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第八十三條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第八十四條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第八十五條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第八十六條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第八十七條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第八十八條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第八十九條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第九十條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第九十一條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第九十二條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第九十三條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第九十四條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第九十五條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第九十六條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第九十七條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第九十八條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第九十九條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百一條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百二條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百三條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百四條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百五條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百六條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百七條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百八條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百九條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百十條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百十一條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百十二條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百十三條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百十四條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百十五條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百十六條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百十七條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百十八條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百十九條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百二十條　組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ其ノ持分ヲ以テ組合ノ事業ヲ利用スル爲ノ出資ノ義務ヲ履行スルコトヲ得

第百二十一條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百二十二條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百二十三條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百二十四條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百二十五條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百二十六條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百二十七條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百二十八條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百二十九條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百三十條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百三十一條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百三十二條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百三十三條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百三十四條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百三十五條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百三十六條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百三十七條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百三十八條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百三十九條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第百四十條　組合ノ定メタル歩合ノ代金ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ハ其ノ他ノ拂込ノ時ニ於ケル差引ノ差額ニ準ス

第八十三條　組合員ノ增口ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス但シ加入金ト同額ノ增口金ヲ徵收ス

第八十四條　加入豫約ノ申込アリタルトキハ理事ハ其ノ許否ヲ決シ申込人ニ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス

第八十二條ノ規定ハ加入豫約者ヲ組合ニ加入セシムル場合ニ準用ス但シ此ノ場合ニ於テハ加入豫約者ノ貯金ハ其ノ全部ヲ出資及加入金ノ拂込ニ充ツルコトヲ要ス

第八十五條　加入豫約者カ第八十九條第五號又ハ第六號ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ豫約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第八十六條　持分ヲ讓受ケムトスル者カ組合員ニ非サルトキハ加入金及出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外第八十二條ノ規定ヲ準用ス

第八十七條　組合員脫退セムトスルトキハ其ノ事業年度末六箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ報告スルコトヲ要ス

第八十八條　死亡ニ因リ脫退シタル組合員ノ相續人カ直ニ加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サス被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フ者ト看做ス但シ此ノ場合ニ於テハ加入命ヲ徵セス

第八十九條　組合員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一、出資其ノ他組合ニ對スル支拂義務ノ履行ヲ怠リ督促ヲ加フルモ仍其ノ義務ヲ履行セサルトキ

二、自己ノ生產物ニ非サル物ノ販賣ヲ委託シ又ハ組合ニ販賣シタルトキ

三、第五十一條又ハ第六十四條ノ規定ニ違背シテ物ヲ販賣又ハ購買シタルトキ

四、組合ノ設備ヲ他人ニ利用セシメタルトキ

五、組合ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ

六、犯罪其ノ他信用ヲ失フヘキ所爲アリタルトキ

第九十條　組合員脫退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス但シ除名ニ因ル場合ニ於テハ其ノ拂込濟出資額ノ半額ヲ、死亡、組合員タル資格ノ喪失其ノ他總會ニ於テ止ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ因ル場合ニ於テハ其ノ持分ノ全額ヲ拂戻スモノトス

第七章　組合清算

第九十一條　本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第八章　附則

第九十二條　本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

靜岡縣何郡何村何番地
何業　理事　何　某

靜岡縣何郡何村何番地
何業　理事　何　某

靜岡縣何郡何村何番地
何業　理事　何　某

訂〔靜岡令一二九號〕

靜岡縣何郡何村何番地
何業　理事　何　某

靜岡縣何郡何村何番地
何業　理事　何　某

靜岡縣何郡何村何番地
何業　監事　何　某

靜岡縣何郡何村何番地
何業　監事　何　某

靜岡縣何郡何村何番地
何業　監事　何　某

年　月　日

設立者
靜岡縣何郡何村何番地
何業　何　某㊞
（以下設立者全員署名捺印スルコト）

定款作成上ノ注意

一、從タル事務所ヲ設ケムトスル場合ハ第五條中ニ明記スルコト

二、持分ノ算定ヲ年度毎ニ算定加算スル方法ニ依ラムトスル場合ハ第九條及第八十二條第三項及第八十三條但書ヲ左ノ如ク規定スルコト

「第九條　本組合ノ財產ニ對スル組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

一　出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス

二　準備金ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ年度毎ニ算定加算ス

三　特別積立金ニ對シテハ本組合ヨリ受取リ又ハ本組合ニ支拂ヒタル利息額、本組合ヲ通シテ販賣及購買シタル物ノ價格、本組合ニ支拂ヒタル利用料ノ額ヲ合算シタル金額ニ應シ年度毎ニ算定加算ス但シ總會ノ決議ニ依リ持分算定ノ率ヲ異ニシ又ハ其ノ一部ニ對シ持分ヲ算定セサルコトアルヘシ

四　其ノ他ノ積立金ニ對シテハ本組合解散當時ノ組合員ニ限リ持分ヲ有シ其ノ權利ハ平等トス

五　本組合ニ損失アリタルトキハ之ヲ塡補シタル財產ノ科目ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス第十七條ニ依リ特別積立金ヲ處分シタル場合亦同シ

本組合財產カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス」

第八十二條第三項

「加入金ノ額ハ一人ニ付金何錢トス但シ第一年度ニ於テハ之ヲ徵收セス」

第八十三條但書「但シ加入金ヲ徵收セス」

三　出資一口ノ金額ハ地方ノ實狀ト組合事業ヲ參酌シ決定スヘキモ金參拾圓以上ヲ適當ト認ム

四　出資拂込ノ方法ハ左ノ如ク規定スルモ可ナリ

「第十二條　第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外左ノ各號ノ一ニ依リ拂込ムモノトス

一　每月末金何圓以上宛拂込ムコト

二　每年何月末及何月末金何圓以上宛拂込ムコト」

訂〔靜岡令一八七號〕

五　理事ノ任期ハ三箇年監事ノ任期ハ一箇年ヲ適當トス若シ任期ヲ長ク定メムトスルトキト雖理事ハ六箇年監事ハ三箇年ヲ超エサルコト

六　理事監事ハ設立者ノ中ヨリ之ヲ定ムルコト

七　農業倉庫業ヲ行ハムトスルトキハ左記條項ヲ追加スルコト

第一條第六號ノ次ニ

「七　農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト」

第九條第一項但書中「但シ」ノ次ニ「農業倉庫償却積立金」ノ十一字ヲ加フ

第十六條第二項ヲ第三項トシ第一項ノ次ニ左記ヲ加フ

「本組合ハ農業倉庫ノ新築、增築、改築、移築、修繕又ハ買入費用ニ對シ公共團體等ヨリ受ケタル補助金額ニ相當スル金額ハ之ヲ農業倉庫償却積立金ト爲スコトヲ得」

第十七條第二項ヲ第三項トシ第一項ノ次ニ左記ヲ加フ

「農業倉庫償却積立金ハ農業倉庫ノ減價償却ニ充ツルモノトス」

第十八條　準備金ノ次ニ「農業倉庫償却積立金」ノ十一字ヲ加フ

第四十四條ノ次ニ左記ヲ加フ

「第四十四條ノ二　農業倉庫證券ニ對シテ爲ス貸付ハ保管物品ノ時價ノ十分ノ八以內トス

前項ノ貸付期限ハ受寄物ノ保管期限ヲ超ユルコトヲ得ス」

第七十八條ノ次ニ左記ヲ加フ

「第六節　農業倉庫

第七十八條ノ二　第一條第七號ノ業務ハ別ニ定ムル所ノ農業倉庫業務規程ニ依リ之ヲ行フ

前項ノ規程ハ總會ニ於テ之ヲ定ム」

●産業組合定款變更ニ關スル總會又ハ總代會招集通知事項ノ件

農第三四一四號內務部長通牒（昭和六年十二月十五日）

市町村長宛

産業組合及同聯合會ニ於テ總會又ハ總代會ニ定款ノ變更ヲ附議スルニ當リ招集通知狀ニ會議ノ目的トシテ單ニ定款變更ノ件ト記載スル向往々有之候處今後ハ變更スヘキ定款ノ內容ヲ記載スル樣其筋ヨリ通牒有之候條貴部內産業組合及同聯合會ニ周知方御取計相成度

●産業組合ノ總會ニ關スル件

農第四一八號內務部長通牒（昭和四年一月十七日）

市町村長宛

産業組合及同聯合會ノ總會又ハ總代會ハ可成多數組合員ノ出席ヲ得テ事業經營上各種ノ事項ヲ諮リ組合ノ內容ヲ知悉セシメ一層組合員ノ利便增進ト組合ノ發展ニ資スルト共ニ總會又ハ總代會ニ關シテハ法令定款ニ基キ萬遺憾ナキヲ期セシメラレ度左記事項ハ特ニ留意スヘキモノト被認候條貴部內産業組合及同聯合會ヲシテ總會又ハ總代會ニ多數出席セシムルト共ニ決議上遺憾ナキ樣御示達相成度

記

一、總會又ハ總代會ハ出席者カ定款ノ規定ノ定數ニ達シタル後ニ非サレハ開會スルコトヲ得ス尙中途退席者アリタル爲定數未滿ノ出席者トナリタル場合ハ決議ヲ爲スコトヲ得ス（委任狀ニヨルモノハ出席者トス）

二、總會又ハ總代會ノ決議ハ法令定款ニ特別ノ定メアルモノヲ除ク外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲スコト

法令又ハ定款中ニ總會又ハ總代會ニ於テ定ムトアルモノハ理事ニ一任スル等ノコト無ク必ス總會又ハ總代會ニ於テ決議スルコトヲ要ス

訂（靜岡令一八七號）

理事監事ノ選任ヲ投票ニ依ラス出席者過半數ノ同意ニ依リ詮衡委員ノ詮衡、議長ノ指名等ト爲シタル場合ハ之ニ依リ指名サレタル者ヲ議場ニ諮リ法令定款ノ規定數ノ同意アルコトヲ要ス

三、財產目錄、貸借對照表、事業報告書、剩餘金處分案ノ承認及定款變更ノ決議等ニ關シテハ字句違算其ノ他輕微ナル事項ノ訂正ハ理事ニ一任シ次期總會又ハ總代會ノ承認ヲ求ムルコトニ依リ訂正ヲ爲シ得ル樣附帶決議ヲ爲シ置クコト

四、理事監事ニ對シ報酬給料手當等ヲ支給セムトセハ每年之カ支給前ニ總會又ハ總代會ニ於テ其ノ額ヲ決議スルコトヲ要ス

理事監事ニ對スル支給規程ノ設定又ハ改正ノ場合亦右ニ準ス

五、聯合會ニ加入ノ決議ヲ爲ス場合ニハ其ノ取得ノ口數ヲモ決議スルコトヲ要ス但シ何口以下ニ於テ理事ニ一任スト決議スルヲ妨ケス

六、法令又ハ定款ノ規定ニ基キ總會又ハ總代會ニ於テ決議スヘキ事項ハ前年ト變更ナキ場合ト雖每年總會又ハ總代會ニ於テ決議スルコト

訂（靜岡令一六二號）

●産業組合及同聯合會ノ會計整備ニ關スル件

農第三八一八號內務部長通牒（昭和四年十二月二十四日）

市町村長宛

産業組合ノ會計經理方法ニ關シテハ常ニ當事者ニ於テ研究改善ニ努力致居候得共近時事業範圍ノ擴大ト取引種類ノ增加ニ伴ヒ各組合及聯合會ハ記帳取扱ヲ異ニシ勘定科目ノ設定區々ニ亙リ財務ノ狀況ヲ不明確ナラシムル虞モ有之仍テ之カ統一ヲ爲シ財產內容ノ明瞭ヲ期シ計數ノ正確ヲ保チ經理ノ適正ヲ計ルノ要アリト被認候條昭和五年ノ新事業年度ヨリ勘定科目ヲ左記ノ通リ一定シ之ニ基キ諸帳簿、諸決算表ノ改廢整備ヲ計リ又每月末試算表ノ作成ニ際シテハ左記樣式ニ據リ且各科目每ニ合計殘高双方ヲ揭クル樣致度貴部內各産業組合及同聯合會ニ御示達相成度

試算表

昭和　年　月　日現在

何責任　何々組合

貸方（拂）				科目	借方（受）		
殘高	合計				合計	殘高	
				出資金			
				未拂込出資金			
				積立金			

				內準備金				
				特別積立金				
				農業倉庫償却積立金				
				繰越金				
				中央金庫聯合會出資金				
				中央金庫聯合會未拂込出資金				
				所有物				
				內土地				
				建物				
				機械				
				什器				
				有價證券				
				借入金				
				預金				
				內定期預金				
				當座預金				
				假拂金				

訂〔靜岡令一六二號〕

訂〔靜岡令一六二號〕

				假受金				
				未拂戻持分				
				貯金				
				內組合員定期				
				同當座				
				同積立				
				家族定期				
				同當座				
				同積立				
				團體定期				
				同當座				
				同積立				
				組合員外定期				
				同當座				
				同積立				
				加入豫約者貯金				
				貸付金				

內　證書貸信用		
同　擔保		
手形貸信用		
同　擔保		
貸越信用		
同　擔保		
割引手形		
內　約束手形		
爲替手形		
給付備金		
未拂利息		
未經過利息		
販賣品		
販賣前渡金		
未收販賣金		
未拂販賣金		
購買品		

〔靜岡令一六二號〕

掛賣金		
掛買金		
損失		
內　借入金利息		
給料		
旅費		
會議費		
事務所費		
雜費		
貯金利息		
販賣諸費		
購買諸費		
利用諸費		
利益		
內　預金利息		
雜收入		
貸付金利息		

〔靜岡令二一九號〕

割引料				
歩合金				
利用料				
現金				
計				

記載上ノ注意

1. 上記科目ノ外必要ニ應シ増加スルコト例ヘハ「受取手形」勘定ヲ設ケ又ハ販賣組合ニアリテハ「販賣諸費」ヲ「荷造材料費」「運搬費」「販賣旅費」等ニ分割スルカ如シ
2. 單營組合等ニテハ不用科目ハ省略スルコト

●産業組合經營ニ關スル件

農第二〇七二號内務部長通牒（昭和七年五月二十六日）　市町村長宛

産業組合ハ庶民階級者ノ自治的經濟機關タルニ拘ラス之カ經營ヲ誤リ時ニ事業不振ニ陷リ却テ組合ノ信用ヲ毀クルモノ有之候ヘ共之等事業不振ハ外部的事情ニ障碍セラル、モノ尠ク事務組織ノ不統制、役員ノ不一致又ハ擅權的行爲、放慢等内部的缺陷ニ基因スルコト多キハ特ニ考慮ヲ要スル事項ニ有之候條經營者ハ産業組合ノ本旨ニ鑑ミ一層協力一致シ事業進展上左記要項ニ準據シ經營ニ遺憾ナキヲ期セラル、様致度此旨貴部内産業組合及同聯合會ヘ示達相成度

記

經營要項

一、毎月少クモ一回役員會ヲ開キ重要ナル事項ハ合議ヲ經テ處理シ各自ヲシテ組合ノ内容ヲ知悉セシメ連帯責任ノ實ヲ擧クルコト

二、自治監査ヲ嚴密且周到ニシテ之カ徹底ヲ期スルコト

三、運轉資金ニ對シ自己資金ノ少額ナル組合ハ出資一口ノ金額ヲ増額又ハ増口ノ方法ニ依リ之カ増資ヲ爲シ事業基礎ヲ鞏固ナラシムルコト

四、積立金及餘裕金ノ管理ハ信用確實ナル數ケ所ヘ預入レ又ハ國債、地方債等確實ナル有價證券ヲ取得シ危險ヲ分散スヘキハ勿論ナレトモ一層系統機關ヲ利用シ少クモ其ノ半部ヲ預入ル、コト

五、未收入利息、評價益等ノ見越益ノ計上ヲ爲サス不確實債券ハ之ヲ償却シ精算力ヲ充實シ苟モ會計基礎ヲ紊シ信用ヲ薄弱ナラシムルコトナキヲ期スルコト

六、固定セル債權ハ當該相手方ノ經濟狀態ニ應シ割賦償還減債貯金等ノ整理方法ニ依リ債務者ヲシテ償還ヲ確實且容易ニ實行セシムル方法ヲ採ルコト

訂〔静岡令二一九號〕

七、貸付ニ當リテハ能ク其ノ用途ヲ調査シ短期必要ノ生産的資金ヲ先ニシ長期固定ニ亙ルモノハ組合ノ融通能力ヲ考慮シ貸付ケ之ト同時ニ減債貯金ヲ積マシメ償還財源ヲ創設スル方法ニ依ルコト

八、貯金ハ相當期間ヲ定メ積金貯金ヲ爲サシムル等貯蓄的貯金ニ重キヲ置キ取扱フコト

九、穀物ノ販賣ハ農業倉庫ヲ利用シ成ルヘク系統機關ヲ通シテ販賣スルコト

一〇、區域内農業者ヲ洩レナク加入セシメ其ノ組合員ノ使用スル金肥全部ヲ系統機關ヲ通シテ取扱ヒ以テ之カ配給ヲ産業組合ニ依リテ統制スヘク積極的方策ヲ講スルコト

一一、各種事業ノ綜合的經營ニ依リ其ノ區域内所要物品ノ購入生産及販賣ニ力ヲ致シ組合員ヲシテ現實ニ生産費ノ節減ヲ爲サシムルト共ニ收入ヲ増加セシムル途ヲ拓クコト

一二、部落的小組合ニテ業績振ハサルモノハ解散又ハ合併ノ方法ニ依リ更生ノ策ヲ講スルコト

一三、産業組合ノ趣旨ノ普及ハ組合發展ノ基礎ヲ爲スモノナルヲ以テ相當組合員ノ指導訓練ニ努ムルコト

●産業組合ノ業務取締ニ關スル件

農第六七三七號内務部長通牒（昭和七年十二月二十七日）　市町村長宛

現下經濟界ノ不況ニ依ル中小産者ノ窮迫ヲ打開シ之カ産業經濟ノ更生進展ヲ期スル爲産業組合ノ振興ヲ圖リ之カ活用ヲ爲スハ最モ緊要トスル所ニ有之農山漁村ニ於ケル經濟更生計畫ノ樹立及其ノ實行ニ關シ金融、販賣、購買、利用等ノ經濟行爲ニ付テハ産業組合ヲ中心タラシムルコト、相成タル趣旨モ亦茲ニ存シ産業組合ニ對スル一般社會ノ期待ハ愈々大ヲ加ヘ其ノ責務極メテ重大トナレル次第ニ候處産業組合ニシテ其ノ精神ヲ誤リ徒ニ利鞘ヲ漁リ或ハ購買品ヲ組合員外ニ賣却シ又ハ組合員外ノ者ノ生産シタル物ヲ委託ニ依リ若ハ買入レテ他ニ販賣スル等適正ナラサル行爲ヲ爲スニ於テハ獨リ當該組合ノミナラス全産業組合ノ正當ナル發達ヲ阻害スヘク洵ニ遺憾ノ義ニ候條絶對ニ此ノ如キ行爲ヲ爲ササル様此旨特ニ御注意相成度

訂〔静岡令二二〇號〕

●農事實行組合ニ關スル件

農第一一一五號内務部長通牒（昭和九年五月十日）　市町村長宛

産業組合ニ加入スル目的ヲ以テ農事實行組合ヲ設立シタル場合ハ左記事項御留意ノ上誤リナキ様御指導相成度

追而町村農會長及産業組合長ニハ夫々市町村長ヨリ御通知相成度

一、農事實行組合ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間以内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲナスベキ事項左ノ如シ

イ、目　的　ロ、名　稱　ハ、事務所ノ所在地　ニ、設立年月日

ホ、理事ノ氏名及住所（添附書類組合規約）

前項ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ二週間以内ニ其ノ登記ヲナスベシ

二、農事實行組合ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間以内ニ組合設立登記濟證規

約役員ノ氏名及住所竝ニ設立ノ年月日ヲ具シ知事ニ届出ツベシ
前項ノ届出事項ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ日ヨリ二週間以内ニ之ヲ届出ツベシ
三、前各號ノ登記及届出ヲ怠リタルトキハ科料ニ處セラル
四、詳細ハ産業組合法第十條ノ四及蠶絲業組合法第二十條乃至第二十六條竝第四十一條參照ノコト

●工業組合法施行細則

靜岡縣令第二十九號（昭和九年五月二十二日）
工業組合法施行細則左ノ通定ム
工業組合法施行細則

第一條　組合ノ發起届出ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ
一　組合員タル資格ヲ有スル者ノ員數
二　地區内ニ於ケル當該工業ノ最近三箇年間ニ於ケル毎年ノ製造ノ數量、價額及移出セラレタルモノノ仕向地別數量、價額
三　當該工業ニ於ケル缺陷及之カ矯正方法
四　地區内ニ於テ當該工業ニ關シ重要物産同業組合ノ存スル場合ニ在リテハ其ノ同業組合トノ關係
五　他府縣ニ跨リ組合ノ地區ヲ定メントスル場合ニ於テハ其ノ事由
六　當該工業ノ沿革
七　其ノ他參考トナルヘキ事項

第二條　創立總會又ハ創立委員會ヲ招集センントスルトキハ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ知事ニ報告スヘシ

第三條　組合設立認可申請書ニ添附スヘキ法定ノ設立同意書アリタルコトヲ證スル書面ニハ組合員タル資格ヲ有スル者及設立同意者ノ數ヲ記載シ當該行政廳ノ證明ヲ受クヘシ
前項設立同意者ノ數ニ付テハ設立同意書ノ正本ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第四條　組合設立認可申請書ニ添附スヘキ事業計畫書ニハ主要事業ノ種類、設備及施行方法ノ概要竝ニ之ニ要スル費用、其ノ財源及收支ノ概算竝ニ其ノ事業ノ效果等ヲ記載スヘシ
設立後直ニ施行セサル事業ニ付テハ計畫ノ概要及實施ノ豫定年度ヲ附記スヘシ

第五條　組合ヲ設立センントスル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ設立認可申請書ニ其ノ必要ナル理由書ヲ添附スヘシ
一　組合員ノ有スヘキ出資口數カ五十口ヲ超ユルトキ

訂（靜岡令二二〇號）

二　持分ノ全部若ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ率カ年六分ヲ超ユルトキ
三　總代會ヲ設クルトキ
四　一組合員ニ二個以上ノ議決權ヲ有セシムルトキ

第六條　組合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ報告スヘシ
一　設立認可後一ケ月ヲ經過スルモ出資第一回ノ拂込ヲ終ラサルトキ
二　出資第一回拂込後二ケ月ヲ經過スルモ事業ヲ開始シ得サルトキ

第七條　組合ハ事業開始當日現在ニ於ケル財産目錄及貸借對照表ヲ作成シ之ヲ知事ニ届出ツヘシ

第八條　總會又ハ總代會ヲ招集センントスルトキハ少クトモ五日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ知事ニ報告スヘシ
總會又ハ總代會終了シタルトキハ一週間以内ニ其ノ顚末ヲ知事ニ報告スヘシ

第九條　工業組合法第十九條第二項ニ依ル總會招集認可申請書ニハ總組合員ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面及左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ
一　會議ノ目的タル事項
二　總會ヲ招集センントスル理由
三　理事ト交渉ノ顚末

第十條　總會又ハ總代會ノ議長ハ決議錄ヲ作リ左ノ事項ヲ記載シ議長及出席者二名以上之ニ記名捺印スヘシ
一　開會ノ日時及場所

二　組合員數又ハ總代ノ定數及其ノ議決權ノ總數
三　出席者數及其ノ議決權總數
四　議事ノ要領
五　議決シタル事項及贊否ノ議決權數
六　其ノ他議長ニ於テ必要ト認メタル事項

第十一條　定款變更ノ認可申請書ニハ工業組合法施行規則第九條ニ揭ケタル書面ノ外其ノ變更ヲ必要トスル理由書及新舊條文ノ拔萃ヲ添附スヘシ
定款ノ變更カ出資一口ノ金額若ハ保證金額減少ニ關スルモノナルトキハ其ノ認可申請書ニハ前項ニ揭ケタル書面ノ外債權者ニ對シ爲シタル催告及公告ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十二條　組合員ノ事業經營ニ對スル制限ニ關スル規程ノ認可申請書ニハ其ノ制限ヲ必要トスル事由書ノ外其ノ規程カ總會又ハ總代會ノ決議ヲ經ヘキモノナルトキハ其ノ決議錄謄本ヲ添附スヘシ

第十三條　工業組合法第六條ノ二、同法施行規則第二十二條及本令第十八條ニ依ル規程ノ變更認可申請書ニハ變更ヲ必要トスル理由書及新舊條文ノ拔萃ノ外其ノ變更カ總會又ハ總代會ノ決議ヲ經ヘキモノナルトキハ其ノ決議錄ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十四條　工業組合カ工業組合法施行規則第二十條ノ規定ニ依リ指定セラレタルトキハ指定セラレタル資格ヲ有スル者ニ對シ指定セラレタル事項及之ニ關スル組合ノ規則ヲ通知スヘシ

第十五條　役員ノ辭職届ハ組合ノ定メタル代表者ニ在リテハ其ノ代理者ニ其ノ他ノ役員ニ在リテハ組合ノ定メタル代表者又ハ其ノ代理者ニ提

訂（靜岡令二二三號）

出スヘシ

組合ノ定メタル代表者其ノ代理者共ニ在ラサルトキハ直ニ知事ニ報告スヘシ

第十六條　理事又ハ清算人退職シタルトキハ退職ノ日ヨリ十日以内ニ監事立會ノ上事務引繼ヲ爲スヘシ

事務引繼書ニハ現金、書類、帳簿其ノ他物件ノ各目録ヲ添附シ雙方之ニ連署スヘシ

事務引繼書ハ主タル事務所ニ於テ保存スヘシ

第十七條　事務引繼ヲ終リタルトキハ直ニ之ヲ知事ニ報告スヘシ

組合ノ定メタル代表者、事務ニ從事スル理事、監事又ハ清算人ノ選任又ハ就職アリタルトキハ直ニ之ヲ知事ニ報告スヘシ

第十八條　檢査員ノ服務ニ關スル規程ノ變更ハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十九條　檢査員ノ解任認可申請書ニハ解任ノ理由書ヲ添附スヘシ

檢査員ノ懲戒認可申請書ニハ懲戒要領竝ニ其ノ理由書ヲ添附スヘシ

第二十條　組合ハ毎月末現在ニ依リ貸借對照表ヲ作成スヘシ

第二十一條　監事ハ少クトモ毎年度二回定期監査ヲ行ヒ其ノ顚末ヲ直ニ知事ニ報告スヘシ

第二十二條　組合ハ毎月十日迄ニ前月ニ於ケル檢査成績ヲ知事ニ報告スヘシ

第二十三條　工業組合法施行規則第十條ニ依ル届出ハ事業年度開始二ケ月前ニ之ヲ爲スヘシ

第二十四條　工業組合法施行規則第十九條第三號ニ依ル届出ニハ左ノ事項ヲ記載ノ上遲滯ナク届出ツヘシ

一　登記事項

二　登記年月日

理事、監事及清算人ノ登記完了届出ニハ履歴書ヲ添附スヘシ

第二十五條　工業組合法施行規則第十一條ニ依ル事業報告書、財産目録、貸借對照表及剩餘金處分案ノ届出ハ毎事業年度經過後二ケ月以内ニ之ヲ爲スヘシ

前項事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　組合員數及出資口數ノ異動

二　事業ノ狀況

三　總會又ハ總代會ノ決議ノ要領

四　地區内ニ於ケル當該工業ニ關スル同業組合トノ關係

五　斯業商況

六　組合員ノ生産狀況

七　經費ノ一部ヲ分賦スル組合ニ在リテハ其ノ經費ノ收支決算

八　損益計算書

第二十六條　組合カ訴訟ノ當事者トナリタルトキ又ハ其ノ訴訟ノ判決若ハ和解確定シタルトキハ其ノ要領ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ知事ニ報告スヘシ

第二十七條　組合カ破産宣告ヲ申請セラレタルトキハ理事又ハ清算人ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ知事ニ報告スヘシ

第二十八條　清算人工業組合法第三十八條ニ依リ準用セラレタル産業組合法第七十一條ノ規定ニ依リ總會ノ承認ヲ經タルトキハ財産目録及貸借對照表ヲ添ヘ二週間以内ニ其ノ旨知事ニ報告スヘシ

訂（靜岡令二二〇號）

第二十九條　清算人ハ三月毎ニ清算事務進捗ノ狀況ヲ知事ニ報告スヘシ

第三十條　本令ノ規定ハ工業組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第三十一條　工業組合法竝ニ同法施行規則ニ依リ提出スヘキ書類ハ各二通ヲ差出スヘシ但シ工業組合法施行規則第十一條ニ依ルモノハ各三通ヲ差出スヘシ

第三十二條　組合ノ帳簿ハ左ノ樣式ニ準シ調製スヘシ但シ特別ノ事由ニ依リ本條ノ樣式ニ依リ難キモノアル場合ハ其ノ事由及樣式ヲ添ヘ知事ノ承認ヲ受クヘシ

組合員名簿	樣式第一號
持分臺帳	樣式第二號
配當金明細帳	樣式第三號
現金出納帳	樣式第四號
仕譯帳	樣式第五號
總元帳	樣式第六號
什器備品臺帳	樣式第七號
分賦收支帳	樣式第八號
受取手形記入帳	樣式第九號
支拂手形記入帳	樣式第十號
檢査簿	樣式第十一號
檢査料元帳	樣式第十二號
加工料元帳	樣式第十三號
加工賃元帳	樣式第十四號
仕入帳（買取帳）	樣式第十五號
仕入元帳（買取元帳）	樣式第十六號
供給帳（賣上帳）	樣式第十七號
供給元帳（賣上元帳）	樣式第十八號
商品元帳	樣式第十九號
原價元帳	樣式第二十號
受託購入元帳	樣式第二十一號
受託品受拂帳	樣式第二十二號
受託販賣元帳	樣式第二十三號
受託保管品受拂帳	樣式第二十四號
受託保管元帳	樣式第二十五號
手形貸付記入帳	樣式第二十六號
證書貸付記入帳	樣式第二十七號
擔保品記入帳	樣式第二十八號
貸付金元帳	樣式第二十九號
當座貯金元帳	樣式第三十號
特別當座貯金元帳	樣式第三十一號
定期貯金記入帳	樣式第三十二號
通知貯金記入帳	樣式第三十三號

第三十三條　組合ノ書類ハ左ノ區別ニ準シ之ヲ編綴スヘシ

一　定款諸規程及例規

一　會議ニ關スル書類

一　官廳ニ關スル書類

一　加入脱退ニ關スル書類
一　販賣ニ關スル書類
一　利用又ハ加工ニ關スル書類
一　統制ニ關スル書類
一　會計ニ關スル書類
一　事業報告書、財産目錄、貸借對照表及剩餘金處分案
一　事務引繼ニ關スル書類
一　其ノ他必要ナル書類

第三十四條　組合經費ノ收支豫算、事業報告書、財産目錄、貸借對照表及剩餘金處分案ハ左ノ樣式ニ依リ作成スヘシ

一　經費豫算　樣式第一號
一　事業報告書　樣式第二號
一　財産目錄　樣式第三號
一　貸借對照表　樣式第四號
一　剩餘金處分案　樣式第五號

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十二條ニ依ル樣式

樣式第一號　組合員名簿樣式

組合員名簿

住所　　氏名

營業所　　（加入月日 脱退月日）

日附	摘要	出資 口數 取得	讓渡	現在	出資額	拂込濟出資金 拂込又ハ受讓	讓渡	現在	未拂込出資金

訂〔靜岡令二二〇號〕

樣式第二號　持分臺帳樣式

持分臺帳

第　號　　氏名

年度	出資 按分額	增減額	現在額	法定準備金 按分額	增減額	現在額	諸積立金 按分額	增減額	現在額	其ノ他 按分額	增減額	現在額	合計額

樣式第三號　配當金明細帳樣式

配當金明細帳

第　號　　氏名

年度	持分ニ對スル配當 基礎額	配當率	金額	事業分量ニ對スル配當 基礎額	按分率	金額	合計額	支拂顚末 日附	摘要

訂〔靜岡令二二〇號〕

様式第四號　現金出納簿様式

現金出納簿

日附	科目	元丁	摘要	借方		貸方		残高	
				現金	銀行	現金	銀行	現金	銀行

様式第五號　仕譯帳様式

仕譯帳

金額	元丁	科目	日附	摘要	科目	元丁	金額

訂（靜岡令二二〇號）

様式第六號　總元帳様式

總元帳

勘定科目

日附	摘要	仕丁	借方	貸方	残高

様式第七號　什器備品臺帳様式

什器備品臺帳

番號　　構造

所在場所　　品名　　其他要項

日附	摘要	購入		處分		償却額	現在額		
		數量	金額	數量	金額		金額	備考	

訂（靜岡令二二〇號）

樣式第八號　分賦收支帳樣式

分賦收支帳

第　號　　氏名

備考	未收入額金	收入金額		分賦金額							
		金額	日附	合計額	前年度繰越額	生產割	等級割	平等割	年度別(日別)		

樣式第九號　受取手形記入帳樣式

受取手形記入帳

日附	摘要	手形番號	手形種類	振出人又ハ書人裏	支拂人	支拂所場	手形日附	引受月日	滿期日	金額	末顛	
											日附	摘要

訂〔靜岡令二二〇號〕

樣式第十號　支拂手形記入帳樣式

支拂手形記入帳

日附	摘要	手形番號	手形種類	振出人又ハ書人裏	受取人	支拂所場	手形日附	引受月日	滿期日	金額	末顛	
											日附	摘要

樣式第十一號　檢査簿樣式

檢査簿

日附	受驗者	檢元丁	品目	受驗數量			手數料				檢査證票			
				總數	合格	不合格	料率	金額	收入月日	摘要	枚數	金額	收入月日	摘要

訂〔靜岡令二二〇號〕

様式第十二號　檢査料元帳様式

檢査料元帳

第　　號　　氏名

日附	摘要	檢丁	借方		貸方		殘高	
			手數料	證票料	手數料	證票料	手數料	證票料

様式第十三號　加工簿様式

加工簿

日附	委託者	加元丁	品目	數量	手數料				摘要
					率	金額	收入月日		

訂（靜岡令二二〇號）

様式第十四號　加工料元帳様式

加工料元帳

第　　號　　氏名

日附	摘要	加丁	借方	貸方	殘高

様式第十五號　仕入（買取）帳様式

仕入（買取）帳

日附	狀送番號	文註番號	摘要	丁數	金額	内譯							
						甲商品		乙商品		丙商品			
						數量	金額	數量	金額	數量	金額		

訂（靜岡令二二〇號）

様式第十六號　仕入(買取)元帳様式

仕入(買取)元帳

第　　號

名氏先(仕入(買取))

住所

日	附	摘要	丁數	借方	貸方	殘高

様式第十七號　供給(賣上)帳様式

供給(賣上)帳

日	附	傳票番號	摘要	丁數	金額	内譯 甲商品 數量	甲商品 金額	乙商品 數量	乙商品 金額	丙商品 數量	丙商品 金額

訂(靜岡令二二〇號)

様式第十八號　供給(賣上)元帳様式

元帳　供給(賣上)

第　　號

名氏先(上賣)給供

日	附	摘要	丁數	借方	貸方	殘高

様式第十九號　商品元帳様式

元帳　商品

保管場所

品名

日	附	摘要	丁數	受入 番號	受入 數量	受入 單價	受入 金額	引渡 番號	引渡 數量	引渡 單價	引渡 金額	殘高 數量	殘高 金額

訂(靜岡令二二〇號)

様式第二十號　原價元帳様式

原　價　元　帳

製造開始日　　製造數量

製造完了日　　單　價

日附	原料及材料						工賃				間接費		原價		
	倉番出號	種目	數量	單價	金額		職工	作業時間	賃率	金額	配賦	金額	摘要	單價	

様式第二十一號　受託購入元帳様式

受託購入元帳

第　　號　　委託者氏名

日附	丁數	受託		買附					收入		未收入		
		種類	數量	種類	數量	單價	買付額	手數料	買付額	手數料	買付額	手數料	

訂〔靜岡令二二〇號〕

様式第二十二號　受託品受拂帳様式

受託品受拂帳

日附	摘要	丁數	受入數量			引渡數量			殘高			販賣(買賣)額
			甲商品	乙商品	丙商品	甲商品	乙商品	丙商品	甲商品	乙商品	丙商品	

様式第二十三號　受託販賣元帳様式

受託販賣元帳

第　　號　　委託者氏名

日附	丁數	受託				返戻				販賣				控除額						精算額	末決	
		數量			評價額	數量			評價	數量			價額	假渡金	利息	手數料	諸掛り	合計			要摘	日附
		甲	乙	丙		甲	乙	丙		甲	乙	丙										

訂〔靜岡令二二〇號〕

様式第二十四號　受託保管品受拂帳様式

帳拂受品管保託受

日附	庫入番號	摘要	保元丁	量數庫入 甲商品	乙商品	丙商品	量數庫出 甲商品	乙商品	丙商品	量數庫在 甲商品	乙商品	丙商品	保管料品

様式第二十五號　受託保管元帳様式

帳元管保託受

第　號

名氏者託委

日附	摘要	丁數	量數庫入 甲商品	乙商品	丙商品	出庫數量 甲商品	乙商品	丙商品	在庫數量 甲商品	乙商品	丙商品	手數料	末尾 日附	末尾 摘要

訂（靜岡令二二〇號）

様式第二十六號　手形貸付記入帳様式

帳入記付貸形手

日附	形手番號	借主	保證人	元丁	期間 日數	期間 滿期日	利息 利率	利息 金額	手形金額	擔保 種類	擔保 數量	擔保 單價	擔保 價額	末尾 日附	末尾 摘要

様式第二十七號　證書貸付記入帳様式

帳入記付貸書證

日附	證書番號	借主	保證人	元丁	期間 日數	期間 滿期日	利息 利率	利息 金額	貸付金額	擔保 種類	擔保 數量	擔保 單價	擔保 價額	末尾 日附	末尾 摘要

訂（靜岡令二二〇號）

様式第二十八號　擔保品記入帳樣式

擔保品記入帳

日附	擔保品番號	氏名	摘要	貸元丁	貸付額	擔保品 種類	擔保品 數量	擔保品 單價	擔保品 評價額	類末 日附	類末 摘要

様式第二十九號　貸付金元帳樣式

貸付金元帳

主借　　貸限付貸

日附	貸付種類	摘要	丁數	貸付額	償還額	殘額	利息 利率	利息 日數	利息 金額	利息 備考

訂〔靜岡令二二〇號〕

様式第三十號　當座貯金元帳樣式

當座貯金元帳

通帳番號　　氏名　　貸限付貸

小切手　　期間　　利率

日附	摘要	小切手番號	借方	貸方	殘額	積數 日數	積數 利率	積數 借方	積數 貸方

様式第三十一號　特別當座貯金元帳樣式

特別當座貯金元帳

通帳番號　　氏名　　利率

日附	摘要	現丁	借方	貸方	殘高	積數 日數	積數 金額

訂〔靜岡令二二〇號〕

様式第三十二號　定期貯金記入帳様式

帳入記金貯期定

末頁	利息 額金	利息 率利	額金	日期滿	間期	名氏	丁現	日附

様式第三十三號　通知貯金記入帳様式

帳入記金貯知通

末頁 備考	日拂支	通知 日拂支	利息 額金	利息 率利	利息 日數	額金	丁現	名氏	日附

訂（靜岡令二二〇號）

第三十四條ニ依ル様式

様式第一號

何年度自何年何月何日至何年何月何日何々工業組合（聯合會）何々事業收支豫算

歲入

科目	本年度豫算額	前年度豫算額	備考
第一款 分賦金			
第一項 分賦金			
第一目 平等割			組合員何人一人年額何圓
第二目 等級割			一等何人一人年額何圓 二等何人一人年額何圓
第三目 生産割			一年度生産額何個一個何錢
第四目 何々			
第二款 手數料			
第一項 手數料			
第一目 檢査手數料			何個分一個何錢
第二目 證紙料			何枚分一枚何錢
第三目 證票料			何枚分一枚何錢
第四目 何々			

歲出

科目	本年度豫算額	前年度豫算額	備考
第三款 補助金			
第一項 補助金			
第一目 何々			
第四款 雜收入			
第一項 何々			
第一目 何々			
第五款 過年度徵收金			
第六款 何々			
合計			

科目	本年度豫算額	前年度豫算額	備考
第一款 事業費			
第一項 檢査費			
第一目 俸給			檢査員（月俸何圓何人） 俸給何（月俸何圓何人） 人分內
第二目 雜給			夜勤賄料何夜分一夜何錢 人夫賃延人員何人分一人 何錢

訂（靜岡令二二〇號）

第三目　旅費			檢査員旅費 日當何日分一日何圓 宿泊料何夜分一夜何圓 汽車賃何哩分一哩何錢 汽船賃何浬分一浬何錢 車馬賃何里分一里何錢
第四目　賞與			檢査員賞與何人分一人平均何圓
第五目　何々			
第二項　取締費			
第一目　何々			
第三項　指導奬勵費			
第一目　指導費			
第二目　奬勵費			
第四項　研究費			
第一目　何々			
第五項　調査費			
第一目　何々			
第六項　何々			
第一目　何々			
第二款　負擔金			

第一項　聯合會負擔金			
第二項　何々			
第三款　雜費			
第四款　何々			
第五款　豫備費			
合計			

備考　豫算ノ變更ヲ要スルトキハ「本年度豫算額」欄ヲ「追加(更正)豫算額」トシ「前年度豫算額」欄ヲ「既定豫算額」トシ「備考」欄ニハ追加(更正)豫算額ノ計算ノ基ク所ヲ記載シ別ニ其ノ追加(更正)ノ理由ヲ説明スルコト

様式第二號

何年度自何年何月何日至何年何月何日何々工業組合(聯合會)事業報告

一、組合員數及出資口數ノ異動

種別	前年度末現在		本年度中增加		本年度中減少		本年度末現在	
出資口數別	組合員數	出資口數	組合員數	出資口數	組合員數	出資口數	組合員數	出資口數
一口								
五口以下								
十口以下								
三十口以下								
五十口以下								
五十口ヲ超ユルモノ								
合計								

訂(靜岡令二二〇號)

備考　二種以上ノ工業者ヲ以テ組織スル組合ニ在リテハ各別ニ記載スルコト

二、事業ノ狀況

左記各項ニ付成ルベク詳細ニ事業執行ノ狀況及其成績ヲ記載スルコト

イ、檢査其ノ他ノ取締ニ關スル事項(檢査ニ付テハ合格品及不合格品ノ種類別數量、不合格品ノ處分ノ狀況等ヲ明ニシタル成績表ヲ附スルコト)

ロ、事業經營ノ制限ニ關スル事項

ハ、加工、保管其ノ他共同設備ノ運用ニ關スル事項

ニ、製品ノ販賣ニ關スル事項

ホ、營業ニ必要ナル物ノ供給ニ關スル事項

ヘ、資金ノ貸付ニ關スル事項

ト、貯金ノ受入ニ關スル事項

チ、營業ニ關スル指導奬勵、研究及調査ニ關スル事項

リ、組合員外ノ組合施設利用狀況ニ關スル事項

ヌ、違約處分ニ關スル事項

ル、以上ノ外事業執行ノ狀況及其ノ成績ヲ認ムルニ付必要ナル事項

三、總會又ハ總代會ノ決議ノ要領

四、地區内ニ於ケル當該工業ニ關スル同業組合トノ關係

五、斯業ノ商況

六、組合員ノ生産狀況

品種	數量			價格		
	前年度	本年度	增減	前年度	本年度	增減
何々						
何々						

七、經費ノ一部ヲ分賦スル組合ニ在リテハ其經費ノ收支決算

決算書様式ハ豫算書様式ニ倣ヒ「本年度豫算額」欄ヲ「決算額」トシ「前年度豫算額」欄ヲ「豫算額」トシ「備考」欄ニハ上欄ノ科目ニ對スル決算額ノ基ク所ヲ詳細ニ記載スルコト

八、損益計算書

損益計算書ハ左ノ様式ニ倣ヒテ事業別ニ明記スルコト

訂(靜岡令二二〇號)

何年度（自何年何月何日　至何年何月何日）損益計算書

何々工業組合（聯合會）

損失			利益		
檢査事業			檢査事業		
給料	係員何名分給料	××	手數料	何個分一個何錢	××
雜給	延人員何名分	××	證紙料	何枚分一枚何錢	××
旅費	係員旅費	××	補助又ハ寄附	何々補助金又ハ何某寄附金	××
印刷費	證紙何枚分印刷費	××	何々		××
何々		××			
剩餘金		×××			
		××			
		×××			×××
委託加工事業			委託加工事業		
材料消費高	何々消費高	××	手數料	何々何個分一個何錢	××
給料	係員何名分給料	××			
工賃	延人員何名分	××	副產物收入	何々賣上代金	××
動力費		××	何々		××
燃料費		××			
機械器具消却費	總額ニ對スル何分ノ割合	××			
何々		××			
剩餘金		×××			
		××			
		×××			×××
保管事業			保管事業		
出入費		××	保管料	保管數量何個分	××
保險料		××	何々		××
雜費		××			
何々		××			
剩餘金		×××			
		××			
		×××			×××
委託販賣及委託購入事業			委託販賣及委託購入事業		
給料	係員何名分給料	××	販賣手數料	何々何個分一個何錢	××

訂（靜岡令二二〇號）

運賃		××	購入手數料	何々何個分一個何錢	××
荷造費		××	何々		××
雜費		××			
何々		××			
剩餘金		×××			
		××			
		×××			×××
買取販賣事業			買取販賣事業		
前年度繰越高	何々何個	××	本年度賣上高	何々何個分一個何錢	××
本年度買取高	何々何個	××	年度末殘高	何々何個	××
給料	係員何名分給料	××	何々		××
運賃		××			
雜費		××			
何々		××			
剩餘金		×××			
		××			
		×××			×××
供給事業			供給事業		
前年度繰越高	何々繰越高何個	××	本年度供給高	何々何個分一個何錢	××
本年度仕入高	何々仕入高何個	××	年度末殘高	何々何個	××
給料	係員何名分給料	××	何々		××
工賃	延人員何名分	××			
動力費		××			
燃料費		××			
機械器具消却費	總額ニ對スル何分ノ割合	××			
何々		××			
剩餘金		×××			
		××			
		×××			×××
信用事業			信用事業		
當座貯金利息		××	證書貸付利息	何件貸付總額何圓	××
特別當座貯金利息		××	手形貸付利息	何件貸付總額何圓	××
通知貯金利息	何件貯金總額何圓	××	當座貸越利息		××

訂（靜岡令二二〇號）

土地								×××
事務所敷地	何坪					××		
工場敷地	何坪					××		
倉庫敷地	何坪					××		
其ノ他	何坪					××		
建物								×××
事務所	何坪	取得額	××	償却累計		××		
工場	何坪	取得額	××	償却累計		××		
倉庫	何坪	取得額	××	償却累計		××		
機械器具	内譯別紙目錄ノ通							×××
何設備		取得額	××	償却累計		××		
何設備		取得額	××	償却累計		××		
什器備品	何點							×××
特許權	種類名	取得額	××	償却累計		××		×××
營業權		取得權	××	償却累計		××		×××
保證金	何件							×××
特定資産								×××
積立金見返有價證券		公債額面				××		×××
引當勘定見返預金		何々銀行何預金						×××
作業及販賣資産								×××
原料及材料	内譯別紙目錄ノ通							×××
仕掛品	内譯別紙目錄ノ通							×××
製品	内譯別紙目錄ノ通							×××
貸付金勘定								×××
證書貸付								×××
擔保附	何件					××		
信用貸	何件					××		
手形貸付	何件							×××
當座貸越	何件							×××
流動資産								×××
賣掛金	何件							×××

定期貯金利息	何件貯金總額何圓	××	何々	××
借入金利息		××		
給料	係員何名分給料	××		
何々		××		
剰餘金		×××		
		××		
		×××		×××
建物減價償却費	總額ニ對スル何分ノ割合	××	檢査事業剰餘金	
什器備品評價額		××	經費ノ一部ヲ分賦シタル場合ニ於テハ其收支決算ノ殘額	××
何々引當金		××	委託加工事業剰餘金	××
給料	事務員何名分給料	××	保管事業剰餘金	××
雜給		××	委託販賣及委託購入事業剰餘金	××
借入金利息		××	買取販賣事業剰餘金	××
保險料		××	供給事業剰餘金	××
通信費		××	信用事業剰餘金	××
印刷費		××	預金利息	××
會議費	理事會何回總會何回分費用	××	證券利息	××
旅費	役員事務員旅費	××	何々	××
雜費		××		
何々		××		
繰越損失金		××		
		×××		
本年度剰餘金		××		
		××		×××

注意　損失金ハ右方ニ朱記シテ合計額ヲ一致セシムルコト

様式第三號

何年度末(何年何月何日)財産目錄

何々工業組合(聯合會)

資産		
未拂込出資金	何口	×××
固定資産		×××

未收入受託買付金	何件		×××
未收入手數料			×××
加工手數料	何件	××	
販賣手數料	何件	××	
購入手數料	何件	××	
受取手形	何通		×××
假渡金	何件		×××
銀行預金	何々銀行何預金		×××
現金	手許有高		×××
雜勘定			×××
前拂經費	何々前拂金		×××
未經過保險料	何々保險料　何月分		×××
未經過割引料	何件　何日分		×××
資產合計			×××

負債				
引當勘定				×××
何々引當金				×××
長期負債				×××
借入金				×××
擔保附	何件	平均利率何分	××	
信用借	何件	平均利率何分	××	
貯金勘定				×××
當座貯金				×××
特別當座貯金				×××
通知貯金	何件			×××
定期貯金	何件			×××
短期負債				×××
借入金				×××
擔保附	何件	平均利率何分	××	
信用借	何件	平均利率何分	××	
買掛金	何件			×××
未拂受託販賣金	何件			×××
支拂手形	何通			×××
當座借越	何々銀行當座借越			×××
雜勘定				×××
假受金	何件			×××
負債合計				×××
差引正味財產				×××

注意

一、土地ニ對シテ附スル價格ハ之カ取得ニ要シタル金額ヲ限度トスルコト

二、建物及機械器具ノ價格ハ之カ取得ニ要シタル金額ヲ限度トシテ毎年少クトモ此ノ金額ヲ壽命年數ヲ以テ除シタル額ヲ下ラサル範圍ニ於テ償却ヲ行フコト

三、什器備品ハ其ノ取得原價ヲ基礎トシテ其ノ時ニ於ケル破損、腐朽等ノ狀況ニ應シ適當ニ價格ノ切下ヲ爲スコト

四、工業所有權ヲ資產トシテ擧クル場合ハ其ノ價格ハ取得ニ要シタル金額ヲ限度トシ毎年少クトモ此ノ金額ヲ其ノ存續期間ヲ以テ除シタル額ヲ下ラサル範圍ニ於テ償却ヲ行フコト

五、營業權ハ組合カ其ノ買收ニ依リテ一般ノ場合ニ比シテ有利ニ事業ヲ行ヒ得ル場合ニノミ其ノ取得ニ要シタル金額ヲ限度トシテ價格ヲ附スルコト

此ノ場合ニ於テハ可及的速ニ償却ヲ行フコト

六、公債、社債、株式等ノ如キ有價證券ハ其ノ時ニ於ケル市場價格ヲ以テ評價シ評價差益ハ價格變動引當金トシテ證券ノ處分ニ依リ現實ニ利益ヲ收ムル時迄ハ留保シ置クコト

七、原料、材料、仕掛品及製品ハ取得原價ト市場價格ヲ比較シ其ノ低キニ依リテ評價スルコト

八、手形、賣掛金、未收入金、貸付金ニシテ其ノ回收不能ナルモノハ切捨ヲ行ヒ回收不確實ナルモノニ對シテハ貸倒引當金ヲ設クルコト

訂〔靜岡令二二〇號〕

訂〔靜岡令二二〇號〕

様式第四號

何年度末（何年何月何日）貸借對照表
何々工業組合（聯合會）

借方	金額 本年度	前年度	増減	貸方	金額 本年度	前年度	増減
未拂込出資金	×××	×××	××	出資總額	×××	×××	××
固定資金	×××	×××	××	積立金	×××	×××	××
土地	×××	×××	××	法定準備金	×××	×××	××
建物	×××	×××	××	別途積立金	×××	×××	××
機械機具	×××	×××	××	減債積立金	×××	×××	××
什器備品	×××	×××	××	施設補助金	×××	×××	××
特許權	×××	×××	××	政府補助金	×××	×××	××
營業權	×××	×××	××	府補助金	×××	×××	××
保證金	×××	×××	××	引當勘定	×××	×××	××
特定資金	×××	×××	××	價格變動引當金	×××	×××	××
積立有價證券	×××	×××	××	退職給與引當金	×××	×××	××
引當勘定見返預金	×××	×××	××	長期負債	×××	×××	××
作業及販賣資産	×××	×××	××	借入金	×××	×××	××
原料及材料	×××	×××	××	貯金勘定	×××	×××	××
仕掛品	×××	×××	××	當座貯金	×××	×××	××
製品	×××	×××	××	特別當座貯金	×××	×××	××
貸付金勘定	×××	×××	××	通知貯金	×××	×××	××
貸付證書	×××	×××	××	定期貯金	×××	×××	××
貸付手形	×××	×××	××	短期負債	×××	×××	××
貸越當座	×××	×××	××	借入金	×××	×××	××
流動資産	×××	×××	××	買掛金	×××	×××	××
賣掛金	×××	×××	××	未拂受託販賣金	×××	×××	××
未收入受託買付金	×××	×××	××	支拂手形	×××	×××	××
未收入手數料	×××	×××	××	當座借越	×××	×××	××
受取手形	×××	×××	××	雜勘定	×××	×××	××
假渡金	×××	×××	××	假受金	×××	×××	××
銀行預金	×××	×××	××	利益	×××	×××	××
現金	×××	×××	××	前年度繰越金	×××	×××	××
雜勘定	×××	×××	××	本年度剩餘金	×××	×××	××
前拂經費	×××	×××	××				
未經過保險料	×××	×××	××				
未經過割引料	×××	×××	××				
（損失）	×××	×××	××				
（前年度繰越損失）	×××	×××	××				
（本年度損失）	×××	×××	××				
	××	××	××		××	××	××
	××	××	××		××	××	××

（第三一一令四條）印

様式第五號

第十編　産業　第七章　産業組合、負債整理組合

	何年度	自何年何月何日 至何年何月何日 剰餘金處分方法
本年度剰餘金	圓	圓
前年度繰越金	何	何
合計	何	何
法定準備金（剰餘金ノ何分ノ一）	何	何
別途積立金	圓	圓
何々積立金	圓	圓
配當金（何ニ對シテ年何分ノ割）	圓	圓
之ヲ處分スルコト左ノ如シ		

事業利用配當金(何ニ對シ何ノ割)　何圓
内出資ノ拂込ニ充テタルモノ　何圓
次年度繰越金　何圓

●工業組合法第八條ノ施行ニ關スル取締規則

靜岡縣令第三十七號(昭和九年七月十四日)

工業組合法第八條ノ施行ニ關スル取締規則左ノ通定ム

工業組合法第八條ノ施行ニ關スル取締規則

第一條　本則ハ工業組合法第八條ニ基ク同法施行規則第二十條ニ依ル告示アリタル場合ニ之ヲ適用ス

第二條　本則ニ於テ組合ト稱スルハ靜岡縣内ノミヲ地區トスル工業組合及其ノ聯合會ヲ謂ヒ當業者ト稱スルハ組合ノ地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ニシテ告示ニ依リ指定セラレタル者ヲ謂フ

第三條　當該官吏又ハ警察官吏ハ當業者ノ店舗、工場又ハ其ノ他ノ場所ニ臨檢シ製造設備、製品、原料材料及帳簿其ノ他ノ書類ヲ檢閲シ又ハ之ニ封印ヲ施スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ當該官吏又ハ警察官吏ハ組合ノ役員又ハ檢査員ヲシテ檢閲ノ補助ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條　當業者ハ當該官吏ノ指揮ニ從ヒ作業臺帳及注文引受竝販賣臺帳ヲ備ヘ明細ニ記載シ置クヘシ

第五條　當業者ハ當該官吏ノ指揮ニ從ヒ製造、注文引受、販賣ニ關スル傳票及受取證其ノ他證憑書類ヲ整理シ置クヘシ

第六條　取締ニ從事スヘキ當該官吏ニハ別ニ定ムル取締員證票ヲ携帶セシム

前項ノ取締員證票ノ雛形ハ之ヲ告示ス

第七條　當業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ拘留又ハ科料ニ處ス

一　第三條ノ臨檢、檢閲又ハ封印ヲ拒ミタルトキ

二　第四條ニ揭ケタル帳簿ヲ備ヘス又ハ帳簿ノ記載ヲ怠リ若ハ虚僞ノ記載ヲ爲シタルトキ

三　第五條ノ規定ニ違反シタルトキ

第八條　當業者ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ニシテ本則ニ違反スル行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ本則ニ依ル處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第九條　當業者カ未成年者、禁治産者又ハ法人ナルトキハ本則ノ罰則ハ之ヲ法定代理人又ハ法人ノ代表者ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十條　當該商品ノ販賣業者又ハ仲介業者ニシテ當業者ト通謀シ當業者ヲシテ本則ニ依ル取締ヲ免レシメントスル場合其ノ他取締上特ニ必要アル場合ニ於テハ本則第三條乃至第五條及第七條乃至第九條ノ規定ハ之ヲ販賣業者又ハ仲介業者ニ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業組合法第八條ノ施行ニ關スル取締規則ニ依ル取締員證票雛形

靜岡縣告示第八百十五號(昭和九年七月十四日)

工業組合法第八條ノ施行ニ關スル取締規則ニ定ムル取締ニ從事スヘキ當該官吏ニ携帶セシムル取締員證票ノ雛形左ノ通定ム

訂(靜岡令二二三號)

十二　表　面

九　糎

折　目

工業組合法第八條ノ施行ニ關スル取締規則第六條ニ依ル取締員證票

内　面

第　號　昭和　年　月　日交付

官　職　(印　縣)　氏　名

折　目

工業組合法第八條ノ施行ニ關スル取締規則抜萃

第六條　取締ニ從事スヘキ當該官吏ニハ別ニ定ムル取締員證ヲ携帶セシム

前項ノ取締員證票ノ雛形ハ之ヲ告示ス

第七條　當業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ拘留又ハ科料ニ處ス

一　第三條ノ臨檢、檢閲又ハ封印ヲ拒ミタルトキ

二　第四條ニ揭ケタル帳簿ヲ備ヘス又ハ帳簿ノ記載ヲ怠リ若ハ虚僞ノ記載ヲ爲シタルトキ

三　第五條ノ規定ニ違反シタルトキ

訂(靜岡令二三四號)

●商業組合法施行細則

靜岡縣令第十五號（昭和十年五月十八日）

商業組合法施行細則左ノ通定ム

商業組合法施行細則

第一條　本令ニ於テ法ト稱スルハ商業組合法ヲ謂ヒ規則ト稱スルハ商業組合法施行規則ヲ謂フ

第二條　組合ノ發起屆出ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

一　組合員タル資格ヲ有スル者ノ員數「二種以上ノ商業者ヲ以テ組合ヲ設立セントスルトキハ商業ノ種類別ニ記載スルコト」

二　地區內ニ於ケル當該商業ノ最近三ケ年間ニ於ケル每年ノ取扱ノ數量及金額竝ニ商況

三　地區內ニ於テ當該商業ニ關シ重要物產同業組合ノ存スル場合ニ在リテハ其ノ同業組合トノ關係

四　組合ヲ設立セントスル事由

五　其ノ他組合ノ設立ニ關シ參考トナルヘキ事項

第三條　創立總會又ハ創立委員會ヲ招集セントスルトキハ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項日時及場所ヲ知事ニ報告スヘシ

第四條　組合設立認可申請書ニ添附スヘキ法定ノ設立同意者アリタルコトヲ證スル書面ニハ組合員タル資格及其ノ員數竝設立同意者ノ數ヲ記載シ當該行政廳ノ證明ヲ受クヘシ

前項設立同意者ノ數ニ付テハ設立同意書ノ正本ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第五條　組合設立認可申請書ニ添附スヘキ事業計畫書ニハ主要事業ノ種類、設備及施行方法ノ概要竝之ニ要スル費用、其ノ財源及收支ノ概算竝其ノ事業ノ效果等ヲ記載スヘシ

設立後直ニ施行セサル事業ニ付テハ計畫ノ概要及實施ノ豫定年度ヲ附記スヘシ

第六條　組合ヲ設立スルトキハ設立認可申請書ニ其ノ必要ナル理由書ヲ添附スヘシ

一　組合員ノ有スヘキ出資口數カ五十口ヲ超ユルトキ

二　持分ノ全部若ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ率カ年六分ヲ超ユルトキ

三　總代會ヲ設クルトキ

四　一組合員ニ二個以上ノ議決權ヲ有セシムルトキ

第七條　組合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ報告スヘシ

一　設立認可後一ケ月ヲ經過スルモ出資第一回ノ拂込ヲ完了セサルトキ

二　出資第一回拂込後二ケ月ヲ經過スルモ事業ヲ開始シ得サルトキ

第八條　組合ハ事業開始當日現在ニ於ケル財產目錄及貸借對照表ヲ作製シ之ヲ知事ニ屆出ツヘシ

第九條　總會又ハ總代會ヲ招集セントスルトキハ少クトモ五日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ知事ニ報告スヘシ

總會又ハ總代會終了シタルトキハ一週間以內ニ其ノ顚末ヲ知事ニ報告スヘシ

第十條　組合員ノ五分ノ一以上ヨリ總會招集ノ請求アリタルトキハ組合ハ其ノ請求書ノ寫及之ニ對スル措置方針ヲ添ヘ速ニ知事ニ報告スヘシ

第十一條　法第二十條第二項ニ依ル總會招集認可申請書ニハ總組合員ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面及左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

一　會議ノ目的タル事項

二　總會ヲ招集セントスル理由

三　理事ト交涉ノ顚末

第十二條　總會又ハ總代會ノ議長ハ左ノ事項ヲ記載シタル決議錄ヲ作成シ議長及出席者二名以上之ニ記名捺印スヘシ

一　開會ノ日時及場所

二　組合員數又ハ總代ノ定數及其ノ議決權ノ總數

三　出席者數及其ノ議決權總數

四　議事ノ要領

五　議決シタル事項及贊否ノ議決權數

六　其ノ他議長ニ於テ必要ト認メタル事項

第十三條　定款變更ノ認可申請書ニハ規則第十二條ニ揭ケタル書面ノ外其ノ變更ヲ必要トスル理由書及新舊條文ノ拔萃ヲ添附スヘシ

定款ノ變更カ出資一口ノ金額若ハ保證金額減少ニ關スルモノナルトキハ其ノ認可申請書ニハ前項ニ揭ケタル書面ノ外債權者ニ對シ爲シタル催告及公告ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十四條　法第七條ノ規程ノ認可申請書ニハ統制ヲ必要トスル事由ヲ記載シタル書面ノ外其ノ規程カ總會又ハ總代會ノ決議ヲ經ヘキモノナルトキハ其ノ決議錄ノ謄本ヲ添附スヘシ其ノ變更セントスル場合亦同シ

第十五條　商業組合カ規則第二十一條ノ規定ニ依リ指定セラレタルトキハ指定セラレタル資格ヲ有スル者ニ對シ指定セラレタル事項及之ニ關スル組合ノ規程ヲ通知スヘシ

第十六條　組合ニ於テ左ノ各號ニ該當シ不穩ノ狀況アリト認メタルトキハ其ノ事情及措置方法ヲ速ニ知事ニ報告スヘシ

一　組合員ヨリ一時ニ多數ノ脫退豫告ヲ受ケタルトキ

二　組合員ヨリ組合帳簿ノ閱覽ヲ要求セラレタルトキ

三　其ノ他不穩ト認ムヘキ狀況アリタルトキ

第十七條　組合ニ於テ左ノ處分ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク處分ノ事由及其ノ顚末ヲ知事ニ報告スヘシ

一　組合員除名ノ決議ヲ爲シタルトキ

二　組合員ニ對シ過怠金處分ヲ爲シタルトキ

第十八條　役員ノ辭職屆ハ組合ノ定メタル代表者ニ在リテハ其ノ代理者ニ其ノ他ノ役員ニ在リテハ組合ノ定メタル代表者又ハ其ノ代理者ニ提出スヘシ

組合ノ定メタル代表者其ノ代理者共ニ在ラサルトキハ直ニ知事ニ報告スヘシ

第十九條　組合ノ事務ニ從事スル理事又ハ清算人退職シタルトキハ退職ノ日ヨリ十日以内ニ監事立會ノ上事務引繼ヲ爲スヘシ

事務引繼書ニハ現金、書類、帳簿其ノ他物件ノ各目錄ヲ添附シ雙方之ニ連署スヘシ

事務引繼ヲ終リタルトキハ直ニ之ヲ知事ニ報告スヘシ

第二十條　組合ノ定メタル代表者、事務ニ從事スル理事、監事又ハ清算人ノ選任又ハ就職若ハ辭任アリタルトキハ直ニ之ヲ知事ニ報告スヘシ但シ選任及辭任ノ報告ニハ事由書ヲ添附スヘシ

檢査員及主任事務員ノ任免アリタルトキ前項ニ同シ

第二十一條　法第二十一條第三項ノ場合ニ在リテハ其ノ認可申請書ニ理由書及理事又ハ監事タルヘキ者ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第二十二條　組合ハ毎月末現在ニ依リ貸借對照表ヲ作成スヘシ

第二十三條　監事ハ少クトモ毎年度二回定期監査ヲ行ヒ其ノ顚末ヲ直ニ知事ニ報告スヘシ

第二十四條　組合ハ毎月十日迄ニ前月ニ於ケル事業執行狀況ヲ知事ニ報告スヘシ

第二十五條　規則第十三條ニ依ル屆出ハ事業年度開始二ケ月前ニ之ヲ爲スヘシ

第二十六條　規則第二十條第三號ニ依ル屆出ニハ左ノ事項ヲ記載ノ上遲滯ナク屆出ツヘシ

一　登記事項

二　登記年月日

理事、監事及清算人ノ登記完了屆出ニハ履歷書ヲ添附スヘシ

第二十七條　規則第十四條ニ依ル財產目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ノ屆出ハ每事業年度經過後二ケ月以内ニ之ヲ爲スヘシ

前項事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　組合員數及出資口數ノ異動

二　事業ノ狀況

三　總會又ハ總代會ノ決議ノ要領

四　地區内ニ於ケル當該商業ニ關スル同業組合トノ關係

五　當該商業ノ狀況

六　組合員ノ營業狀況

七　經費ノ一部ヲ分賦スル組合ニ在リテハ其ノ經費ノ收支決算

八　損益計算書

第二十八條　組合カ訴訟ノ當事者トナリタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク知事ニ報告スヘシ其ノ訴訟ノ判決ヲ受ケ若ハ和解シタル場合亦同シ

第二十九條　組合ノ理事及清算人ハ其ノ組合ノ破產宣告ヲ裁判所ニ申請シタルトキ竝其ノ組合カ破產ノ宣告ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ知事ニ報告スヘシ

第三十條　清算人法第三十七條ニ依リ準用セラレタル產業組合法第七十一條ノ規定ニ依リ總會ノ承認ヲ經タルトキハ財產目錄、貸借對照表ヲ添ヘ二週間以内ニ其ノ旨知事ニ報告スヘシ

訂（靜岡令二三四號）

第三十一條　清算人ハ三箇月每ニ清算事務進捗ノ狀況ヲ知事ニ報告スヘシ

第三十二條　本令ノ規定ハ商業組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第三十三條　法竝規則ニ依リ提出スヘキ書類ハ各二通ヲ差出スヘシ但シ規則第十四條ニ依ル書類ハ各三通ヲ提出スヘシ

第三十四條　組合ハ業務執行ニ當リ少クトモ左ニ揭クル帳簿ヲ備ヘ事業ヲ整理スヘシ

各種組合及聯合會ニ共通ノモノ

一　組合員名簿　二　持分臺帳　三　配當金明細帳

四　現金出納簿　五　仕譯帳　六　總元帳

七　什器備品臺帳　八　分賦收入帳　九　受取手形記入帳

一〇　支拂手形記入帳

取扱商品ノ仕入ヲ行フ組合

一　仕入帳　二　仕入元帳　三　受託仕入元帳

四　仕入品引渡帳　五　仕入品受拂帳

保管事業ヲ行フ組合

一　受託保管品受拂帳　二　受託保管元帳

運搬事業ヲ行フ組合

一　運搬簿

檢査事業ヲ行フ組合

一　檢査簿　二　檢査料元帳

信用事業ヲ行フ組合

一　手形貸付記入帳　二　證書貸付記入帳　三　擔保品記入帳

四　貸付金元帳　五　當座貯金元帳　六　特別當座貯金元帳

七　定期貯金記入帳　八　通知貯金記入帳

第三十五條　組合ノ書類ハ左ノ類別ニ從ヒ之ヲ編綴整理スヘシ

一　定款及諸規程

二　例規

三　財產目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分方法ニ關スル書類

四　總會又ハ總代會ニ關スル書類

五　理事會ニ關スル書類

六　役員又ハ職員ノ進退ニ關スル書類

七　組合員ノ加入脫退及持分讓渡ニ關スル書類

八　官廳ニ對スル關係書類

九　利用又ハ加工ニ關スル書類

十　統制ニ關スル書類

十一　會計ニ關スル書類

訂（靜岡令二三四號）

十二　證憑書類
十三　雜書類
十四　事務引繼ニ關スル書類

前項ノ外事業ノ狀況ニ依リ適宜類別ヲ設ケ整理スルコトヲ妨ケス

第三十六條　規則第十三條同第十四條ニ依リ組合ヨリ差出スヘキ書類ハ左ノ樣式ニ依ルヘシ

一　經費收支豫算
一　事業報告書
一　財產目錄
一　貸借對照表
一　剩餘金處分案

第三十七條　組合ノ合併認可申請ハ合併ニ因リテ組合ヲ設立スル場合ニ於テハ產業組合法第六十三條ノ二ニ依リ選任セラレタル者、其ノ他ノ場合ニ於テハ組合連署ノ上之ヲ爲スヘシ

附則

第三十八條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十四條ニ依ル帳簿樣式

組合員名簿樣式

住所　　氏名
營業所　　（加入　月　日 / 脫退　月　日）

日	附	摘要	出資 口數 取得	出資 口數 讓渡	出資 口數 現在	出資額	拂込濟出資金 拂込又ハ讓受	拂込濟出資金 讓渡	拂込濟出資金 現在	拂込金未出資

訂（靜岡令二三四號）

持分臺帳樣式

第　　號　　氏名

年度	出資 在現額	出資 減增額	出資 分接額	金備準定法 在現額	金備準定法 減增額	金備準定法 分接額	金積立諸 在現額	金積立諸 減增額	金積立諸 分接額	其ノ他 在現額	其ノ他 減增額	其ノ他 分接額	領合計額

配當金明細帳樣式

第　　號　　氏名

年度	持分ニ對スル配當 基礎額	持分ニ對スル配當 配當率	持分ニ對スル配當 金額	事業分量ニ對スル配當 基礎額	事業分量ニ對スル配當 接分率	事業分量ニ對スル配當 金額	合計額	支拂額末 拂込充當	支拂額末 現金支拂 金額	支拂額末 現金支拂 月	支拂額末 現金支拂 日

訂（靜岡令二三四號）

現金出納簿様式

現金出納簿

日	附	科目	元丁	摘要	借方 現金	借方 銀行	貸方 現金	貸方 銀行	残高 又借ハ貸	残高 現金	残高 又貸ハ借	残高 銀行

仕譯帳

日	附	摘要	丁數	借方	貸方

總元帳様式

勘定科目

日	附	摘要	仕丁	借方	貸方	又借ハ貸	残高	又貸ハ借

番號　　品名　　構造

所在場所　　其他要項

日	附	摘要	購入 數量	購入 金額	處分 數量	處分 金額	償却額	現在額 金額	現在額 備考

分賦收入帳樣式

第　　號　　氏名

分賦金額					收入金額		未收入金額	備考
年度別（月別）	平等割	等級割	前年度額繰越	合計額	日附	金額		

受取商業手形記入帳樣式

帳入記形手業商取受

支拂場所	末顛		日期滿											期間	手形日附	番號	手形種類	受取人	出又裏人振人ハ書	金額	元・丁	摘要	日附
	日附	摘要	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12									

支拂商業手形記入帳樣式

帳入記形手業商拂支

支拂場所	末顛		日期滿											期間	手形日附	番號	手形種類	受取人	出又裏人振人ハ書	金額	元・丁	摘要	日附
	日附	摘要	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12									

仕入帳樣式

帳入仕

譯內																							
品額	商金	丙	品額	商金	乙	品額	商金	甲	品額	商金	丙	品額	商金	丙	品額	商金	乙	品額	商金	甲	品額	商金	丙
		數量			數量			數量			數量			數量			數量			數量			數量

仕入元帳樣式

仕　入　元　帳

仕入先氏名

第　　號　　住所

日附	摘要	丁數	借方	貸方	又借又貸ハ	殘高

受託仕入元帳樣式

受託仕入元帳

第　　號　　氏名

日附	丁數	受託 種類	受託 數量	買付 種類	買付 數量	買付 單價	買付 買付額	買付 手數料	買付 合計	收入 日附	收入 金額	收入未收入

仕入品引渡帳樣式

仕入品引渡帳

日附	票號傳番	摘要	丁數	金額	內譯 甲商品 數量	甲商品 金額	乙商品 數量	乙商品 金額	丙商品 數量	丙商品 金額

仕入品受拂帳樣式

仕入品受拂帳

日附	摘要	丁數	數量受入 甲商品	乙商品	丙商品	數量引渡 甲商品	乙商品	丙商品	殘高 甲商品	乙商品	丙商品	備考

訂（靜岡令二三四號）

受託保管品受拂帳樣式

帳拂受品管保託受

日附	入庫番號	摘要	保元丁	數量 入庫 甲商品	乙商品	丙商品	出庫 甲商品	乙商品	丙商品	在庫 甲商品	乙商品	丙商品	保管料 保手數料

受託保管元帳樣式

帳元管保託受

第　號　　委託者氏名

日附	摘要	丁數	數量 入庫 甲商品	乙商品	丙商品	出庫 甲商品	乙商品	丙商品	在庫 甲商品	乙商品	丙商品	保管料 保手數料	殘額 日附	殘額 摘要

訂〔靜岡令二三四號〕

運搬簿樣式

簿搬運

日附	委託者	運元丁	品目	數量	運搬區域	個當賃率	手數料 金額	收月	入日	摘要

檢查簿樣式

簿查檢

日附	受檢者	檢元丁	品目	數量 受檢 總數	合格	不合格	手數料 料率	金額	收月	入日	摘要	證票 檢查 枚數	金額	收月	入日	摘要

訂〔靜岡令二三四號〕

檢査料元帳樣式

第　　號　　氏名

附日	摘要	檢丁	借方		貸方		殘高	
			手數料	證票料	手數料	證票料	手數料	證票料

手形貸付記入帳樣式

帳入記付貸形手

附日	手形番號	借主	保證人	元丁	期間		利息		手形金額	擔保				末顛	
					日數	滿期日	利率	金額		種類	數量	單價	價額	附日	摘要

證書貸付記入帳樣式

帳入記付貸書證

附日	證書番號	借主	保證人	元丁	期間		利息		貸付金額	擔保				末顛	
					日數	滿期日	利率	金額		種類	數量	單價	價額	附日	摘要

擔保品記入帳樣式

帳入記品保擔

附日	預證番號	氏名	摘要	貸元丁	貸付額	擔保品				末顛	
						種類	數量	單價	評價額		

貸付金元帳樣式

貸付金元帳

貸付限度　　借主

日附	貸付種類	摘要	丁數	貸付額	償還額	殘額	利息 利率	利息 日數	利息 金額	利息 備考

特別當座貸金元帳樣式

特別當座貸金元帳

通帳番號　　氏名　　利率

日附	摘要	現丁	借方	貸方	又借又貸	殘高	積數 日數	積數 金額

訂（靜岡令二三四號）

定期貯金記入帳樣式

定期貯金記入帳

日附	氏名	現丁	期間	滿期日	金額	利息 利率	利息 金額	末殘額 月日	末殘額

通知貯金記入帳樣式

通知貯金記入帳

日附	氏名	現丁	金額	利息 日數	利息 利率	利息 金額	通知 日拂	通知 支	殘額 日拂	殘額 支	末 備考

訂（靜岡令二三四號）

第三十六條ニ依ル書類樣式

經費收支豫算書樣式

何年度　自何年何月何日
　　至何年何月何日

何々商業組合（聯合會）何々事業收支豫算

歲入

科目	本年度豫算額	前年度豫算額	備考
第一款　分賦金			
第一項　分賦金			
第一目　平等割			組合員何人一人年額何圓
第二目　等級割			一等何人一人年額何圓 二等何人一人年額何圓
第三目　扱高割			一年度取扱額何圓ニ付何錢
第四目　何々			
第二款　手數料及利用料			
第一項　手數料			
第一目　何々手數料			何個分一個何錢
第二目　證紙料			何枚分一枚何錢
第三目　證票料			何枚分一枚何錢
第四目　何々			

第二項　利用料			
第一目　何々利用料			
第二目　何々			
第三款　補助金			
第一項　補助金			
第一目　何々			
第四款　雜收入			
第一項　何々			
第一目　何々			
第五款　過年度徵收金			
第六款　何々			
合計			

歲出

科目	本年度豫算額	前年度豫算額	備考
第一款　事業費			
第一項　統制費			
第一目　俸給			取締員俸給月俸何圓何人 何人分內　月俸何圓何人

訂（靜岡令二三四號）

第二目　雜給			夜勤賄料何夜分一夜何錢 人夫賃延人員何人分一人何錢
第三目　旅費			取締員 日當何日分一日何圓 宿泊料何夜分一夜何圓 旅費 汽車賃何哩分一哩何錢 汽船賃何浬分一浬何錢 車馬賃何里分一里何錢
第四目　賞與			取締員賞與何人分一人平均何圓
第五目　何々			
第二項　指導奬勵費			
第一目　指導費			
第二目　奬勵費			
第三項　研究調査費			
第一目　研究費			
第二目　調査費			
第四項　何々			
第一目　何々			
第二款　負擔金			
第一項　聯合會負擔金			
第二項　何々			
第三款　雜費			
第四款　何々			
第五款　豫備費			
合計			

訂（靜岡令二三四號）

備考　豫算ノ變更ヲ要スルトキハ「本年度豫算額」欄ヲ「追加（更正）豫算額」トシ「前年度豫算額」欄ヲ「既定豫算額」トシ「備考」欄ニハ追加（更正）豫算額ノ計算ノ基ク所ヲ記載シ別ニ其ノ追加（更正）ノ理由ヲ說明スルコト

事業報告書樣式

何年度　自何年何月何日
　　至何年何月何日

何々商業組合（聯合會）事業報告

一、組合員數及出資口數ノ異動

種別	前年度末現在	本年度中增加	本年度中減少	本年度末現在
出資口數別				
一口	組合員數			
	出資口數			
五口以下	組合員數			
	出資口數			

十口以下								
三十口以下								
五十口以下								
五十口ヲ超ユルモノ								
合計								

備考　二種以上ノ商業者ヲ以テ組織スル組合ニ在リテハ各別ニ記載スルコト

二、事業ノ狀況

左記各項ニ付成ル可ク詳細ニ事業執行ノ狀況及其ノ成績ヲ記載スルコト

（イ）仕入、保管、運搬其ノ他共同設備ノ運用ニ關スル事項

（ロ）統制ニ關スル事項

（ハ）資金ノ貸付ニ關スル事項

（ニ）貯金ノ受入ニ關スル事項

（ホ）營業ニ關スル指導奬勵、研究及調査ニ關スル事項

（ヘ）組合員外ノ組合施設利用狀況ニ關スル事項

（ト）違約處分ニ關スル事項

（チ）以上ノ外事業執行ノ狀況及其ノ成績ヲ認ムルニ付必要ナル事項

三、總會又ハ總代會ノ決議ノ要領

四、地區内ニ於ケル當該商業ニ關スル同業組合トノ關係

五、當該商業ノ狀況

六、組合員ノ營業狀況

物品販賣業者ヲ以テ組織スル組合ニ在リテハ左ノ樣式ニ從ヒテ記載シ其ノ他ノ組合ニ在リテハ之ニ準シ記載スルコト

商品名	數量			價額		
	前年度	本年度	增減	前年度	本年度	增減
何々						
何々						

備考　卸賣及小賣ノ二商業者ヲ以テ組織スル組合ニ在リテハ各別ニ記載スルコト

七、經費ノ一部ヲ分賦スル組合ニ在リテハ其ノ經費ノ收支決算

決算書樣式ハ豫算書樣式ニ倣ヒ「本年度豫算額」欄ヲ「決算額」トシ「前年度豫算額」欄ヲ「豫算額」トシ「備考」欄ニハ上欄ノ科目ニ對スル決算額ノ基ク所ヲ詳細ニ記載スルコト

八、損益計算書

損益計算書ハ左ノ樣式ニ倣ヒテ事業別ニ明記スルコト

訂〔靜岡令二三四號〕

何年度（自何年何月何日至何年何月何日）損益計算書

何々商業組合（聯合會）

損失			利益		
委託仕入事業			委託仕入事業		
給料	係員何名分給料	××	仕入手數料	何々何個分一個何錢	××
運賃		××	何々		××
荷造費		××			
雜費		××			
何々		××			
		×××			
剩餘金		××			
		×××			×××
保管事業			保管事業		
給料	係員何名分給料	××	保管手數料	保管數量何個分	××
出入費		××	何々		××
保險料		××			
雜費		××			
何々		××			
		×××			
剩餘金		××			
		×××			×××
運搬事業			運搬事業		
給料	係員何名分給料	××	運搬手數料	何々何個分一個何錢	××
燃料費		××	何々		××
自動車減價償却費	總額ニ對スル何分ノ割合	××			
雜費		××			
何々		××			
		×××			
剩餘金		××			

訂〔靜岡令二三四號〕

			×××				×××
統制事業				統制事業			
給料	係員何名分給料		××	何々手數料	何々何個一個何錢		××
旅費	係員旅費		××	證紙料	何枚分一枚何錢		××
印刷費	證紙何枚分印刷費		××	補助又ハ寄附金	何々補助金又ハ何々寄附金		××
何々			××	何々			××
			×××				
剰餘金			××				×××
			×××				
信用事業				信用事業			
當座貯金利息			××	證書貸付利息	何件貸付總額何圓		××
特別當座貯金利息			××	手形貸付利息	何件貸付總額何圓		××
通知貯金利息	何件貯金總額何圓		××	當座貸越利息			××
定期貯金利息	何件貯金總額何圓		××	何々			××
借入金利息			××				
給料	係員何名分給料		××				
何々			××				
			×××				
剰餘金			××				
			×××				×××
建物減價償却費	總額ニ對スル何分ノ割合		××	委託仕入事業剰餘金			××
機械器具及什器備品	評價損		××	保管事業剰餘金			××
何々引當金			××	運搬事業剰餘金			××
給料	事務員何名分給料		××	統制事業剰餘金			××
雜給			××	信用事業剰餘金			××

訂〔靜岡令二三四號〕

補償金補給額限度ノ三分ノ二ニ相當スル金額ノ範圍內ニ於テ各市町村ニ對スル本資金ノ配分額ヲ決定スヘシ但シ六大都市以外ノ市町村ニ對スル配分額ノ決定ニ付テハ豫メ左ノ書類ヲ預金部支部長ニ送付シ協議スルコトヲ要ス

(1)當該市町村ニ於ケル起債決議書寫

(2)當該市町村ノ本資金貸付計畫ヲ記載シタル書類(別紙樣式二)

(3)當該市町村ニ對スル既往ノ配分額ヲ記載シタル書類(別紙樣式三)

(4)貸付ヲ受クヘキ負債整理組合ノ負債整理事業計畫(昭和八年八月二十八日附八更第七、五四〇號農林省經濟更生部長通牒)

(5)負債調書(別紙樣式四)

地方長官市町村ニ對スル配分額ヲ決定シタルトキハ之ヲ當該市町村ニ內示スルト共ニ別紙樣式五ニ依リ大藏大臣、農林大臣及關係預金部支部長ニ報告スヘシ

五、市町村本資金ヲ借入レントスルトキハ預金部資金供給稟請書(別紙樣式六)ニ左ノ書類ヲ添付シ六大都市ニ在リテハ直接、六大都市以外ノ市町村ニ在リテハ預金部支部ヲ經由シ、大藏大臣(二通)及農林大臣ニ提出スヘシ

(1)起債決議書寫

(2)起債許可書寫

(3)負債整理組合ニ對スル貸付條件ヲ記載シタル書類(別紙樣式七)

(4)供給稟請ヲ爲シタル資金ヲ貸付ケントスル負債整理組合ニ關スル調書(別紙樣式八)

六、預金部普通地方資金融通規則第十六條、第十七條及第二十條乃至第二十八條ハ之ヲ農村負債整理資金ニ準用ス但シ第二十三條ニ依ル每月貸付報告書ハ別紙樣式九ニ依ル

七、前四號ノ規定ニ依リ預金部支部ニ提出スヘキ書類ハ預金部支部ヲ經由スヘシ

訂〔靜岡令二三八號〕

(別紙樣式一)

農村負債整理資金所要見込額報告書

(自何月何日至何月何日)

市町村名	同期間中ニ設立スル組合ノ本資金所要見込額	同期間中ニ於ケル資金供給稟請見込額
	圓	圓
合計		

(一)既往ニ設立セル總組合ノ農村負債整理資金所要額　何圓

(二)既往ニ命令アリタル損失補償金補給額限度ノ三分ノ二ニ相當スル金額　何圓

(三)既往ニ供給決定ヲ受クタル資金額　何圓

(四)同期間中ニ設立スル組合ノ本資金所要見込額ト(一)(二)トノ合計額(一)(二)ニ對スル過不足　何圓

(五)(三)ト同期間中ニ於ケル資金供給稟請見込額トノ合計額　何圓

右及報告候也

年　月　日

大藏大臣
農林大臣　氏名宛

北海道廳長官
府縣知事　氏　　名圍

（註）

一、本報告書ハ名宛人毎ニ各別ニ調製スルコト

二、本報告書ハ毎年四月一日乃至七月三十一日、八月一日乃至十一月三十日、十二月一日乃至三月三十一日ノ各期間ニ於ケル見込額ヲ三月、七月、十一月各末日迄ニ報告スルコト

三、同期間中ニ於ケル資金供給察酌見込額欄ニハ同期間中新ニ供給察酌セントスルモノ及察酌中ニシテ決定未了ノモノヲ合算掲記スルコト

（別紙様式二）

負債整理組合ニ對スル貸付計畫書

道
府　郡
縣　市町村

組合名	要整理組合員ノ法第二條該當負債額	貸付豫定額	備考

（別紙様式三）

何々市町村ニ對スル既往ノ配分額調書

第一次

一、配分決定年月日　何年何月何日

二、配分決定金額　何圓

三、貸付豫定先　何々組合　何圓

第二次

一、……　何圓

二、……　何圓

三、……　何圓

合計	圓	圓

二百四十二ノ六十

負債調書

道
府　郡
縣　市町村

（何々負債整理組合）

訂（靜岡令二四一號）

訂（靜岡令二三四號）

支拂手形	何通			×××		
買掛金	何件			×××		
未拂金	何件			×××		
借入金						
擔保附	何件	平均利率何分	×××			
信用貸	何件	平均利率何分	×××	×××	×××	
貯金勘定						
當座貯金				×××		
特別當座貯金				×××		
通知貯金	何件			×××		
定期貯金	何件			×××	×××	
長期負債						
借入金						
擔保附	何件	平均利率何分	×××			
信用借	何件	平均利率何分	×××	×××	×××	
引當勘定						
何々引當金						×××
雜勘定						
假受金	何件					×××
負債合計						×××
差引正味財産						×××

注意

一、土地ニ對シテ附スル價格ハ之カ取得ニ要シタル金額ヲ限度トスルコト

二、建物ノ價格ハ之カ取得ニ要シタル金額ヲ限度トシテ毎年少クトモ其ノ金額ヲ耐用年數ヲ以テ除シタル額ヲ下ラザル範圍ニ於テ償却ヲ行フコト

三、機械器具及什器備品ハ其ノ取得原價ヲ基礎トシテ其ノ時ニ於ケル破損、腐朽等ノ狀況ニ應ジテ適當ニ價格ノ切下ヲ爲スコト

四、公債ノ如キ有價證券ハ其ノ時ニ於ケル市場價格ヲ以テ評價シ評價差益ハ價格變動引當金トシテ證券ノ處分ニ依リ現實ニ利益ヲ收ムル時迄留保シ置クコト

五、商品ハ取得原價ト市場價格トヲ比較シ其ノ低キニ依リテ評價スルコト

六、手形、未收入金、貸付金ニシテ其ノ回收不能ナルモノハ切捨ヲ行ヒ實確不回收ナルモノニ對シテハ貸倒引當金ヲ設クルコト

何年度末(何年何月何日)貸借對照表

何々商業組合(會聯合)

借方	金額 本年度	前年度	増減	貸方	金額 本年度	前年度	増減
流動資産	×××	×××	××	短期負債	×××	×××	××
現金	×××	×××	××	銀行當座借越	×××	×××	××
銀行預金	×××	×××	××	支拂商業手形	×××	×××	××
受取商業手形	×××	×××	××	買掛金	×××	×××	××
未收入受託買付金	×××	×××	××	未拂金	×××	×××	××
未收入手數料	×××	×××	××	借入金	×××	×××	××
有價證券	×××	×××	××	貯金勘定	×××	×××	××
貸付金勘定	×××	×××	××	當座貯金	×××	×××	××
證書貸付	×××	×××	××	特別當座貯金	×××	×××	××
手形貸付	×××	×××	××	通知貯金	×××	×××	××
當座貸越	×××	×××	××	定期貯金	×××	×××	××
販賣資産	×××	×××	××	長期負債	×××	×××	××
商品	×××	×××	××	借入金	×××	×××	××
特定資産	×××	×××	××	引當勘定	×××	×××	××
積立金見返有價證券	×××	×××	××	價格變動引當金	×××	×××	××
引當勘定見返預金	×××	×××	××	退職給與引當金	×××	×××	××
固定資産	×××	×××	××	施設補助金	×××	×××	××
土地	×××	×××	××	政府補助金	×××	×××	××
建物	×××	×××	××	府縣補助金	×××	×××	××
器具備品	×××	×××	××	定額金	×××	×××	××
機械器具	×××	×××	××	勘定積立金	×××	×××	××
什器	×××	×××	××	受入積立金	×××	×××	××
雜勘定	×××	×××	××	總積立金	×××	×××	××
假拂	×××	×××	××	資産評價積立金	×××	×××	××
出資金	×××	×××	××	法定準備金	×××	×××	××
前未拂	×××	×××	××	別途積立金	×××	×××	××
未經過保險料	×××	×××	××	何々積立金	×××	×××	××
未經過割戻金	×××	×××	××	雜勘定	×××	×××	××
未拂(損)金	×××	×××	××	假受金	×××	×××	××
未經過保險料	×××	×××	××	出資金	×××	×××	××
未拂(損)金	×××	×××	××	積立金	×××	×××	××
未經過割戻金	×××	×××	××	法別何々積立金	×××	×××	××
未經過保險料	×××	×××	××	剩餘金	×××	×××	××
前未拂金	×××	×××	××				
假拂金	×××	×××	××				
雜勘定	×××	×××	××				
什器	×××	×××	××				
機械器具	×××	×××	××				
器具備品	×××	×××	××				

剩餘金處分計算書樣式

何年度自何年何月何日至何年何月何日　剩餘金處分方法

本年度剩餘金　何圓

前年度繰越金　何圓

合計　何圓

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

法定準備金(剩餘金ノ何分ノ一)　何圓

別途積立金　何圓

何々積立金　何圓

配當金(何ニ對シ年何分ノ割)　何圓

事業利用配當金(何ニ對シ何ノ割)　何圓

內出資ノ拂込ニ充テムモノ　何圓

次年度繰越金　何圓

●農村負債整理組合法施行細則

（静岡縣令第六十二號（昭和八年十一月四日）

農村負債整理組合法施行細則左ノ通定ム

農村負債整理組合法施行細則

第一條　本則ニ於テ組合法トハ農村負債整理組合法ヲ謂ヒ、施行規則トハ農村負債整理組合法施行規則ヲ謂ヒ、負債整理事業ヲ行フ法人トハ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ヲ謂フ

第二條　負債整理組合ノ設立認可申請書ニハ設立者之ニ記名捺印シ且住所及職業ヲ記載シ農村負債整理組合法施行規則第十一條ニ定ムル書類ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

一　設立當時ノ理事、監事ノ經歴ノ概要及當時事業執行ニ當ルベキ理事ノ氏名

二　加入同意者ノ氏名、住所、職業及保證責任組合ニ在リテハ出資持口數

第三條　負債整理組合ノ設立認可申請書又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ノ負債整理事業認可申請書ニ添附スベキ事業計畫書ハ二通トシ別記樣式第一號ニ準ジ作成スベシ

第四條　市町村長負債整理組合ノ設立認可申請書又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ノ施行規則第七條ニ依リ提出セル負債整理事業ノ認可申請書ヲ受理シタルトキハ之ニ對スル意見及當該市町村ニ於ケル負債整理事業資金ノ特別融通取扱見込ノ有無ヲ具シ進達スベシ

第五條　規約中左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ規定シタルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ設立認可申請書又ハ規約變更認可申請書ニ添附スベシ

一　區域ガ部落其ノ他之ニ準ズル區域ヲ超ユルトキ

二　保證責任組合ノ出資一口金額ガ五十圓ヲ超ユルトキ

三　事業年度ガ曆年ニ據ラザルトキ

第六條　規約變更認可申請書ニハ施行規則第二十六條及第二十七條ニ定ムル書類ノ外其ノ變更條文ト原條文トヲ對照記載シタル抄本ヲ添附スベシ

第七條　負債整理組合ノ解散ノ認可申請書又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ノ解散若ハ負債整理事業廢止ノ認可申請書ニハ負債整理事業資金特別融通ノ債務ノ處理方策ニ關スル書類二通ヲ添附スベシ

第八條　組合法第二條但書ノ申請ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ爲シ施行規則第五條ノ規定ニ依ル書類ノ外總會ノ決議錄ノ謄本ヲ添附スベシ

第九條　負債整理組合ハ左ノ場合ニ於テハ遲滯ナク其ノ旨ヲ知事ニ屆出ヅベシ

一　設立ノ登記ヲ了シタルトキ

二　規約變更ニ基ク登記事項ニ付其ノ登記ヲ了シタルトキ

三　常時事業執行ニ當ルベキ理事ニ異動アリタルトキ

第十條　負債整理組合ノ總會ノ會日ヨリモ少クトモ五日前ニ其ノ會議ノ目的タル事項、開會ノ時日、場所及組合法第二十四條ニ基ク產業組合法第二十三條、第三十四條又ハ第三十四條ノ二ノ規定ニ依ル場合ハ招集ノ理由ヲ知事ニ報告スベシ

（訂（静岡令二一〇號）

負債整理組合ハ總會終了後二週間内ニ決議錄ノ謄本ヲ添ヘ其ノ顚末ヲ知事ニ報告スベシ

負債整理組合ハ規約所定ノ時期ニ總會ヲ開會スルコト能ハザルトキ若ハ成立セザルトキ又ハ事業報告書ノ承認ヲ經ルニ至ラザルトキハ其ノ事由ヲ遲滯ナク知事ニ報告スベシ

第十一條　負債整理組合ノ總會ノ決議錄ニハ左ノ事項ヲ記載シ規約所定ノ者之ニ署名又ハ記名捺印スベシ

一　總會ノ種類

二　招集通知年月日

三　開會ノ日時及場所

四　組合員現在數

五　出席シタル組合員數

六　議決權ノ代理ヲ委任シタル組合員數

七　議長ノ氏名

八　會議ノ目的タル事項

九　議事ノ顚末

十　閉會ノ時刻

負債整理組合ノ事務所ニ備付クベキ決議錄ニハ現ニ出席シタル組合員ノ名簿並ニ代理權ヲ證スル書面ヲ添附シ置クベシ

第十二條　負債整理組合ハ少クトモ左ノ帳簿ヲ備ヘ事業ヲ整理スベシ

一　日記帳

二　總勘定元帳

三　組合員名簿

四　出資臺帳（組合員名簿ト併用スルコトヲ得）

五　借入金臺帳

六　預金臺帳

七　有價證券臺帳

八　土地建物其ノ他所有物臺帳

九　貸付金臺帳

十　消耗品受拂簿

十一　組合員ノ負債償還計畫及經濟更生計畫ニ關スル帳簿

十二　組合員ノ負債條件ノ緩和協定ノ斡旋ニ關スル帳簿

十三　處務日誌

十四　其ノ他組合員ノ負債整理ニ必要ナル事業ニ關スル帳簿

第十三條　負債整理事業ヲ行フ法人ノ負債整理事業ニ關シテハ之ヲ他ノ事業ト區別シテ經理スベシ

第十四條　負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ハ組合又ハ法人ノ負債整理事業資金借入ニ因ル負債償還ノ一部ニ充ツル爲積立金ヲ積立ツベシ

前項ノ場合負債整理組合ノ積立金ニ在リテハ組合法第二十一條ノ規定ニ依リ組合員ヨリ醵出セシムベシ

第十五條　負債整理事業ヲ行フ法人ノ前條ノ規定ニ依ル積立金ノ管理ニ付テハ施行規則第十七條及第十八條ノ規定ヲ準用スベシ

第十六條　負債整理事業ヲ行フ法人第十四條ノ規定ニ依ル積立金ヲ處分セントスルトキハ施行規則第十九條ノ規定ヲ準用スベシ

第十七條　負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ハ第十四條ノ規定

（訂（静岡令二一〇號）

ニ依ル積立金ノ管理ヲ爲シタルトキハ其ノ管理ヲ證スル書面ヲ添附シ二週間内ニ知事ニ届出ヅベシ但シ有價證券ノ供託又ハ保管ノ場合ニ在リテハ證券ノ種類、記號、番號、券面金額、見積價額及枚數ヲ記載スベシ

第十八條　負債整理組合又ハ負債整理事業ヲ行フ法人ハ負債整理事業資金ノ借入ヲ爲シタル組合員ヲシテ其ノ業務及家計ニ關スル收支ニ付記帳ヲ爲サシメ之ヲ保管セシムベシ

第十九條　負債整理組合ハ毎月別記様式第二號ニ依ル事業狀況報告書ヲ作成シ翌月十日迄ニ知事及市町村長ニ提出スベシ

第二十條　施行規則第二十條ノ規定ニ依ル書類ハ別記様式第三號ニ準ジ總會ノ承認ヲ經タル日ヨリ二週間内ニ知事ニ提出スベシ

前項ノ期間ハ施行規則第二十二條第三項ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ニ付之ヲ準用ス

第二十一條　負債整理組合ハ事業年度ニ從ヒ三月毎ニ別記様式第四號ニ準ズル試算表及様式第五號ニ準ズル整理狀況報告書ヲ翌月十五日迄ニ知事ニ提出スベシ

前項ノ試算表ニハ組合員ノ現在數ヲ附記スベシ

第二十二條　監事ハ少クトモ隔月毎ニ監査ヲ爲シ其ノ狀況ヲ監査簿ニ記入シ之ニ署名又ハ記名捺印スベシ

監事ハ毎年六月末日現在ニ付監査ヲ爲シタル狀況ヲ別記様式第六號ニ依リ翌月十五日迄ニ知事ニ報告スベシ

第二十三條　常時事業執行ニ當ルベキ理事更迭ノ場合ニ於ケル事務ノ引繼ハ監事立會ノ上之ヲ行フベシ

前項ノ引繼ヲ了シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ知事ニ報告スベシ

第二十四條　負債整理組合ノ書類ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ編綴スベシ

一　規約、諸規程及例規書類
二　總會及役員會ノ決議錄及關係書類
三　財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ニ關スル書類
四　試算表
五　監督官廳ニ對スル申請、報告、届出、官廳ヨリノ命令、通達等ニ關スル書類
六　誓約書
七　負債整理申込書
八　指示簿
九　監査簿
十　登記ニ關スル書類
十一　組合加入脫退ニ關スル書類
十二　證還書類
十三　其ノ他必要ナル書類

第二十五條　負債整理組合ハ事業執行細則其ノ他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク其ノ謄本ヲ添ヘ知事ニ届出ヅベシ改廢シタルトキ亦同シ

第二十六條　第十條乃至第十二條、第十九條、第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十四條及第二十五條ノ規定ハ負債整理事業ヲ行フ法人ノ負債整理事業ニ付之ヲ準用ス

第二十七條　負債整理組合ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク之ヲ知事ニ報告スベシ

一　訴訟、和解及裁判ノ確定アリタルトキ
二　破産宣告ノ請求ヲ爲シ又ハ請求ヲ受ケタルトキ
三　經營上重大ナル支障トナルベキ事故ノ發生シタルトキ

前項第一號ニ付訴訟當事者ノ一方カ理事ナルトキハ其ノ報告ハ監事之ヲ爲スベシ

様式第一號

負債整理事業計畫書

一　負債整理年度割計畫

年度＼種類	整理世帶數	負債額	負債整理事業資金所要額	備考
年度				
年度				
計				

二　負債整理方策
(一)負債償還計畫ノ樹立方針
(二)經濟更生計畫ノ樹立方針
(三)條件緩和ノ方針
(四)負債償還計畫及經濟更生計畫ノ實行ノ指導督勵ノ方針
(五)其ノ他負債整理ニ必要ナル方策

三　負債整理事業資金

第十編　産業　第七章　産業組合、負債整理組合

訂〔靜岡令二一〇號〕

第二十八條　負債整理組合ノ事務所ニハ之ヲ表示スベキ標札ヲ掲ゲベシ

第二十九條　負債整理組合ガ提出スル規約及原簿ハ强靱ナル美濃判用紙ヲ用フベシ

第三十條　本則ニ依リ提出スル書類ハ市町村長ヲ經由スベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

訂〔靜岡令二一〇號〕

（一）調達計畫
（二）貸付方針
（三）貸付金回收方法

附屬書類

一　地區內一般狀況
（一）世帶數（別表樣式參照）
（二）資産負債ノ狀況（別表樣式參照）
（三）産業及經濟ノ狀況
（イ）主要生産物ノ生産及販賣狀況
（ロ）産業以外ノ收入狀況
（ハ）經濟用品及經營用品ノ購入狀況
（ニ）公租公課ノ負擔狀況
（ホ）其ノ他
（四）産業組合、漁業組合、農事實行組合、養蠶實行組合ノ有無及加入狀況

二　組合員狀況（別表樣式參照）

三　組合費ノ分賦又ハ出資ニ關スル事項
（一）組合費ノ分賦
（二）出　資
（イ）出資總額
（ロ）保證金總額

四　組合員ノ醵出スル負債償還積立金ノ醵出方法及金額

五　收支概算
（一）收　入　　（二）支　出

（イ）組合費
（ロ）借入金
（ハ）貸付金利息
（ニ）負債償還積立金
（ホ）貸付償還金
（ヘ）預金利息
（ト）其ノ他

（イ）借入金利息
（ロ）貸付金
（ハ）借入金返還
（ニ）諸手數料
（ホ）諸給料
（ヘ）其ノ他

備考　收支概算ノ作成ハ設立後三年間トシ諸給料ハ其ノ內譯ヲ記載スルコト

別表樣式

			部落內總世帶數	組合員	要整理組合員
總數					
職業別	地主				
	農業	自作			
		自作兼小作			
		小作			
	林業				
	漁業				
	商業				
	工業				
	其ノ他				

産					負																
備考　戸數ヲ朱字ヲ以テ併記スルコト	その他の資産見積額	貯金、有価證券	山林	畑	田	三千圓以上		三千圓未滿		二千圓未滿		千圓未滿		五百圓未滿							
						金額	世帶數	金額	世帶數	金額	世帶數	金額	世帶數	金額	世帶數						
	圓	圓	町	町	町	圓		圓		圓		圓		圓							

様式第二號

毎月事業狀況報告書　　昭和　年　月分

	常月中			月以來累計		
	組合員數	件數	金額	組合員數	件數	金額
一、負債整理ノ申出ヲ受ケタルモノ			圓			圓
二、猶ホ清算ヲ結了セサル場合ニ於ケル負債總計						
三、負債整理ノ斡旋ヲ爲シタル件數及ニ和解ノ成立シタルモノトノ協定						
四、前項ノ協定成立シタルモノ						
五、協定不成立ニ終リタルモノ						
六、町村負債整理委員會ニ斡旋ノ請求ヲシタルモノ						
七、貸付ヲ爲シタルモノ						
八、貸付金ノ償還ヲ受ケタルモノ						

様式第三號

財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案

甲　財産目錄様式

貸付金	種目	摘要	金額
件數	資産		圓

種目	摘要	金額
預金	種類及各金額	
有價證券	種類及各金額	
什器	種類及各點數	
貸付金未收利息		
何々		
現金		
合計		

負債

種目	摘要	金額
借入金	特融金 其ノ他ノ資金	圓
未拂利息		
何々		
合計		

差引

（注意） 保證責任ノ組合ニアリテハ資産ノ種目ノ第一欄ニ拂込未濟出資金ヲ同摘要欄ニ口數ヲ同金額欄ニ金額ヲ記載スルコト

訂〔静岡令二一〇號〕

乙 貸借對照表様式

貸方 種目	貸方 金額	借方 種目	借方 金額
貸付金	圓	負債償還積立金	圓
預金		損失補塡積立金	
有價證券		借入金	
什器		未拂利息	
貸付金未收利息		貸付金未收利息見返	
何々		何々	
現金		本年度剩餘金	
（本年度損失金）			
合計		合計	

訂〔静岡令二一〇號〕

（注意） 保證責任ノ組合ニアリテハ貸方ノ第一欄ニ拂込未濟出資金ヲ借方ノ第一欄ニ出資金ヲ記載スルコト

丙 事業報告書

一 組合員數及出資口數

出資一口ノ金額 圓、 保證金總額 圓

職業別／區別	前年度末現在 組合員數	前年度末現在 出資口數	本年度內異動 加入員數	本年度內異動 脫退員數	本年度末現在 組合員數	本年度末現在 出資口數
農業	人	口	人	人	人	口

林業						
漁業						
商工業						
其他						
合計						

（注意）保證責任組合ノ保證金額ガ出資一口ニ付均一ナラザルトキハ其ノ概略ヲ附記スルコト

二　出資ノ拂込又ハ組合費ノ分擔

（一）出資ノ拂込

前年度末現在	本年度内拂込	本年度内減少	本年度末現在
圓	圓	圓	圓

（注意）出資ノ未納額アラバ本年度拂込欄ニ併記スルコト

（二）組合費納入狀況

本年度組合費		組合費累計	
總額	納入額	總額	納入額
圓	圓	圓	圓

（注意）一、未納額アラバ納入額欄ニ併記スルコト

二、保證責任ノ組合ハ（一）ニ無限責任組合ハ（二）ニ依リ記載ノコト

三　借入金

（一）借入金及其ノ償還

資金種別＼區別	前年度末現在		本年度内借入		本年度内償還		本年度末現在	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
特融資金	件	圓	件	圓	件	圓	件	圓
其他資金								
計								

（二）借入金利率

	利率
最高	割
最低	
普通	

四　負債整理ノ申出ヲ爲シタル組合員數並其ノ負債ノ件數及金額

職業別＼區別	組合員數		負債件數		負債金額	
	本年度分	累計	本年度分	累計	本年度分	累計
農業	人	人	件	件	圓	圓
林業						

訂〔靜岡令二一〇號〕

漁業							
商工業							
其他							
計							

（注意）農村負債整理組合法施行規則第二條ニ基キ申出アリタル負債ニ付記入スルコト

五　負債整理ニ關スル協定ノ斡旋ノ件數及金額

		員數	件數	金額
前年度ヨリ繰越	未著手	人	件	圓
	未解決			
本年度著手				
同協定成立				
同協定不成立				
翌年度ニ繰越	未著手			
	未解決			

六　市町村負債整理委員會ニ斡旋ヲ請求シタル件數、員數及金額

	員數	件數	金額
斡旋請求	人	件	圓

訂〔帮岡令二一〇號〕

協定成立			
協定不成立			
未解決			

七　貸付金

（一）年度末現在職業別貸付金

項目＼區別	農業		林業		漁業		其商工他業		計	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
貸付額	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓	人	圓
本年度償還額										
本年度延滯額										

（二）用途別

用途別＼區別	前年度末現在		本年度貸付		本年度償還		本年度末現在	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
負債償還資金	件	圓	件	圓	件	圓	件	圓
土地購入資金								
其他								
計								

（注意）土地購入資金ニ付テハ貸付ゲル員數、件數、金額及購入土地面積ヲ自作田畑及自家用宅地別ニ付記スルコト

（三）擔保別貸付金額

擔保種類＼區別	前年度末現在		本年度貸付		本年度償還		本年度末現在	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
保證貸付	件	圓	件	圓	件	圓	件	圓
擔保貸付								
計								

（四）年度内貸付金利率

	利率	
最高	割	
最低		
普通		

八　損益計算

利益			損失		
種目	金額		種目	金額	
組合費	圓		借入金利息	圓	
貸付金利息			諸給料		

訂〔靜岡令二一〇號〕

預金利息			消耗品費		
有價證券利息			旅費		
手數料			通信費		
何々			何々		
雜收入			何々消却費		
小計			小計		
			（繰越損失金）		
合計			合計		
差引剩餘金					

九　各種積立金

	前年度末現在		本年度積立		本年度處分		本年度末現在	
負債償還積立金	圓		圓		圓		圓	
損失補塡積立金								
計								

（注意）處分ニ付テハ其ノ理由ヲ記載スルコト

十　總會決議

總會ノ種類、開會ノ時期、借入金及貸付金ノ最高限度其ノ他一切ノ決議ノ要領ヲ記載スルコト

十一　事業ノ狀況及處務ノ要件

訂〔靜岡令二一〇號〕

（一）事業ノ狀況

負債償還計畫及經濟更生計畫ノ樹立、負債條件緩和ニ關スル協定ノ斡旋、負債整理事業資金ノ貸付、農村負債整理組合法第十一條第二項ノ貸付、貸付金ノ回收、借入金ノ償還、負債償還計畫及經濟更生計畫ノ指導督勵、其ノ他ノ事業等ノ狀況ヲ記載スルコト

事業ノ狀況附屬表ノ一

		本年度員數	員數累計
負債整理ノ申出受理			
負債償還計畫及經濟更生計畫ノ確立	組合ニ於テ計畫ノ確立シタルモノ		
	委員會ノ斡旋ヲ要シタルモノ		
	金錢債務臨時調停法ニヨリタルモノ		
	計		

同　附屬表ノ二

		本年度末現在員數	備考
負債整理完成シタルモノ	當初計畫ニ基キ完成シタルモノ		
	中途計畫ヲ變更シテ完成シタルモノ		
	計		
負債整理進行中ノモノ	當初計畫ニ基キ進行中ノモノ		
	中途計畫ヲ變更シテ進行中ノモノ		
	計		
負債整理中途挫折ニ至リタルモノ	進行中ニシテ完成ノ見込ナキモノ		
	同完成ノ見込アルモノ		
	計		

訂〔稱岡令二一〇號〕

（注意）本年度内ニ完成シタルモノ及中途挫折スルニ至リタルモノノ數ハ備考欄ニ記入スベシ

（二）處務ノ要件

官廳ヘノ申請、報告屆出、官廳ノ檢査、命令登記其ノ他處務ニ關スル重要ナル事項ヲ記載スルコト

剩餘金處分案

一金　何　圓　本年度總益金

一金　何　圓　本年度總損金

差引

一金　何　圓　本年度剩餘金

此處分

一金　何　圓　損失補塡積立金

樣式第四號

一　無限責任何々負債整理組合試算表　（昭和　年　月　日現在）

貸方		借方	
種目	金額	種目	金額
貸付金	圓	負債償還積立金	圓

訂〔稱岡令二一〇號〕

種目	金額
内譯　負債整理資金貸付	
内譯　土地購入資金貸付	
預金	
有價證券	
貸付金未收利息	
何々	
何々	
借入金利息	
諸給料	
旅費	
消耗品費	
通信費	
何々	
現金	
計	

種目	金額
損失補塡積立金	
借入金	
内譯　特別融通資金	
内譯　其ノ他ノ資金	
未拂利息	
貸付金未收利息見返	
何々	
組合費	
貸付金利息	
預金利息	
有價證券利息	
何々	
何々	
雜收入	
計	

二　保證責任何々負債整理組合試算表

（昭和　年　月　日現在）

訂〔靜岡令二一〇號〕

貸方

種目	金額
拂込未濟出資金	圓
貸付金	
内譯　負債整理資金貸付	
内譯　土地購入資金貸付	
預金	
有價證券	
貸付金未收利息	
何々	
何々	
何々	
借入金利息	
諸給料	
旅費	
消耗品費	
通信費	

借方

種目	金額
出資金	圓
負債償還積立金	
損失補塡積立金	
借入金	
内譯　特別融通資金	
内譯　其ノ他ノ資金	
未拂利息	
貸付金未收利息見返	
何々	
何々	
貸付金利息	
預金利息	
有價證券利息	
何々	
何々	

訂〔靜岡令二一〇號〕

何々			現金	計
雑收入				計

様式第五號

整理狀況報告書

一　負債整理ノ申出ヲ爲シタル組合員數竝其ノ負債ノ件數及金額

區別＼職業別	組合員數 本年内分	組合員數 累計	負債件數 本年内分	負債件數 累計	負債件數 計	負債金額 本年内分	負債金額 累計	負債金額 計
農業	人	人	件	件		圓	圓	
林業								
漁業								
商工業								
其他								
計								

（注意）

一　本年度内分欄ニハ年度初メヨリノ分ヲ記載スルコト

二　累計欄ニハ組合事業開始後ノ合計ヲ記入スルコト

三　職業數種ヲ兼ヌルモノニ付テハ其ノ主トスル職業ノ欄ニ記入スルコト

四　本表ハ農村負債整理組合法施行規則第二條ニ基キ申出アリタル負債ニ付記入スルコト

二　負債整理ニ關スル協定ノ件數及金額

		員數	件數	金額
前年度ヨリ繰越	未著手	人	件	圓
	未解決			
本年内著手				
同協定成立				
同協定不成立				
未著手				
未解決				

（注意）市町村負債整理委員會ニ斡旋ヲ請求シタルモノニ付テモ該當欄ニ含メ記載スルコト

三　市町村負債整理委員ニ斡旋ヲ請求シタル件數員數及金額

	員數	件數	金額
前年度末現在未解決	人	件	圓
本年度内斡旋請求			
同協定成立			

同協定不成立				
未解決				

四　負債整理資金貸付及償還

用途別＼區別	本年度内貸付		本年度内償還	
	件數	金額	件數	金額
負債整理償還資金	件	圓	件	圓
土地購入資金				

（注意）年度ノ初メヨリノ累計ヲ記入スルコト

様式第六號

監査狀況報告書

一　各勘定科目殘高調

科目	元帳殘高	補助簿又ハ照査憑書類ニ依ル金額	摘要
	圓	圓	

二　預金

訂〔靜岡令二一〇號〕

預入金	種類	金額	利率	摘要
		圓		

三　有價證券

種類	券面金額	現在見積額	利率	摘要
	圓	圓		

四　借入金

借入先	種類	金額	利率	摘要
		圓		

五　償還滯リ貸付金

償還年度別	件數	金額	摘要
	件	圓	

六　監査ノ結果整理ヲ要スベキ事項及之ニ對スル意見ノ大要

訂〔靜岡令二一〇號〕

●負債整理組合規約例

（靜岡縣告示第千十六號（昭和八年十一月四日）

負債整理組合規約例左ノ通定ム

負債整理組合規約例

負債整理組合規約ニ關スル注意

一、規約ハ組合ノ事務所ニ備付ケルモノヽ、縣廳ヨ提出スルモノヽ、登記所ニ提出スルモノヽ各一通ヲ要スルヲ以テ所要數丈ケ同時ニ作成スルヲ便宜トスルコト

二、規約ノ末尾ニハ設立者全員署名又ハ記名捺印ヲ要スルヲ以テ前號ノ規約各通ハ申請書ト同時ニ設立者ノ捺印ヲ求ムルヲ可トスルコト

三、規約ハ美濃例用紙ヲ用ヒ各葉ノ綴目ニ代表者ノ契印ヲ押捺スベキコト

四、規約ニハ誤字、略字等ナキ樣注意シ若シ訂正シタルトキハ其ノ旨欄外ニ記載シ少クトモ設立者ノ一人證印ヲ爲シ置クコト

五、規約ノ記載ハ項ト號トヲ能ク區別シ但書ハ必ズ本文ニ連續セシムルコト

六、規約ニハ三錢ノ收入印紙貼用ノ上代表者消印スルコト

無限責任何々負債整理組合規約例

第一章　總則

第一條　組合ハ組合員ノ經濟更生ヲ圖ル爲隣保共助ノ精神ニ則リ組合員ヲシテ其ノ負債ノ整理ヲ爲サシムルコトヲ目的トス

第二條　組合ハ無限責任何々負債整理組合ト稱ス

第三條　組合ノ組織ハ無限責任トス

第四條　組合ノ地區ハ何郡町村何々ノ區域ニ依ル

第五條　組合ノ事務所ノ所在地ハ靜岡縣何郡何町村トス

第六條　組合ノ公告ハ組合ノ揭示場ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第二章　事業

第七條　組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一　組合員ノ負債償還計畫及經濟更生計畫ノ樹立

二　債務者タル組合員及其ノ債權者間ニ於ケル負債ノ金額、利率、償還期限、償還方法其ノ他ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ノ斡旋

三　組合員ニ對スル負債整理資金ノ貸付

四　前各號ニ揭グルモノノ外組合員ノ負債整理ニ必要ナル事業

五　農村負債整理組合法第十一條第二項ノ規定ニ依ル貸付

第八條　負債整理資金ノ貸付ハ資金ノ借入ヲ爲ス組合員ニ相當ノ擔保物アルトキハ之ヲ徵シ然ラザルトキハ個人保證ヲ徵シ之ヲ爲スモノトス

第九條　組合ノ貸付金ノ利率ハ年何分以內トス

貸付金ノ辨濟ヲ怠リタル場合ニ於ケル遲延利息ハ百圓ニ付日步何錢以內トス

（注意）貸付金ノ利率ハ組合經費及借入金ノ利率等ノ關係ニ依リ決定サルベキモ可及的低利トシ本貸付ノ趣旨ニ反セザル樣留意スルコト

第十條　理事ハ負債整理ヲ爲シタル組合員ヲシテ敎支ノ記帳ヲ勵行セシメ常時其ノ業務ノ經營及家計ノ狀況ヲ調査シ負債償還計畫及經濟更生計畫ノ實行ニ付指導督勵ヲ爲スモノトス

第十一條　事業施行ニ關スル細則ハ總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

（靜岡令二一〇號）

第十二條　組合ノ事業年度ハ每年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三章　機關

第十三條　組合ニハ理事何名監事何名ヲ置ク

理事ハ組合長一名ヲ互選ス

組合長ハ組合事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス

理事ハ組合ノ特定ノ常務ニ付組合長ニ一任スルコトヲ得

組合長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代表者一名ヲ定ム

組合長又ハ前項ノ代表理事ニ非ザル理事ハ組合ヲ代表スルコトヲ得ズ

第十四條　理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ゲズ

補闕選擧ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス理事及監事ハ期間滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄仍其ノ任ニ在ルモノトス

第十五條　辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生ジタルトキハ通常總會ノ時期迄猶豫スルコト能ハザル場合ニ限リ臨時總會ヲ招集シ補闕選擧ヲ爲スモノトス

總會ガ理事又ハ監事ノ僻任ヲ決議シタルトキハ同時ニ補闕選擧ヲ爲スコトヲ要ス

第十六條　組合員ハ正當ノ事由ナクシテ理事又ハ監事タルコトヲ辭スルヲ得ズ

第十七條　理事及監事ハ名譽職トシ報酬ヲ支給セズ但シ總會ノ定ムル所ニ依リ實費辨償ノ外手當ヲ支給スルハ此ノ限ニ在ラズ

第十章　產業　第七章　產業組合、負債整理組合

第十八條　通常總會ハ每年一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一　理事ガ必要ト認メタルトキ

二　監事ガ財產ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必要ト認メタルトキ

三　組合員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

四　理事ノ闕タルトキ

第十九條　總會ヲ招集セントスルトキハ其ノ會日ヨリ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ各組合員ニ對シ通知ヲ發スルコトヲ要ス

前項ノ書面ニハ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ記載シ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十條　總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非ザレバ開會スルコトヲ得ズ

理事者若ハ監事ノ選任又ハ解任、規約ノ變更、組合員ノ除名、解散ノ決議ハ總組合員ノ三分ノ二以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第二十一條　總會ハ豫メ組合員ニ通知シタル事項ノ外決議ヲ爲スコトヲ得ズ但シ緊急輕微ノ事項ニシテ出席組合員ノ半數以上ノ同意アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十二條　總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル

組合長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多

（靜岡令二一〇號）

數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席組合員中ヨリ議長ヲ互選スルコトヲ得

第二十三條　組合員ハ三人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ズ

第二十四條　總會ニ於テハ決議錄ヲ作リ會議ノ顚末、總組合員數及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議錄ニハ議長及議長ノ指定シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十五條　總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第四章　經理

第二十六條　組合ノ每年ノ經費ノ豫定及組合費ノ分擔ハ總會ノ決議ヲ經テ理事之ヲ定ム

第二十七條　組合ノ每年度ノ剩餘金ハ損失補塡積立金トシテ之ヲ積立ツルモノトス

前項ノ積立金ハ損失ヲ補塡スル場合ノ外之ヲ處分スルコトヲ得ズ

第二十八條　組合ノ餘裕金ハ郵便預金又ハ何々信用組合ヘノ貯金トシテ之ヲ管理スルモノトス

第二十九條　組合員ノ損失分擔ノ割合ハ平等トス脫退シタル組合員ノ損失分擔ノ割合亦同ジ

第三十條　組合員ハ組合ノ負債償還ヲ目的トスル積立金ノ醵出ヲ爲スモノトス

前項ノ積立金ノ醵出ハ總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第三十一條　前條ノ積立金ノ管理及處分ハ農村負債整理組合法其ノ他命

令ノ定ムル所ニ依ル

第三十二條　組合ハ組合費ノ分擔、組合ノ負債償還ヲ目的トスル積立金ノ醵出又ハ組合ノ損失ノ分擔ヲ怠リタル組合員ニ對シ總會ノ議決ヲ以テ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ徵スルコトヲ得負債整理ノ申出ヲ爲ス際ニ爲シタル誓約ニ違背シタル組合員ニ付亦同ジ

第五章　加入及脫退

第三十三條　組合ニ加入セントスル者アルトキハ理事其ノ加入申込書ヲ徵スベシ

理事前項ノ加入申込書ヲ受理シタル場合ニ於テハ總組合員ニ對シ其ノ加入異議アラバ二週間以內ニ之ヲ述ブベキ旨ヲ催告シ其ノ期間內ニ異議ヲ述ブル者ナキトキ加入ノ承諾ヲ爲スモノトス

第三十四條　死亡ニ因リテ脫退シタル組合員ノ家督相續人ガ相續開始後遲滯ナク加入ノ申込ヲ爲シタルトキハ理事遲滯ナク各組合員ノ意見ヲ徵シ總組合員ノ過半數ノ同意ヲ以テ加入ノ承諾ヲ爲スモノトス

第三十五條　組合員ハ總組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ年度末ニ於テ脫退スルコトヲ得

組合員脫退ノ通告ヲ爲サントスルトキハ少クトモ年度末ヨリ三箇月前ニ其ノ旨ヲ記載シタル書面ヲ理事ニ提出スベシ但シ負債整理ヲ爲シタル組合員ハ脫退ノ通告ヲ爲スコトヲ得ズ

第三十六條　脫退シタル組合員ハ脫退當時ニ於テ組合ニ損失アルトキハ其ノ負擔ニ歸スベキモノヲ組合ニ拂込ムベシ但シ死亡ニ因リテ脫退シタル組合員ノ家督相續人ガ相續開始後遲滯ナク組合ニ加入シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十七條　組合ハ組合員ガ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキニ限リ除名スルコトヲ得

一　組合費ノ分擔、組合ノ負債償還ヲ目的トスル積立金ノ醵出又ハ組合ノ損失ノ分擔ヲ怠リタルトキ

二　負債整理ノ申出ニ際シ爲シタル誓約ニ違背シタルトキ

三　組合ノ事業ヲ妨ゲ又ハ組合ニ對シ不正ノ行爲ヲ爲シタルトキ

四　犯罪其ノ他ノ所爲ニ因リ信用ヲ失ヒタルトキ

第六章　解散

第三十八條　組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人トナル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第三十九條　組合ニ殘餘財產アル場合之カ處分ハ總會ニ於テ決ス

第七章　附則

第四十條　組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事	何	某
理事	何	某
理事	何	某
監事	何	某
監事	何	某

昭和何年何月何日本規約ヲ作成ス

右設立者

靜岡縣何郡町何何番地

何　某印

保證責任何々負債整理組合規約例

（以下設立者全員署名又ハ記名捺印）

第一章　總則

第一條　組合ハ組合員ノ經濟更生ヲ圖ル爲隣保共助ノ精神ニ則リ組合員ヲシテ其ノ負債ノ整理ヲ爲サシムルコトヲ目的トス

第二條　組合ハ保證責任何々負債整理組合ト稱ス

第三條　組合ノ組織ハ保證責任トス

組合ノ出資一口ノ金額ハ金何圓トス

組合員ノ保證金額ハ出資一口ニ付其ノ金額ノ何倍ニ相當スル金額トス

（注意）

一　出資一口ノ金額ハ特別ノ事情ナキ限リ五十圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

二　出資一口ノ金額ハ十圓ヲ下ルコトヲ得ズ

三　組合員ノ保證金額ハ其ノ出資額ノ五倍ニ相當スル金額ヲ下ルコトヲ得ズ

第四條　組合ノ地區ハ何郡何町村何々ノ區域ニ依ル

第五條　組合ノ事務所ノ所在地ハ靜岡縣何郡何町村トス

第六條　組合ノ公告ハ組合ノ揭示場ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第二章　事業

第七條　組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一　組合員ノ負債償還計畫及經濟更生計畫ノ樹立

二　債務者タル組合員及其ノ債權者間ニ於ケル負債ノ金額、利率、償還期限、償還方法其ノ他ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ノ斡旋

三　組合員ニ對スル負債整理資金ノ貸付
四　前各號ニ揭グルモノノ外組合員ノ負債整理ニ必要ナル事業
五　農村負債整理組合法第十一條第二項ノ規定ニ依ル貸付

第八條　負債整理資金ノ貸付ハ資金ノ借入ヲ爲ス組合員ニ相當ノ擔保物アルトキハ之ヲ徵シ然ラザルトキハ個人保證ヲ徵シテ之ヲ爲スモノトス

第九條　組合ノ貸付金ノ利率ハ年何分以内トス
貸付金ノ辨濟ヲ怠リタル場合ニ於ケル遲延利息ハ百圓ニ付日歩何錢以内トス
（注意）貸付金ノ利率ハ組合經費及借入金ノ利率等ノ關係ニ依リ決定サルベキモ可及的低利トシ本貸付ノ趣旨ニ反セザル樣留意スルコト

第十條　理事ハ負債整理ヲ爲シタル組合員ヲシテ收支ノ記帳ヲ勵行セシメ常時其ノ業務ノ經營及家計ノ狀況ヲ調査シ負債償還計畫及經濟更生計畫ノ實行ニ付指導督勵ヲ爲スモノトス

第十一條　事業施行ニ關スル細則ハ總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第十二條　組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三章　機關

第十三條　組合ニハ理事何名監事何名ヲ置ク
理事ハ組合長一名ヲ互選ス
組合長ハ組合事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス
理事ハ組合ノ特定ノ常務ニ付組合長ニ一任スルコトヲ得

第十四條　理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ゲズ
補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス
理事及監事ハ期間滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄仍其ノ任ニ在ルモノトス

第十五條　辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生ジタルトキハ通常總會ノ時期迄猶豫スルコト能ハザル場合ニ限リ臨時總會ヲ招集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス
總會ガ理事又ハ監事ノ解任ヲ決議シタルトキハ同時ニ補闕選舉ヲ爲スモノトス

第十六條　組合員ハ正當ノ事由ナクシテ理事又ハ監事タルコトヲ辭スルヲ得ズ

第十七條　理事及監事ハ名譽職トシ報酬ヲ支給セズ但シ總會ノ定ムル所ニ依リ實費辨償ノ外手當ヲ支給スルハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條　通常總會ハ毎年一月之ヲ開ク
臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク
一　理事ガ必要ト認メタルトキ
二　監事ガ財產ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必要ト認メタルトキ
三　組合員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

訂（靜岡令二一〇號）

四　理事ハ組合ノ業務ヲ執行シ組合ヲ代表ス

第十九條　總會ヲ招集セムトスルトキハ其ノ會日ヨリ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ各組合員ニ對シ通知ヲ發スルコトヲ要ス
前項ノ書面ニハ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ記載シ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十條　總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非ザレバ開會スルコトヲ得ズ理事若ハ監事ノ選任又ハ解任、規約ノ變更、組合員ノ除名、解散ノ決議ハ總組合員ノ三分ノ二以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第二十一條　總會ハ豫メ組合員ニ通知シタル事項ノ外決議ヲ爲スコトヲ得ズ但シ緊急輕微ノ事項ニシテ出席組合員ノ半數以上ノ同意アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十二條　總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル
組合長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ之ヲ定ム
監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依リ之ヲ定ム
總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席組合員中ヨリ議長ヲ互選スルコトヲ得

第二十三條　組合員ハ三人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ズ

第二十四條　總會ニ於テハ決議錄ヲ作リ會議ノ顚末、總組合員數及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス
決議錄ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第十編　産業　第七章　産業組合、負債整理組合

第二十五條　總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第四章　經理

第二十六條　組合ノ出資ハ十箇年以内ニ其ノ全額ヲ拂込ムモノトス
出資ノ第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金何圓トス
第一回後ニ於ケル出資ノ拂込ハ總會ノ決議ヲ經テ理事之ヲ定ム
（注意）出資第一回ノ拂込金額ハ出資一口金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ズ

第二十七條　組合ノ每年度ノ剩餘金ハ損失補塡積立金トシテ之ヲ積立ツルモノトス
前項ノ積立金ハ損失ヲ補塡スル場合ノ外之ヲ處分スルコトヲ得ズ

第二十八條　組合ノ餘裕金ハ郵便貯金又ハ何々信用組合ヘノ貯金トシテ之ヲ管理スルモノトス

第二十九條　組合員ノ損失分擔ノ割合ハ保證金額ニ應ズルモノトス脫退シタル組合員ノ損失分擔ノ割合ニ付亦同ジ

第三十條　組合員ハ組合ノ負債償還ヲ目的トスル積立金ノ醵出ヲ爲スモノトス
前項ノ積立金ノ醵出ハ總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第三十一條　前條ノ積立金ノ管理及處分ハ農村負債整理組合法其ノ他命令ノ定ムル所ニ依ル

第三十二條　組合ハ出資ノ拂込、組合ノ負債償還ヲ目的トスル積立金ノ醵出又ハ組合ノ損失ノ分擔ヲ怠リタル組合員ニ對シ總會ノ議決ヲ以テ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ徵スルコトヲ得負債整理ノ申出ヲ爲ス際ニ爲シタル誓約ニ違背シタル組合員ニ付亦同ジ

訂（靜岡令二一〇號）

第五章　加入及脱退

第三十三條　組合ニ加入セムトスル者アルトキハ理事其ノ加入申込書ヲ徴スベシ

理事前項ノ加入申込書ヲ受理シタル場合ニ於テハ總組合員ノ意見ヲ徴シ總組合員ノ二分ノ一以上ノ同意アリタルトキ加入ノ承諾ヲ爲スモノトス

理事前項ノ承諾ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク出資第一回ノ拂込ヲ爲サシムモノトス

持分ノ讓受人カ組合員ニ非ザル場合ニハ出資ノ拂込ヲ爲サシメザル外第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

第三十四條　組合員ハ持分ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ズ

第三十五條　死亡ニ因リテ脱退シタル組合員ノ家督相續人カ相續開始後遲滯ナク加入ノ申込ヲ爲シタルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメザル外第三十三條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

第三十六條　組合員ハ總組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ年度末ニ於テ脱退スルコトヲ得

組合員脱退セムトスルトキハ少クトモ年度末ヨリ三箇月前ニ其ノ旨ヲ記載シタル書面ヲ理事ニ通告スベシ但シ負債整理ヲ爲シタル組合員ハ脱退ノ通告ヲ爲スコトヲ得ズ

第三十七條　脱退シタル組合員ハ脱退當時ニ於テ組合ニ損失アルトキハ其ノ負擔ニ歸スベキモノヲ組合ニ拂込ムベシ但シ死亡ニ因リテ脱退シタル組合員ノ家督相續人カ相續開始後遲滯ナク組合ニ加入シタル場合ハ此ノ限リニ在ラズ

第三十八條　組合ハ組合員カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキニ限リ除名スルコトヲ得

一　出資ノ拂込、組合ノ負債償還ヲ目的トスル積立金ノ醵出又ハ組合ノ損失ノ分擔ヲ怠リタルトキ

二　負債整理ノ申出ニ際シ爲シタル誓約ニ違背シタルトキ

三　組合ノ事業ヲ妨ゲ又ハ組合ニ對シ不正ノ行爲ヲ爲シタルトキ

四　犯罪其ノ他ノ所爲ニ因リ信用ヲ失ヒタルトキ

第六章　解散

第三十九條　組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人トナル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員中ヨリ選任スルコトヲ得

第四十條　組合ニ殘餘財産アル場合之カ處分ハ總會ニ於テ決ス

第七章　附則

第四十一條　組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事　何某
理事　何某
理事　何某
監事　何某
監事　何某

昭和何年何月何日本規約ヲ作成ス

右設立者
靜岡縣何郡何町村何番地
何某印
（以下設立者全員署名又ハ記名捺印）

訂（靜岡令二一〇號）

●負債整理組合設立ニ關スル件

（昭和八年十一月七日　内務部長通牒）

第三三七號

市町村長宛

負債整理組合ノ設立ニ付テハ相當御配意ノコトト被存候處今般縣ニ於テハ農村負債整理組合法ノ運用ノ敏速適正ヲ圖ル爲十一月四日縣令第六十二號及縣告示第一〇一六號、第一〇一七號（縣公報）ヲ以テ農村負債整理組合法施行細則及組合規約例、市町村負債整理委員會補助金交付規程ヲ公布發候條此ノ際組合設立ノ希望若ハ豫定アルモノハ左記參考ノ上先ヅ組合設立ノ準備ヲ爲サルル樣致度

追而本年度組合設立ノ希望若ハ豫定アルモノニシテ未ダ公文ヲ以テ回答ナキモノハ（九月二十八日經第一七九號通牒參照）負債整理事業資金特別融通及組合設立ニ關スル實地指導竝調査等ノ關係モ有之候條本月二十日迄ニ一應其ノ旨（組合豫定數ヲ附シ）回答相成度申添候

記

（組合設立認可申請書式）

負債整理組合設立認可申請書

今般農村負債整理組合法ニ據リ（何）責任（何）負債整理組合ヲ設立致度候條御認可相成度別書規約及關係書類相添へ此段及申請候也

年　月　日

郡（市）　町（村）　大字　番地
（持口數）　（職業）　氏　名㊞
（以下全員之ニ倣フ）

静岡縣知事　殿

訂（靜岡令二一三號）

（注意）

一、設立認可申請書ニハ設立者全員記名捺印スルコト

二、申請書ニハ規約ノ外左ノ書類ヲ添附スルコト

（一）理　由　書

（二）負債整理事業計畫書

（三）設立當時ノ理事及監事ノ經歷ノ大要及當時事業執行ニ當ルベキ理事ノ氏名

（四）加入同意者ノ職業、氏名及保證責任組合ニ在リテハ出資持口數

三、規約中左ノ各號ノ一ニ該當スル規定アルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スルコト

（一）組合區域カ郡蕃其ノ他之ニ準ズル區域ヲ超ユルトキ

（二）保證責任組合ノ出資一口金額カ五十圓ヲ超ユルトキ

（三）事業年度カ曆年ニ依ラザルトキ

四、保證責任組合ニ在リテハ設立者記名ノ上位ニ其ノ持口數ヲ記入スルコト

●負債整理組合登記申請様式ニ關スル件

經第二八號内務部長通牒（昭和九年二月二十四日）

市町村長　負債整理組合長宛

農村負債整理組合法ニ基キ負債整理組合登記申請書式ハ概ネ左記ニ依リ調製相成度

追テ右ハ靜岡地方裁判所ト打合ノ上相定メタルモノニ有之候尚未ダ負債整理組合設立ナキ市町村ニシテ將來之ガ設立ノアリタル際ハ貴職ヨリ遲滯ナク此ノ旨組合ニ示達相成度

記

負債整理組合登記申請書式

（一）負債整理組合設立登記申請（無限責任）

一　名　稱　無限責任何負債整理組合
一　事務所々在地　何郡何町（村）
一　登記ノ目的　負債整理組合設立ノ登記
一　登記ノ事由　昭和　年　月　日設立認可ヲ受ケ同年　月　日認可書到達シタルニ因ル
一　登記事項
一　名　稱　無限責任何負債整理組合
一　組　織　無限責任
一　事務所々在地　何郡何町（村）
一　目　的　組合員ノ經濟更生ヲ圖ル爲メ隣保共助ノ精神ニ則リ組合員ヲシテ其ノ負債整理ヲ爲サシムルコトヲ目的トス
一　地　區　何郡何町（村）何大字
一　設立認可ノ年月日　昭和　年　月　日
一　理事ノ住所氏名
　靜岡縣何郡何町（村）何大字何番地　何　某
　同　何　某
　同　何　某
一　監事ノ住所氏名
　靜岡縣何郡何町（村）何大字何番地　何　某
　同　何　某
一　存立ノ時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

右登記相成度申請候也

昭和　年　月　日

申請人
靜岡縣何郡何町（村）
無限責任何負債整理組合
靜岡縣何郡何町（村）何大字何番地
理事何　某印
（以下理事全員署名捺印ノコト）

何區裁判所（何出張所）御中

添附書類

一　組合規約、認可書原本又ハ其ノ認證アル謄本、別記様式ニ依ル組合原簿各一通

訂（靜岡令二一六號）

一　注意
一　申請書、添附書類ハ墨書シインキ等用ヒザルコト
二　理事全員ノ印鑑ヲ提出スルコト
三　認可書到著ノ日ヨリ二週間以内ニ登記申請スルコト

印鑑	何郡何町（村）何大字 何負債整理組合 理事何　某 年月日生
	縱　一五糎 横　三糎

（二）負債整理組合設立登記申請（保證責任）

一　名　稱　保證責任何負債整理組合
一　事務所々在地　何郡何町（村）
一　登記ノ目的　負債整理組合設立ノ登記
一　登記ノ事由　昭和　年　月　日設立ノ認可ヲ受ケ同年　月　日認可書到達シタルニ因ル
一　登記事項
一　名　稱　保證責任何負債整理組合
一　組　織　保證責任
一　事務所々在地　何郡何町（村）
一　目　的　組合員ノ經濟更生ヲ圖ル爲メ隣保共助ノ精神ニ則リ組合員ヲシテ其ノ負債ノ整理ヲ爲サシムルコトヲ目的トス
一　地　區　何郡何町（村）何大字
一　設立認可年月日　昭和　年　月　日
一　出資一口ノ金額　金　圓
一　出資拂込ノ方法
　何々
（組合ノ出資ハ十ケ年以内ニ全額ヲ拂込ムモノトス第一回後ノ出資拂込ノ方法總會ノ決議ヲ經テ理事之ヲ定ム）
一　理事ノ住所氏名
　靜岡縣何郡何町（村）大字何番地　何　某
　同　何　某
　同　何　某
一　監事ノ住所氏名
　靜岡縣何郡何町（村）大字何番地　何　某
　同　何　某
一　存立ノ時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

右登記相成度申請候也

昭和　年　月　日

申請人
何郡何町（村）
保證責任何負債整理組合

訂（靜岡令二一六號）

（注意）　強調ナル英濃紙ヲ用フルコト

（三）　負債整理組合理事住所（氏名）変更登記申請

一　名　称　何負債整理組合

一　事務所ノ在地　何郡何町（村）

一　登記ノ目的　理事監事住所（氏名）変更ノ登記

一　登記ノ事由　理事（監事）何某ノ住所（氏名）昭和　年　月　日移転（戸籍改製、改名）ニ因リ左ノ通リ変更シタルニ因ル

理事（監事）何某ノ住所（氏名）

何郡何町（村）何大字何番地（又ハ何某）

右登記相成度申請候也

昭和　年　月　日

何郡何町（村）

何負債整理組合

何郡何町（村）何大字何番地

理事　何　某　印

何区裁判所（何出張所）御中

添附書類

一　変更ヲ証スル書面（戸籍抄本）　一通

注意

一　変更シタル日ヨリ二週間以内ニ登記申請スルコト

但シ転住ハ転住ノ日、戸籍改製ハ村長家督相続届受理ノ日、改名ハ許可書到着ノ日ヨリ起算ノコト

（四）　負債整理組合理事（監事）変更登記申請

（退任ノ場合）

一　名　称　何負債整理組合

一　事務所ノ在地　何郡何町（村）

一　登記ノ目的　理事監事変更ノ登記

一　登記ノ事由　理事（監事）何某、昭和　年　月　日辞任（死亡、区域外転住）シタルニ因ル

右登記相成度申請候也

昭和　年　月　日

何郡何町（村）

何負債整理組合

何郡何町（村）何大字何番地

理事　何　某　印

何区裁判所（何出張所）御中

添附書類

一　辞任ハ辞任届、其他ハ戸籍抄本　一通

注意　退任又ハ転住ノ日ヨリ二週間以内ニ登記申請スルコト

（五）　負債整理組合理事（監事）変更登記申請

（更迭退任ノ場合）

一　名　称　何負債整理組合

一　事務所ノ在地　何郡何町（村）

一　登記ノ目的　理事（監事）変更ノ登記

一　登記ノ事由　昭和　年　月　日理事（監事）全員任期満了（何

（注意）　強調ナル英濃紙ヲ用フルコト

組合原簿様式（保証責任）

所住名氏ノ員合組保証金	額及氏名住所ノ保証金	納ル拂込ミ出資ノ額ノ	納尚口数ノ数	名組合称ノ
更変	更変			

保証責任何々（名称ノ組合）組合原簿

名氏ノ所住及員合組	名氏ノ所住及員合組	名組合称ノ
	更変	

無限責任何々（名称ノ組合）組合原簿

組合原簿様式（無限責任）

一　組合規約、認可書原本又ハ其ノ謄本、組合原簿一通

一　注意事項ハ無限責任ト同ジ

添附書類

何区裁判所（何出張所）御中

（以下理事全員署名捺印ノコト）

理事　何　某　印

何郡何町（村）何大字何番地

某辭任死亡）ニ付キ總會ノ選任ニ因リ同年
月　日左ノ者理事（監事）ニ就任シタルニ因ル
一　記載ノ事由　左記ノ者何　年　月　日加入シタルニ因ル
一　記載ノ目的　組合員ノ加入ニ因ル變更
右記載相成度申請候也
昭和　年　月　日
何郡何町（村）
無限責任何負債整理組合
何郡何町（村）何大字何番地
理事　何　某
何郡何町（村）何大字何番地
何　某
何　某
何區裁判所（何出張所）御中
添附書類
一　總會ノ決議錄　一通
一　就任承諾書　一通
注意
一　理事又ハ監事ヲ選任シタルトキハ就任ノ日ヨリ二週間以内ニ任期滿了、死亡、轉住、辭任等ノ場合ハ退任、轉住、死亡ノ日ヨリ二週間以内ニ登記申請ヲナスコト
二　新ニ理事ニ就任シタルモノハ印鑑ヲ提出スルコト

（六）　負債整理組合原簿記載變更申請（加入ノ場合）

一　名　稱　無限責任何負債整理組合
一　事務所々在地　何郡何町（村）何大字何番地
組合員　何　某　印
（以下總組合員署名捺印ノコト）
訂（靜岡令二一六號）

一　注意　同意書ハ總組合員連署ニテモ各人同意書ヲ差出サシムルモ可ナリ
總組合員ノ同意ヲ證スル書面
何郡何町（村）何大字何番地
何　某
右ノ者昭和　年　月　日加入ノ申込ヲ爲シタルヲ以テ昭和　年　月　日總組合員ニ對シ加入ニ異議アラバ昭和　年　月　日迄ニ申出ヅベキ旨催告シタルニ期日ニ至ルモ一名モ異議ヲ述ベタル者無カリシコト相違無之候
昭和　年　月　日
何郡何町（村）
無限責任何負債整理組合
監事　何　某　印

（七）　負債整理組合原簿記載事項變更申請
（住所氏名ノ變更）
一　名　稱　何責任何負債整理組合
一　事務所々在地　何郡何町（村）
一　記載ノ目的　組合原簿記載ノ變更
一　記載ノ事由　昭和　年　月　日何々ニ因リ組合員何某（住所）氏名左ノ通リ變更シタルニ因ル
何郡何町（村）何大字何番地何々ト變更
右記載相成度申請候也
昭和　年　月　日
何郡何町（村）
何責任何負債整理組合
何郡何町（村）何大字何番地
理事　何　某　印
何區裁判所（何出張所）御中
添附書類
一　總會ノ決議錄　一通
一　就任承諾書　一通
注意
一　理事又ハ監事ヲ選任シタルトキハ就任ノ日ヨリ二週間以内ニ任期滿了、死亡、轉住、辭任等ノ場合ハ退任、轉住、死亡ノ日ヨリ二週間以内ニ登記申請ヲナスコト
二　新ニ理事ニ就任シタルモノハ印鑑ヲ提出スルコト

（八）　負債整理組合原簿記載事項變更申請

一　名　稱　保證責任何負債整理組合
一　事務所々在地　何郡何町（村）
一　記載ノ目的　組合原簿記載ノ變更
一　記載ノ事由　昭和　年　月　日出資ノ總口數、拂込ミタル出資ノ總額、組合員ノ加入脫退、持分讓渡保證金額ノ變更アリタルニ因ル
一　出資總口數　何口
一　拂込ミタル出資ノ總額　何圓
一　何年何月何日何某ハ何々ニ因リ脫退ス
一　何年何月何日組合員何某ハ何某ニ持分全部ヲ讓渡シタルニ因リ脫退ス
一　何年何月何日左記ノ者何某ノ持分讓受ケニヨリ加入ス
住　所　何　某
一　保證金額ヲ別記ノ通變更ス
訂（靜岡令二一六號）

右記載相成度申請候也

昭和　年　月　日

何郡何町(村)
保證責任何負債整理組合
何郡何町(村)何大字何番地
理事何　某印

何區裁判所(何出張所)御中

添附書類

一　組合原簿(追加)一冊　變更ヲ證スル書面(死亡、區域外轉住ハ戸籍抄本、其他ノ脱退ノ場合ハ總組合員ノ三分ノ二以上ノ同意書、加入ノ場合ハ無限責任組合ニアリテハ總組合員ノ同意書、保證責任組合ニ在リテハ監事ノ證明書、除名ノ場合ハ總會ノ決議錄一通)

注意

一　變更ノ日ヨリ二週間以内ニ申請スルコト

二　別記保證金額變更ノ表示ニハ「何年何月何日何々ニヨリ」ト原因日附ヲ附シ組合員氏名毎ニ變更シタル保證金額ヲ記載スルコト

記

第一　認可申請ニ關スル書式

番號	認可申請事項	同上事由	添付書類
第一號	設立認可申請書	組合ヲ設立セムトスル場合 一般ノ場合	規約、理由書、負債整理事業計畫書 其他第一號書式注意ニ記載セル書類 理由書、總會決議錄ノ謄本
第二號	規約變更認可申請書	組織變更ノ場合	理由書、總會決議錄ノ謄本 總組合員ノ同意ヲ證スル書面
第三號	解散認可申請書	總會ノ決議ニ因ル解散ノ場合	理由書、總會決議錄ノ謄本、財産目錄、貸借對照表、其ノ他第三號書式注意ニ記載スル書類
第四號	事業計畫變更認可申請書	負債整理事業計畫ヲ變更セムトスル場合	理由書、總會決議錄謄本、財産目錄、貸借對照表事業報告書及新舊事業計畫書
第五號	事業ノ一部休止認可申請書	事業ノ一部ヲ休止セムトスル場合	右同
第六號	組合法第二條但書認可申請書	本法施行後ニ生シタル負債ヲ整理セムトスル場合	書式第六號注意ニ記載セル書類
第七號	積立金處分認可申請書	負債償還積立金ヲ處分セムトスル場合	理由書、總會決議錄ノ謄本、財産目錄、貸借對照表
第八號	特融資金貸付最高限度認可申請書	一組合員ニ對スル特融資金千圓ヲ超ユル場合	理由書、總會ノ決議錄ノ謄本其ノ他第八號書式ニ記載スル事項參照
第九號	貸付條件認可申請書	市町村カ特融規程及主務大臣ノ定メタル以外ノ貸付條件ヲ定メタル場合	理由書
第十號	資金中途返濟認可申請書	市町村カ特融債務ノ全額又ハ一部ヲ返濟セムトスル場合	理由書

訂〔靜岡令二二〇號〕

㊐負債整理組合ニ關スル認可申請書式及屆出報告書式ノ件

經第四三七號内務部長通牒(昭和九年五月十九日)

市町村長　負債整理組合長宛

農村負債整理組合法ニ依リ地方長官ニ提出スヘキ認可申請及屆出報告ニ關スル書式左記ノ通リ相定候條之カ取扱ニ關シ提出期限ノ定メアルモノニ付テハ萬遺憾ナキ樣御留意相成度

追而左記樣式中「組合法」トアルハ農村負債整理組合法ヲ謂ヒ「施行規則」トアルハ農村負債整理組合法施行規則ヲ謂ヒ「特融規程」トアルハ負債整理事業資金特別融通及損失補償規程ヲ謂ヒ「施行細則」トアルハ縣令第六十二號農村負債整理組合法施行細則ヲ謂フモノニ有之候條御了知相成度

訂〔靜岡令二二〇號〕

第一號　負債整理組合設立認可申請書

今般農村負債整理組合法ニ據リ無限(保證)責任(何)負債整理組合ヲ設立致度候條御認可相成度別冊規約及關係書類相添ヘ此段及申請候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村　大字　番地
(持口數)　職業　氏　名㊞
(以上設立者全員之ニ倣フ)

靜岡縣知事何某殿

注意

一、施行細則第二條乃至第五條參照

二、設立認可申請書ニハ設立者全員記名捺印スルコト

三、左ノ書類ヲ添付スルコト

(一)　規約　(二通)　(昭和八年十一月四日縣告示第千十六號參照)

（二）理由書（二通）（組合設立ヲ必要トスル具體的理由詳記）
（三）負債整理事業計畫書（二通）（施行細則第三條參照）
（四）設立當時ノ理事及監事ノ經歷大要及常時事業執行ニ當ルベキ理事ノ氏名

四、規約中左ノ各號ノ一ニ該當スル規定アルトキハ其ノ事由ヲ記載スルコト
（一）組合ノ區域ガ部落其ノ他之ニ準ズル區域ヲ超ユルトキ
（二）保證責任組合ノ出資一口金額ガ五拾圓ヲ超ユルトキ
（三）事業年度ガ曆年ニ依ラザルトキ

五、保證責任組合ニ在リテハ設立者記名ノ上位ニ持口數ヲ記入スルコト

六、申請書ハ必ズ市町村長ヲ經由シ市町村長ハ之ニ對スル意見（當該地區內一般及組合員ノ事情殊ニ當該農山漁村ノ經濟更生計畫樹立ノ氣運、負債整理事業計畫ノ適否）及當該市町村ニ於ケル負債整理事業資金ノ特別融通取扱見込ノ有無ヲ具シ進達スルコト

第二號　負債整理組合規約變更認可申請書

昭和何年何月何日第何回通常（臨時）總會ニ於テ別記抄本ノ通規約變更ヲ決議致候條御認可相成度別紙理由書、總會決議錄謄本（總組合員ノ同意ヲ證スル書面）相添ヘ此段及申請候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

注意

一、施行細則第六條參照
二、添附書類ハ申請書ニ掲クル書類ノ外組織變更ニ伴フ規約變更ノ場合ハ別記總組合員ノ同意ヲ證スル書面ヲモ添付スルコト（施行規則第二十七條參照）

別記

總組合員ノ同意ヲ證スル書面

本組合保證責任組織ヲ無限責任組織ニ變更ノ議ニ對シ總組合員ノ同意アリタルコト相違無之候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
監事　何　　某㊞

第三號　負債整理組合解散認可申請書

昭和何年何月何日第何回通常（臨時）總會ニ於テ本組合ノ解散ヲ決議致候ニ付御認可相成度理由書、總會ノ決議錄謄本、財產目錄、貸借對照表相添ヘ此段及申請候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

訂〔靜岡令二二〇號〕

注意

一、施行規則第二十九條施行細則第七條參照
二、添付書類ハ申請書ニ掲グル書類ノ外組合ニ於テ負債整理事業資金其ノ他ノ債務アルトキハ之カ償還計畫書ヲ添付スルコト
三、財產目錄及貸借對照表ハ決議當日ノモノナルコト
四、本申請書ニ添付スル書類ハ各二通宛トス

第四號　負債整理組合事業計畫變更認可申請書

昭和何年何月何日第何回通常（臨時）總會ニ於テ別紙ノ通事業計畫變更ノ決議致候ニ付御認可相成度理由書、總會決議錄謄本、財產目錄、貸借對照表及事業報告書相添ヘ此段及申請候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

別紙　新舊事業計畫書ヲ添付スルコト

注意

一、施行規則第二十八條、第八條參照
二、事業報告書ハ施行細則第二十條ニ定ムル樣式第三號ノ丙ニ依ルモノトス

第五號　負債整理組合事業ノ一部休止認可申請書

注意

認可申請書及添付スヘキ書類等其ノ手續ハ前記負債整理組合事業計畫變更認可申請ノ場合ト同樣ニ取計フコト

第六號　農村負債整理組合法第二條但書ノ認可申請書

昭和何年何月何日第何回通常（臨時）總會ニ於テ農村負債整理組合法第二條但書ノ負債整理認可申請ノ決議致候條御認可相成度關係書類相添ヘ此段及申請候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

注意

一、本申請ハ總會ノ決議又ハ之ニ依ル委任ニ基キ之ヲ爲スコト
二、左ノ書類ヲ添付スルコト（施行規則第五條參照）
（一）組合員ノ氏名住所職業ノ外資產負債業務ノ經營及家計ノ狀況竝ニ負債償還計畫及經濟更生計畫
（二）認可ヲ受クベキ債務ノ債權者ノ氏名住所職業ノ外其ノ債務ノ發生年月日、金額、利率、償還期限、償還方法、辨濟狀況、債務發生ノ事情其ノ他債務ノ性質ヲ知ルニ必要ナル事項
（三）認可ヲ受クヘキ債務ノ整理ヲ必要トスル理由
（四）總會ノ決議錄謄本

第七號　負債償還積立金處分認可申請書

昭和何年何月何日通常（臨時）總會ニ於テ本組合負債償還積立金ヲ別

訂〔靜岡令二二〇號〕

記ノ通處分ノ件決議致候ニ付御認可相成度理由書、總會決議錄ノ謄本、財產目錄、貸借對照表相添此段及申請候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

別記　認可申請當日ニ於ケル負債償還積立金總額　圓
內處分セムトスル額
何圓　郵便貯金
何圓　供託ノ有價證券
計何圓

注意

施行規則第十九條參照

第八號　特別融通資金一組合員千圓ヲ超ユル貸付最高限度ノ件認可申請書

負債整理事業資金特別融通及損失補償ニ關スル規程第二條第二項ノ規定ニ依リ一組合員ニ對スル特別融通資金ノ貸付最高限度左記ノ通認可相成度理由書及總會ノ決議錄ノ謄本相添ヘ此段及申請候也

記

一、一組合員ニ對スル特別融通資金貸付最高限度
　金何圓

昭和　年　月　日

何郡何市町村長　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

別記

貸付條件

何々

注意

負債整理事業資金特別融通及損失補償ニ關スル規程第九條ノ規定ニ依リ同規程及同規程ニ基キ主務大臣ノ定メタル以外ノ貸付條件（規程）ヲ定メントスルトキニ本申請書ヲ提出シ認可ヲ受クルモノトス

第十號　負債整理事業資金中途返濟ノ件認可申請書

訂（靜岡令二二〇號）

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

注意

一、認可申請書ハ組合ヨリ當該市町村長ニ申出テ市町村ヨリ縣知事ニ提出スルコト

二、理由書ニハ千圓以上融通スヘキ組合員ノ氏名住所職業及借入先別金額竝千圓以上ノ融通ヲ必要トスル特別ノ事由ヲ詳記スルコト

第九號　負債整理事業資金貸付條件認可申請書

本市町村ニ於ケル負債整理事業資金貸付條件別記ノ通相定メ候ニ付認可相成度理由書相添ヘ此段及申請候也

昭和　年　月　日

何郡何市町村長　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

別記

貸付條件

何々

注意

負債整理事業資金特別融通及損失補償ニ關スル規程第九條ノ規定ニ依リ同規程及同規程ニ基キ主務大臣ノ定メタル以外ノ貸付條件（規程）ヲ定メントスルトキニ本申請書ヲ提出シ認可ヲ受クルモノトス

第十號　負債整理事業資金中途返濟ノ件認可申請書

訂（靜岡令二二〇號）

負債整理事業資金特別融通及損失補償ニ關スル規程第十條第二項ノ規定ニ依リ左記ノ通特別融通債務ノ金額（又ハ一部）返濟セシメ度候ニ付御認可相成度理由書相添ヘ此段及申請候也

記

組合名	特別融通資金現在額	返濟セシムヘキ金額

昭和　年　月　日

何郡何市町村長　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

訂（靜岡令二二〇號）

第二　屆出、報告ニ關スル書式

屆出、報告事項一覽

番號	屆出又ハ報告事項	同上事由	添付書類	提出期限
第一號	登記完了屆	設立ノ登記及規約變更ニ基ク登記事項ノ登記ヲ了シタル場合	ナシ	登記後遲滯ナク
第二號	常任ノ理事異動屆	常時事業執行ニ當ルヘキ理事ニ異動アリタル場合	ナシ	異動後遲滯ナク
第三號	理事監事變更屆	理事監事ニ變更アリタル場合	ナシ	變更後遲滯ナク
第四號	總會開會報告	總會ヲ開會セントスル場合	ナシ	會日ヨリ少クトモ五日前ニ
第五號	總會終了報告	總會ヲ終了シタル場合	ナシ	終了後二週間以內ニ
第六號	總會遲延報告	規約所定ノ月ニ開會スルコト能ハサル場合	ナシ	遲滯ナク
第七號	總會不成立報告	總會成立セサル場合	ナシ	遲滯ナク
第八號	事業報告書不承認報告	事業報告書ノ承認ヲ經ルニ至ラサル場合	決議錄謄本	遲滯ナク
第九號	負債償還積立金管理屆	負債償還ヲ目的トスル積立金ヲ管理シタル場合	ナシ	管理後二週間以內ニ
第十號	毎月事業狀況報告	毎月作成シタル場合	管理ヲ證スル書面	毎翌月十日迄ニ

第十一號　事業報告書　通常總會ニ於テ前年度ノ事業報告書ノ承認ヲ經タル場合　承認ヲ經タル後二週間内ニ

第十二號　借入及貸付最高限度報告　總會ニ於テ借入及貸付ノ最高限度ヲ決議シタル場合　財産目錄貸借對照表事業報告書及剩餘金處分案

第十三號　特別融通資金貸付最高限度報告　總會ニ於テ特別融通資金貸付ノ最高限度ヲ決議シタル場合　遲滯ナク　決議錄謄本

第十四號　試算表報告　事業年度ニ從ヒ三月毎ニ作成シタル場合　右同　右同

第十五號　整理狀況報告　事業年度ニ從ヒ三月毎ニ作成シタル場合　整月十五日迄ニ　整理狀況報告書

第十六號　監査狀況報告　監事カ六月末現在ニツキ監査シタル場合　整月十五日迄ニ　監査狀況報告

第十七號　事務引繼終了報告　常時事業執行ニ當ルヘキ理事（組合長）ノ異動ニ伴フ事務引繼ヲ了シタル場合　遲滯ナク　監事ノ證明書

第十八號　規程制定屆　事業執行細則其ノ他重要ナル規程ヲ設ケタル場合　遲滯ナク　規程ノ謄本

第十九號　規程變更（廢止）屆　事業執行細則其ノ他重要ナル規程ヲ變更又ハ廢止シタル場合　遲滯ナク　規程ノ謄本（變更ノ場合）

第二十號　訴訟事件報告　訴訟當事者トナリタルトキ及其ノ和解竝裁判ノ確定シタル場合　遲滯ナク　ナシ

第二十一號　破産宣告請求報告　破産宣告ノ請求ヲ爲シ又ハ破産宣告ノ請求ヲ受ケタル場合　遲滯ナク　ナシ

第二十二號　事故發生報告　經營上重大ナル支障トナルヘキ事故ノ發生シタル場合　遲滯ナク　ナシ

第二十三號　委員會ノ事業成績報告書　毎年度中ノ負債整理委員會事業成績ヲ作成シタル場合　六月十日迄ニ　事業成績報告書

訂（靜岡令二一〇號）

第一號　負債整理組合設立登記完了屆

本組合ハ昭和何年何月何日設立ノ認可ヲ得候處何年何月何日其ノ登記ヲ了シ候ニ付此段及御屆候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　某㊞

靜岡縣知事何某殿

注意

一、施行細則第九條參照

二、登記完了後遲滯ナク屆出ツルコト

三、保證責任組合ニ在リテハ拂込ミタル出資ノ總額及保證金額ヲ追書スルコト

四、規約變更ニ基ク登記事項ニ付登記ヲ了シタルトキモ右書式ニ準シ登記事項ヲ追書シテ屆出ツルコト

第二號　負債整理組合常任ノ理事異動屆

本組合ノ常時事業執行ニ當ル理事左記ノ通異動有之候ニ付此段及御屆候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　某㊞

靜岡縣知事何某殿

記

舊組合長（又ハ何々）　何　某
新組合長（又ハ何々）　何　某

注意

一、施行細則第九條ニ依リ異動アリタルトキ遲滯ナク報告スルコト

二、新任ト重任トヲ問ハス屆出ツルコト

第三號　負債整理組合理事（監事）變更屆

本組合理事（監事）ニ左記ノ通變更有之候ニ付此段及御屆候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　某㊞

靜岡縣知事何某殿

記

一、變更ノ事由（何々）

二、變更ノ年月日

三、理事（監事）ノ氏名及住所

注意

一、施行規則第二十五條ニ依リ變更アリタルトキハ遲滯ナク屆出ツルコト

二、新任ト重任トヲ問ハス屆出ツルコト

第四號　負債整理組合總會開會報告

本組合第何回通常（臨時）總會ヲ左記ニ依リ開會可致候ニ付此段及報

訂（靜岡令二一〇號）

告候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

記

一、開會ノ日時
二、場　所
三、附議事項
（何々）

注　意

一、附議事項中規約變更ニ付テハ變更ノ内容ヲ知リ得ル樣記載スルコト
二、施行細則第十條ニヨリ總會ノ會日ヨリ少クトモ五日前ニ報告スルコト
三、左記各號ノ場合ニハ招集ノ事由ヲ附記スルコト
イ、組合員ノ請求ニ依リ招集セムトスルトキ
ロ、監事カ招集セムトスルトキ

第五號　負債整理組合總會終了報告

本組合第何回通常（臨時）總會何月何日終了致シ候ニ付決議錄謄本相添ヘ此段及報告候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第十條第二項ニ依リ總會終了後二週間内ニ報告スルコト
二、總會決議錄ニ記載スヘキ事項ハ施行細則第十一條ノ定ムル處ニ依ルコト

第六號　負債整理組合總會遲延報告

本組合通常總會ヲ一月中ニ開會可致候處左記事由ニ依リ何月迄開會延期致候ニ付此段及報告候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

記

總會遲延事由
（何々）

注　意

施行細則第十條第三項ニ依リ遲滯ナク報告スルコト

第七號　負債整理組合總會不成立報告

訂〔靜岡令二二〇號〕

本組合第何回通常（臨時）總會ヲ何年何月何日招集致シ候處左記事由ニ依リ不成立ト相成候ニ付此段及報告候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

記

總會不成立ノ事由
（何々）

注　意

施行細則第十條第三項ニヨリ遲滯ナク報告スルコト

第八號　負債整理組合事業報告書不承認報告

本組合第何年度事業報告書ヲ何年何月何日通常總會ニ提出致候處左記事由ニ依リ不承認ニ付此段及報告候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第十條第三項ニ依リ遲滯ナク報告スルコト
二、本書中事業報告書トアルハ施行細則第二十條ニ定ムル財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ總稱ス

第九號　負債整理組合負債償還積立金管理届

本組合ノ負債償還積立金ヲ左記ノ通リ管理致候ニ付管理ヲ證スル書面相添ヘ此段及届出候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

靜岡縣知事何某殿

記

一、負債償還積立金管理方法

有價證券ノ供託　金何圓
有價證券ノ保管　金何圓
郵便貯金　金何圓
計　金何圓

有價證券ノ内譯

證券ノ種類	記號及番號	券面金額	枚數	券面總額	時價
國債證券		圓		圓	圓
産業債券					
勸業債券					
農工債券					

訂〔靜岡令二二〇號〕

北海道拓殖債券						

注意

施行細則第十七條ニヨリ管理ヲ爲シタルトキハ其ノ管理ヲ證スル書面ノ寫ヲ添ヘ二週間内ニ届出ツルコト

第十號　負債整理組合事業狀況報告

本組合何月分事業狀況別紙ノ通ニ有之候條此段及報告候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　某㊞

靜岡縣知事何某殿

注意

施行細則第十九條ニ依リ定ムル樣式ニ從ヒ毎月分ヲ翌月十日迄ニ報告スルコト

第十一號　負債整理組合事業報告書

何年何月何日第何回通常總會ニ於テ第何年度自何年何月何日至何年何月何日財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案別冊ノ通承認ヲ經候ニ付此段及報告候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　某㊞

靜岡縣知事何某殿

注意

施行規則第二十二條ニ依リ決議後遲滯ナク報告スルコト

第十三號　負債整理組合特別融通資金貸付額最高限度ノ件報告

何年何月何日開會ノ通常（臨時）總會ニ於テ左記ノ通決議致候條決議錄謄本相添ヘ此段及報告候也

記

一、一組合員ニ對スル特別融通資金ノ貸付最高限度　金　何　圓也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　某㊞

靜岡縣知事何某殿

訂（靜岡令二二〇號）

注意

施行細則第二十條ニ定ムル樣式ニ從ヒ總會ノ承認ヲ經タル日ヨリ二週間内ニ報告スルコト

第十二號　負債整理組合借入金及貸付金最高限度決議ノ件報告

何年何月何日開會ノ通常（臨時）總會ニ於テ左記ノ事項決議致シ候條決議錄謄本二通添付此段及報告候也

記

一、本年度ニ於ケル借入金ノ最高限度　金　圓也

二、本年度ニ於ケル一組合員ニ對スル貸付金ノ最高限度　金　圓也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
理事　何　某㊞

靜岡縣知事何某殿

注意

一、農村負債整理事業資金特別融通及損失補償ニ關スル規程第二條參照

二、前記負債整理組合ノ借入金及貸付金最高限度決議ト共ニ總會ニ於テ之ヲ行ヒ遲滯ナク報告スルヲ適當トス

第十四號　負債整理組合試算表報告

本組合何年何月何日現在試算表別紙ノ通ニ付此段及報告候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　某㊞

靜岡縣知事何某殿

注意

一、施行細則第二十一條ニ依ル樣式ニ依リ事業年度ニ從ヒ三月毎ニ作成シ翌月十五日迄ニ報告スルコト

二、試算表ニハ必ス組合員數ヲ附記スルコト

第十五號　負債整理組合整理狀況報告

本組合本年度事業開始後何月何日迄ノ間ニ於ケル整理狀況別紙ノ通リニ付此段及報告候也

第十編　産業　第七章　産業組合、負債整理組合

注意

施行細則第十八條ニ依リ定ムル樣式ニ從ヒ毎事業年度ニ於ケル整理狀況ヲ記載シ翌月十五日迄ニ報告スルコト

第十六號　負債整理組合監査狀況報告

農村負債整理組合法施行細則第二十二條ノ規定ニ依リ何年何月何日執行候監査狀況別紙ノ通ニ付此段及報告候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
監事　何　某㊞
監事　何　某㊞

靜岡縣知事何某殿

注意

施行細則第二十二條ニ依ル樣式ニ從ヒ六月末現在ニ付監査シタル狀況ヲ翌月十五日迄ニ報告スルコト

第十七號　負債整理組合事務引繼終了報告

何年何月何日本組合ノ組合長（又ハ何々）ニ異動有之候處何月何日事務ノ引繼ヲ了シ候ニ付監事ノ證明書相添ヘ此段及報告候也

訂（靜岡令二二〇號）

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

施行細則第二十三條ニ依リ引繼ハ監事立會ノ上之ヲ行ヒ終了後遲滯ナク報告スルコト

第十八號　負債整理組合規程制定届

本組合何規程ヲ別紙ノ通相定メ候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第十九號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第二十號　負債整理組合規程制定届

本組合何規程ヲ別紙ノ通相定メ候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

施行細則第二十三條ニ依リ引繼ハ監事立會ノ上之ヲ行ヒ終了後遲滯ナク報告スルコト

第二十一號　負債整理組合規程制定届

本組合何規程ヲ別紙ノ通相定メ候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第二十二號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第二十三號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第二十四號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第二十五號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第二十六號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第二十七號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第二十八號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第二十九號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第三十號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第三十一號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第三十二號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第三十三號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第三十四號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第三十五號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第三十六號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第三十七號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第三十八號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第三十九號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第四十號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第四十一號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第四十二號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第四十三號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第四十四號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第四十五號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第四十六號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第四十七號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第四十八號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第四十九號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、施行細則第二十五條ニ依リ事業執行細則其他重要ナル規程ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク届出ツルコト

二、制定シタル規程謄本ヲ添附スルコト

第五十號　負債整理組合規程變更(廢止)届

本組合何規程ヲ別紙ノ通變更(廢止)致候ニ付此段及御届候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

スルコト

二、組合ト理事トノ間ニ於ケル訴訟ニツキテハ監事報告ヲ爲スコト

第二十一號　負債整理組合破産宣告請求報告

何年何月何日何裁判所ヘ本組合破産宣告請求書左記ノ通提出候ニ付此段及報告候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何責任何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

記

一、破産宣告ヲ請求シタル事由

二、破産宣告請求書寫

注　意

一、破産宣告ノ請求ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク報告スルコト

二、破産宣告ノ請求ヲ受ケタルトキハ本書式ニ準シ報告スルコト

第二十二號　負債整理組合事故發生報告

本組合ハ左記事由ニ依リ災害ヲ被リ候ニ付此段及報告候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何負債整理組合
組合長　理事　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

記

一、災害ノ事由（何々）

注　意

經營上重大ナル支障トナルヘキ事故ノ發生シタルトキハ本書式ニ準シ遲滯ナク報告スルコト

第二十三號　負債整理委員會事業成績報告書

本市町村、負債整理委員會昭和何年度自何年何月何日至何年何月何日事業成績別紙ノ通及報告候也

昭和　年　月　日

何郡市何町村
何負債整理委員會長　何　　某㊞

静岡縣知事何某殿

注　意

一、事業成績報告書ハ別記樣式ニ依リ三月末日限ヲ以テ前年度中ニ於ケル市町村負債整理委員會ノ事業ノ狀況ヲ記載スルコト

二、毎年六月十日迄ニ提出スルコト

樣式

事業成績報告書

一、委員數　　名

二、負債條件緩和ノ協定斡旋ニ關スル事項

	員數	件數	金額
前年度ヨリ			
未著手	人		圓

訂（静岡令二二〇號）

繰越	未解決	
本年度幹旋却下		
同　幹旋成立		
同　幹旋不成立		
翌年度ニ繰越	未著手	
	未解決	

三、其ノ他事業ノ概況

●農村負債整理事業資金配分ニ際シ添附スヘキ書類ニ關スル件

市町村長宛

經第七二一號内務部長通牒（昭和九年十一月十日）

農村負債整理事業資金配分協議ニ際シ從來ノ書類負債整理組合ノ負債整理事業計畫書、負債整理事業資金特別融通損失補償契約書寫、組合規約ノ外別紙樣式ニ依ル要整理者一人別調及法第十一條第二項ニ依ル特別融通見込額調ヲ組合毎ニ取纏メ添附相成度旨別記ノ通預金部名古屋支部長ヨリ通牒有之候條可然御取計相成度

追テ既ニ右資金配分決定内示濟ノ町村ニ於テモ至急調製ノ上提出セシメラレ度尚右調書進達ノ場合ハ二部添附相成度

預名第三、七四〇號

昭和九年十一月一日

預金部名古屋支部長

靜岡縣知事殿

農村負債整理事業資金配分ニ際シ添附スヘキ書類ニ關スル件

農村負債整理事業資金配分額ノ御協議ニ對シテハ成ルヘク迅速ニ協議ニ應スル方針ニテ進行シ來リ候處預金部ニ於テ全國各地ノ其ノ後ノ進行狀況ヲ調査シタル結果ニ依ルトキハ配分協議ヲ迅速ナラシムルモ配分額決定後容易ニ經濟更生計畫及償還計畫竝條件緩和ノ協定成立セサルノミナラス供給稟請書ノ提出アリタルモノニ付調査ヲ爲スニ其ノ内容ニ不備缺陷尠ナカラス又眞ニ更生ノ意氣ニ乏シキモノアルノ狀況ニテ改メテ根本的再調ヲ爲サシメサル可ラサルモノ有之延ヒテハ容易ニ資金交付ノ手續ヲ爲スニ至ラサル狀況ニ有之候斯クテハ配分協議ヲ速ニ應スルモ其ノ趣旨ニ副ハサルヲ以テ今後ハ配分協議ヲ受ケタル際支部ニ於テ一應實地ニ就キ調査ヲ遂ケタル上配分協議ニ應スルコトトシ以テ成ルヘク配分額ノ正確ヲ期スルト共ニ事業計畫ノ速進ノ一助タラシメンコトニ今回各支部員打合會ニ於テ預金部長ヨリ指示相成候就テハ右調査ノ資料ニ供シ度ニ付將來資金配分ノ御協議ノ際ハ從來ノ書類ノ外別紙樣式ニ依ル要整理者一人別調及法第十一條第二項ニ依ル特別融通見込額調ヲ組合毎ニ取纏メ添附相成度候從テ配分額御協議迄ニハ條件ノ緩和ニ付テモ相當見込確實トナリタルコトヲ要シ且各人別ノ經濟更生計畫及償還計畫ヲモ大體樹立セシムルノ要有之候ニ付御了知相成度尚ホ右取扱ニ改ムル結果配分協議カ從來ニ比シ幾分遲ルル嫌ヒアルモ將來本趣旨ニ依リ調査ノ上配分協議ニ應スルニ於テハ自然爾後ノ手續進捗ヲ圓滑ナラシメ得ルコトト存候ニ付其ノ邊御含ミノ上御取計相成度候

右通知旁々得貴意候也

追而現在迄ニ配分額協議決定濟ノモノニ付テハ本文ノ趣旨ニ依ル別紙別紙樣式其ノ一

要整理者一人別調

訂〔靜岡令二二八號〕

調ヲ成ルヘク至急取纏メノ上御送付相成度又現在協議中ノ分ニ付テハ改メテ別紙調ノ送付ヲ受ケタル上調査ヲ遂ケ協議ニ應スル見込ニ有之候條右御了知ノ上可然御取計相成度申添候

何々組合員

要整理者　氏　名

一、資産調

種目／區分	田	畝	畝	畝	畝	坪	棟坪	圓	圓	圓	圓	圓
數量	畝											
價格												

一、負債整理ノ内容

借入先／區分	信用組合ヨリ	農工又ハ勸業銀行ヨリ	縣又ハ市町村ヨリ	既ニ落シタル賴母子ノ今後掛ケ終ル迄ノ金額	普通又ハ貯蓄銀行ヨリ	物品買入代金未拂分	一般個人ヨリ	其ノ他ヨリ	計
要整理負債總額	元金圓 利子圓	同圓 同圓	同圓 同圓	同圓 同圓	同圓 同圓	同圓 同圓	同圓 同圓	同圓 同圓	同圓 同圓
整理セ	不要資産賣却代金ニ依リ償還見込額								
	債權回收金ヲ以テ償還見込額								

ントスル内容										
條件緩和ニ依リ免除見込額										
預金部ヨリノ借入金ヲ以テ償還セントスル見込額										
差引殘負債額										
條件緩和ノ方法及顛末ノ概況										

記載方注意事項

一、田、畑、山林、宅地、貸家ノ價格ハ物件ノ狀況ニ依リ時價相當額ヲ見積リ記入スルモノトス、山林ニハ現存スル立竹木時價ヲモ含マシムルコト

二、有價證券ハ數量欄ニ額面價格ヲ價格欄ニハ時價ヲ記入スルモノトス

三、要整理負債總額欄ハ元金ト利子トニ區分竝記シ整理セントスル内容ノ各欄ハ元利金合計額ニ依リ記入スルモノトス

四、組合毎ニ本樣式ニ依リ合計表ヲ添付スルコト但シ要整理者氏名ノ所ニ組合名ヲ記載スルモノトス

別紙樣式其ノ二

農村負債整理組合法第十一條第二項ニ依ル特別融通見込額調

土地購入資金融通見込者		土地購入先	
加入組合名	氏名	同上融通見込金額	加入組合名	氏名	同上支拂金額

組合名

訂〔靜岡令二二八號〕

			圓
計			
			圓

訂〔靜岡令二二八號〕

記載方注意事項

一、本調書ハ組合毎ニ一通トシテ記載スルコト

二、該當事項ナキトキハ其ノ旨ヲ記載スルコト